

平成 7 年 度

# 沖縄県がん登録事業報告書

(平成 3 年、4 年の罹患集計)

平成 9 年 1 月

沖縄県生活福祉部長寿社会対策室  
沖縄県衛生環境研究所

ま え が き

本県の悪性新生物による死亡者数は、昭和52年から死亡順位の第1位を占めており、平成7年の死亡数は1,943人となり全死亡数の実に26.7%を占めております。このような現状にかんがみ、沖縄県では「沖縄県悪性新生物登録事業」を昭和63年から実施しております。この事業は県内における悪性新生物の罹患の実態を把握し、その罹患状況、受療状況、生存状況等の集計及び解析を行い、予防対策を講じることを目的としております。

この報告書は、昭和63年から平成8年までの悪性新生物登録状況について整理し、とりまとめたものです。

本書が、関係各方面の皆様方に幅広く活用され、悪性新生物対策の一助となれば幸いに存じます。

おわりに、本事業にご協力いただいております沖縄県医師会、各地区医師会、各医療機関の関係各位に対し、深く感謝申し上げますとともに今後とも、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成8年12月

沖縄県生活福祉部長

大城 貴代子

# 目 次

## I 沖縄県のがん登録事業

1. がん登録事業の目的	1
2. 老人保健法における地域がん登録事業	1
3. 沖縄県のがん登録事業の現状	3
(1) 悪性新生物登録票の保管状況	3
(2) 悪性新生物登録票診断年別登録状況	5
(3) 登録の精度	8
(4) 年齢階級別罹患数、罹患率及び年齢調整罹患率	8
(5) 年齢調整罹患率の年次推移	9
(6) 部位別年齢階級別罹患率（平成3年、沖縄県-全国推計値）	14
(7) 診断方法・治療方法	20
1) 診断方法（平成3年）	20
2) 治療方法（平成3年）	22
3) 診断方法（平成4年）	24
4) 治療方法（平成4年）	26
4. 沖縄県悪性新生物登録資料の利用状況	28

## II 参考資料

1. 沖縄県悪性新生物登録事業要綱	29
2. 沖縄県悪性新生物登録事業実施要領	31
3. 沖縄県悪性新生物登録資料の利用に関する規程	41
4. 中央登録室の業務	47
5. 健康診査管理指導等事業実施要綱の全部改正について（抜粋）	49
6. わが国の地域がん登録	62
7. わが国のがんの将来予測	62
8. 沖縄県の主要死因死亡率の年次推移	64
9. 主要部位別悪性新生物死亡率推移	65
10. 主な死因別年齢調整死亡率の割合（全国-沖縄、平成2年、全国=100）	66
11. 都道府県別成人病の死亡数及び死亡率（人口10万対）	68
12. 都道府県別成人病の年齢調整死亡率（人口10万対）	72
13. 沖縄県年次別疾病別死亡数	76

# I 沖縄県のがん登録事業

## 1. がん登録事業の目的

がん登録事業の目的は、地域におけるがん患者の罹患率の測定であり、一定地域に居住する全住民の間に発生した全てのがん患者についてその発病から治癒、また死亡に至るまでの全過程に関する医療情報を多方面より集め、個々の患者毎に集約する。

さらに、受療状況の把握、生存率の測定、がん予防・医療活動の評価、医療機関への情報サービス、がん疫学研究など大きな役割がある。

## 2. 老人保健法における地域がん登録事業

地域がん登録事業は、昭和58年から施行された老人保健法の施行に伴い、都道府県の事業として規定され、以来登録事業を実施する都道府県が増えた。

地域がん登録事業は、「健康診査管理指導等事業実施要綱の全部改正について」（平成6年7月29日 老健第213号 各都道府県知事宛 厚生省大臣官房老人福祉部長）の第6 成人病登録・評価等事業 で、次のように規定されている。

### 1 趣旨

成人病予防対策及び寝たきり予防対策を効果的に推進するため、成人病登録・評価等部会の指導のもとに、成人病登録・評価事業（がん、脳卒中等の成人病患者を登録し、罹患率、受療状況、生存率等の集計及び解析を行う。）及び脳卒中情報システム事業（医療機関から保健所等に提供される脳卒中患者の診療情報等をもとに、市町村がこれら在宅脳卒中患者に対する適切な保健福祉サービスの実施を図る。）を行うものである。

## 2 成人病登録・評価事業

### (1) 登録の方法

がん、脳卒中等の登録の方法については、地域の実状を考慮しつつ、関係諸機関の協力を得て決定するものとする。

なお、登録を実施するに当たっては、①「地域がん登録の手引改訂第2版」（厚生省がん研究助成金・地域がん登録の体系化と登録資料の利用に関する研究班、昭和52年12月）②「地域がん登録標準方式」（同、昭和52年11月）及び

③「脳卒中登録管理ガイドライン」（厚生省循環器病研究委託費による地域における脳卒中の登録と管理に関する研究班、昭和57年3月）を参考にするものとする。

(2) 患者登録票の整備とその保管

収集した情報は個人ごとに整理するとともに患者登録票を作成し、その保管に当たっては個々の患者の秘密が保持されるよう厳重に注意するものとする。

(3) 登録情報の集計、解析及びその結果報告

ア 収集、整理した登録情報に基づき、成人病のり患率、受療状況、生存率等を集計及び解析するものとする。

なお、この際、患者登録票と市町村において実施される健康診査を受診した者の全員又はその一部の者の受診結果とを照合することによって、健康診査の死亡率の減少に対する寄与度等を解析し、成人病予防対策の推進に資するものとする。

イ 解析した結果については年毎にまとめ、関係機関に報告するものとする。

(4) 登録の精度の管理とその向上

登録に当たっては、その精度を常に管理し、その向上に努めるものとする。そのため、医療機関等に対し届出体制の整備を依頼するとともに、必要に応じて医療機関等に出張し、情報を採録するものとする。

(5) その他の留意事項

この事業を推進するに当たっては、医師会、医療機関、大学、保健所、市町村等関係機関の協力を求め、これらの機関と密接な連携を保つものとする。

### 3. 沖縄県のがん登録事業の現状

沖縄県は、国の対がん10か年総合戦略（昭和58年6月7日がん対策関係閣僚会議決定）の推進に対応して、昭和60年のがん特別事業を実施し、昭和63年1月に沖縄県悪性新生物登録事業（がん登録事業）をスタートさせた。

沖縄県のがん登録事業は、先進県（大阪、鳥取、神奈川、愛知、長崎、広島、福井）の指導助言を得て実施している。特に、鳥取大学衛生学教室、鳥取県医師会からは、登録の調査項目やデータの入力・照合作業のためのコンピュータシステム等のきめ細かい指導を受けた。

平成元年には、長崎、広島のコンピュータシステムを参考にして沖縄県独自のシステムを開発した。このシステムにより、入力・照合作業の省力化がはかられ、部位別・年齢階級別の罹患数及び部位別年齢調整罹患率、部位別の診断・治療方法等の集計が自動的にできるようになった。

#### (1) 悪性新生物登録票の保管状況

がん罹患数は、がんによる死亡の約2倍ということが、これまで他府県が実施したがん登録により明らかにされている。昭和63年～平成6年の沖縄県におけるがんの死亡は、年約1,600人であり、その2倍の3,200人程度ががん罹患していると推測される。

収集した登録票の保管状況は、昭和63年 313件、平成元年 873件、平成2年 956件、平成3年 4,007件、平成4年 1,602件、平成5年 1,292件、平成6年 2,757件、平成7年 1,907件、平成8年 2,956件であった。

平成3年には、沖縄県環境保健部予防課、沖縄県医師会、予防がん学研究所が実施した「第3次がん実態調査」のデータから昭和63年分の2,134人の患者のデータを県医師会の了解を得て、がん登録のデータとして登録した。

中央登録室のスタッフが医療機関に出かけて、患者のカルテからがん登録の情報を拾う、いわゆる出張採録によるデータは、平成元年 425件、平成2年 459件、平成3年 1,680件、平成4年 490件、平成5年 362件、平成6年 746件、平成7年 1,276件、平成8年 2,006件となっており、出張採録が増加している。

医療機関からの自主的な届出は昭和63年 313件、平成元年 448件、平成2年 497件、平成3年 193件、平成4年 1,112件、平成5年 930件、平成6年2,011件、平成7年 631件、平成8年 950件であった。

悪性新生物登録票及び死亡情報の保管状況（平成8年12月31日現在）

	登録票件数	内 訳				死亡情報
		届け出件数	出張採録	(院内登録再掲)	その他	
昭和63年	313	313				
平成元年	873	448	425	408		
平成2年	956	497	459	459		
平成3年	4,007	193	1,680	443	2,134	
平成4年	1,602	1,112	490	372		6,263
平成5年	1,292	930	362	362		
平成6年	2,757	2,011	746	746		13,389
平成7年	1,907	631	1,276	530		1,483
平成8年	2,956	950	2,006	166		3,220
合 計	16,663	7,085	7,444	3,486	2,134	24,355

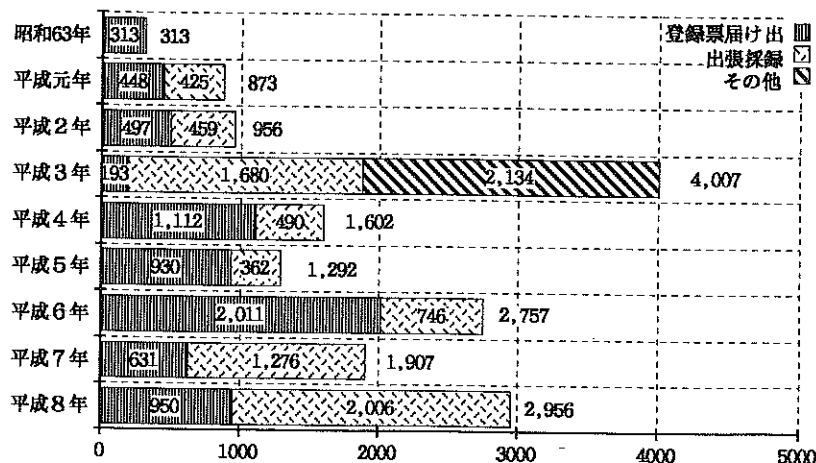
届出件数：医療機関からの届出

出張採録：病院のカルテ及び院内登録からの採録。（）は院内登録からの採録について再掲。

その他：第3次がん実態調査(昭和63年分のデータ)からの採録

死亡情報：入手できた死亡票総数

悪性新生物登録票保管状況



(2) 悪性新生物登録票 診断年別登録状況

昭和63年から平成8年までの9年間に収集された登録票 16,663件のうち、昭和63年以前にがんと診断された者、県外居住者、悪性新生物以外の病名の者、重複届出のあった者を除いた数(対象外)に、平成元年～平成4年の死亡票でがんと確認されたがまだ登録されていない者を加えると、最終登録件数は16,959件であった。そのうち男8,943件、女8,016件であった。

最終登録件数の診断年別内訳は、昭和63年2,387件、平成元年2,334件、平成2年2,326件、平成3年2,896件、平成4年2,917件、平成5年1,444件、平成6年1,305件、平成7年1,277件、平成8年73件であった。平成3年～4年については、平成8年度に出張採録(集票作業)が終了し、実際の罹患数に近い。

ICD9コード	性別		(男女)									
	部位	年	63年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	合計
140-208,2330,2331	全部位		2387	2334	2326	2896	2917	1444	1305	1277	73	16959
140-149	口腔、咽頭		109	57	92	95	88	47	25	25	0	538
150	食道		91	80	80	90	90	37	48	36	4	556
151	胃		331	312	292	298	329	167	136	149	5	2019
153	結腸		200	186	189	252	277	172	151	140	6	1573
154	直腸		110	105	107	145	118	80	65	69	5	804
155	肝臓		87	108	123	126	148	75	49	41	1	758
156	胆嚢、胆管		54	73	79	122	105	35	31	25	1	525
157	膵臓		47	68	52	67	83	28	23	18	2	388
161	喉頭		28	19	21	34	32	11	23	13	0	181
162	気管支、肺		322	383	407	513	480	262	268	246	33	2914
172-173	皮膚		63	51	50	67	87	43	37	45	10	453
174-175,2330	乳房		148	131	104	148	172	89	74	71	2	939
179-182,2331	子宮		208	187	174	231	221	90	81	91	0	1283
1830	卵巣		36	45	46	61	57	22	22	5	0	294
185	前立腺		47	27	29	39	41	29	20	19	0	251
188	膀胱		55	37	24	52	45	22	20	30	0	285
189	腎、尿管等		50	34	28	42	41	26	26	34	0	281
191-192	脳、神経系		56	26	34	40	38	8	14	11	0	227
193	甲状腺		81	46	64	65	68	29	24	19	0	396
200-202	悪性リンパ腫		60	101	72	94	90	35	35	45	0	532
203	多発性骨髄腫		12	10	13	27	29	5	7	7	0	110
204-208	造血組織		82	116	95	124	122	50	51	40	1	681
上記以外	その他		110	132	151	164	156	82	75	98	3	971

注：届け出までに2～3年かかるので届け出件数は近年ほど少ない



悪性新生物登録票 診断年別登録状況（男、部位別、診断年別）

ICD9コード	性別		(男)									
	部位	年	63年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	計
140-208, 2330, 2331	全部位		1298	1187	1242	1480	1494	761	711	717	53	8943
140-149	口腔、咽頭		81	48	72	73	72	34	20	23	0	423
150	食道		78	68	72	82	80	32	44	33	3	492
151	胃		244	199	198	204	229	114	92	106	4	1390
153	結腸		118	101	100	137	144	100	93	82	5	880
154	直腸		66	54	63	91	64	43	34	43	3	461
155	肝臓		55	60	79	76	91	48	33	29	1	472
156	胆嚢、胆管		18	33	30	36	45	13	9	7	0	191
157	脾臓		25	40	23	34	35	20	9	7	2	195
161	喉頭		26	15	19	32	29	10	23	12	0	166
162	気管支、肺		235	276	294	355	345	171	184	173	28	2061
172-173	皮膚		31	21	21	21	31	17	11	18	4	175
174-175, 2330	乳房		1	3	0	2	2	3	0	1	0	12
179-182, 2331	子宮		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1830	卵巣		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
185	前立腺		47	27	29	39	41	29	20	19	0	251
188	膀胱		44	27	21	31	26	12	14	24	0	199
189	腎、尿管等		35	24	17	23	28	18	18	22	0	185
191-192	脳、神経系		31	9	14	22	23	3	7	4	0	113
193	甲状腺		16	4	6	5	10	6	4	1	0	52
200-202	悪性リンパ腫		38	57	43	54	51	15	18	26	0	302
203	多発性骨髄腫		6	4	5	16	15	3	3	5	0	57
204-208	造血組織		44	61	55	66	63	31	24	25	1	370
上記以外	その他		59	56	81	81	70	39	51	57	2	496

注：届け出までに2～3年かかるので届け出件数は近年ほど少ない

悪性新生物登録票 診断年別登録状況（女、部位別、診断年別）

ICD9コード	性別		(女)									
	部位	年	63年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	計
140-208, 2330, 2331	全部位		1089	1147	1084	1416	1423	683	594	560	20	8016
140-149	口腔、咽頭		28	9	20	22	16	13	5	2	0	115
150	食道		13	12	8	8	10	5	4	3	1	64
151	胃		87	113	94	94	100	53	44	43	1	629
153	結腸		82	85	89	115	133	72	58	58	1	693
154	直腸		44	51	44	54	54	37	31	26	2	343
155	肝臓		32	48	44	50	57	27	16	12	0	286
156	胆嚢、胆管		36	40	49	86	60	22	22	18	1	334
157	脾臓		22	28	29	33	48	8	14	11	0	193
161	喉頭		2	4	2	2	3	1	0	1	0	15
162	気管支、肺		87	107	113	158	135	91	84	73	5	853
172-173	皮膚		32	30	29	46	56	26	26	27	6	278
174-175, 2330	乳房		147	128	104	146	170	86	74	70	2	927
179-182, 2331	子宮		208	187	174	231	221	90	81	91	0	1283
1830	卵巣		36	45	46	61	57	22	22	5	0	294
185	前立腺		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
188	膀胱		11	10	3	21	19	10	6	6	0	86
189	腎、尿管等		15	10	11	19	13	8	8	12	0	96
191-192	脳、神経系		25	17	20	18	15	5	7	7	0	114
193	甲状腺		65	42	58	60	58	23	20	18	0	344
200-202	悪性リンパ腫		22	44	29	40	39	20	17	19	0	230
203	多発性骨髄腫		6	6	8	11	14	2	4	2	0	53
204-208	造血組織		38	55	40	58	59	19	27	15	0	311
上記以外	その他		51	76	70	83	86	43	24	41	1	475

注：届け出までに2～3年かかるので届け出件数は近年ほど少ない

### (3) 登録の精度

届出精度の指標としてI/D比、DCO/Iがある。

I/D比の基準は1.4以上が全国値推計に使用される選定条件で1.5~2.0になることが望ましいとされている。

沖縄県の平成元年のI/D比(罹患数/死亡数)は、1.64(2334/1423)、平成2年1.50(2326/1551)、平成3年1.86(2,896/1,557)、平成4年1.67(2,917/1,745)であった。

DCO/Iについては30%以下が全国推計に使用される選定条件であるが、沖縄県のDCO/Iは平成元年28.1%(657/2334)、平成2年29.3%(681/2326)、平成3年25.6%(742/2,896)、平成4年27.8%(810/2,917)であった。

年	人口 (人)	悪性新生物		届出精度		診断精度	
		罹患数	死亡数	DCO/I (%)	I/D	H/I (%)	H/R (%)
昭和 63年	1,213,000	2,387 (0)	1,356	0	1.76	74.0	74.0
平成 1年	1,221,000	2,334 (657)	1,423	28.1	1.64	58.6	81.7
平成 2年	1,214,205	2,326 (681)	1,551	29.3	1.50	56.3	79.5
平成 3年	1,231,058	2,896 (742)	1,557	25.6	1.86	53.9	72.5
平成 4年	1,239,719	2,917 (810)	1,745	27.8	1.67	56.3	71.1

注：( )は死亡票からの登録数再掲  
 H/I：罹患数における組織診断割合  
 DCO/I：罹患数における死亡票の割合  
 H/R：登録票における組織診断割合

### (4) 年齢階級別罹患数、罹患率及び年齢調整罹患率(平成3年、平成4年)

平成3年及び平成4年に確定診断のついた患者各々2,896人、2,917人について、性別、部位別、年齢階級別罹患率を算出し、年齢調整罹患率を下記の式により求めた。表2~表5は平成3年、平成4年の年齢階級別罹患数、罹患率及び年齢調整罹患率である。

#### ◎年齢調整罹患率(訂正罹患率)の計算方法

$$\text{年齢調整罹患率} = \frac{\text{観察集団の年齢別罹患率} \times \text{基準にする人口集団の年齢別人口}}{\text{基準にする人口集団の総人口}} \times 1,000 \text{ (または } 100,000 \text{)}$$

観察集団：都道府県、市町村等

基準人口：昭和60年日本モデル人口  
世界人口

(5) 年齢調整罹患率の年次推移

沖縄県の全部位における年齢調整罹患率は昭和63年から平成4年の間、180.2から217.3の範囲で、全国推計値(平成3年)の258.8に比べて低い。しかし、男の口腔・咽頭、食道、気管支・肺、皮膚、悪性リンパ腫、造血組織は全国推計値に比べ高く推移している。胃、結腸、直腸、肝臓、膵臓、前立腺、膀胱、腎臓は低く推移しており、特に胃は全国の50%以下であり、沖縄県における悪性新生物罹患率の低い要因の1つと考えられる。女では、子宮、造血組織は全国推計値より高く、食道、胃、結腸、直腸、肝臓、膵臓、乳房、膀胱、腎・尿管等は低い。全部位で男性の約6割-7割である。

表1. 年齢調整罹患率の年次推移

基準人口：世界人口

(男)

I C D 9	部位	沖 縄					全 国
		昭 和 6 3 年	平 成 元 年	平 成 2 年	平 成 3 年	平 成 4 年	平 成 3 年
140-208.2330.2331	全 部 位	207.1	180.2	186.5	217.3	211.6	258.8
	140-149 口 腔、咽 頭	12.9	7.7	11.1	11.1	10.5	5.3
	150 食 道	12.8	10.4	11.0	12.3	11.2	9.5
	151 胃	39.1	30.6	29.2	29.5	32.0	73.8
	153 結 腸	18.4	15.2	15.4	20.1	20.3	25.2
	154 直 腸	11.1	8.0	9.5	13.4	9.1	15.4
	155 肝 臓	9.1	9.2	11.7	10.7	12.8	26.1
	156 胆 嚢、胆 管	2.6	4.9	4.6	5.0	6.0	6.5
	157 膵 臓	4.1	5.7	3.3	4.8	5.0	8.7
	161 喉 頭	4.2	2.4	2.8	4.9	4.0	3.1
	162 気 管 支、肺	37.9	41.3	44.2	51.8	48.7	36.4
	172-173 皮 膚	4.6	3.2	2.9	3.0	4.3	2.3
174-175.2330	乳 房	-	-	-	0.2	0.2	-
179-182.2331	子 宮	-	-	-	-	-	-
	183 卵 巢	-	-	-	-	-	-
	185 前 立 腺	6.5	3.4	4.0	5.4	5.3	8.5
	188 膀 胱	6.6	4.3	3.0	4.5	3.6	7.8
	189 腎、尿 管 等	5.8	4.0	2.7	3.7	3.9	5.2
191-192	脳、神 経 系	5.0	1.4	2.3	3.4	3.7	2.7
	193 甲 状 腺	2.4	0.6	0.8	0.7	1.4	1.3
200-202	悪 性 リ ン パ 腫	6.1	8.6	6.4	8.0	7.7	5.8
	203 多 発 性 骨 髄 腫	0.9	0.5	0.8	2.2	2.2	1.5
204-208	造 血 組 織	7.3	9.8	9.0	10.3	9.6	4.6

(女)

I C D 9	部位	沖 縄					全 国
		昭 和 6 3 年	平 成 元 年	平 成 2 年	平 成 3 年	平 成 4 年	平 成 3 年
140-208.2330.2331	全 部 位	137.2	131.6	121.6	159.7	153.2	164.7
	140-149 口 腔、咽 頭	3.5	1.2	2.1	2.3	1.6	1.6
	150 食 道	1.3	0.9	0.7	0.7	1.3	1.4
	151 胃	9.4	12.0	9.8	9.4	8.9	30.2
	153 結 腸	8.8	7.9	8.9	11.8	13.3	15.9
	154 直 腸	4.9	5.8	4.9	5.7	5.4	8.6
	155 肝 臓	3.8	4.5	3.9	5.1	4.7	7.0
	156 胆 嚢、胆 管	3.2	3.7	3.8	7.8	5.4	6.0
	157 膵 臓	2.2	2.5	2.9	3.1	4.1	4.8
	161 喉 頭	0.2	0.4	0.1	0.2	0.4	0.2
	162 気 管 支、肺	9.7	10.4	10.6	16.0	11.7	10.0
	172-173 皮 膚	3.6	2.8	2.7	4.2	4.6	2.2
174-175.2330	乳 房	22.1	17.6	14.4	19.5	21.9	28.3
179-182.2331	子 宮	28.7	24.5	22.5	29.7	29.1	18.3
	183 卵 巢	5.0	6.7	6.3	8.1	7.6	5.5
	185 前 立 腺	-	-	-	-	-	-
	188 膀 胱	1.4	0.7	0.2	1.8	1.5	2.0
	189 腎、尿 管 等	1.5	0.9	1.1	2.0	1.4	1.9
191-192	脳、神 経 系	3.7	2.2	2.8	2.2	2.1	2.1
	193 甲 状 腺	9.0	5.3	7.8	8.0	7.1	6.3
200-202	悪 性 リ ン パ 腫	2.6	4.8	2.7	4.7	3.5	3.5
	203 多 発 性 骨 髄 腫	0.8	0.5	0.8	1.0	1.6	1.0
204-208	造 血 組 織	5.3	7.2	5.2	6.7	7.3	3.1

注：年齢調整罹患率の全国推計値は「地域がん登録の精度向上とその効果的利用に関する研究」（平成7年度報告書）を参照した。

表2. 沖縄県悪性新生物年齢階級別罹患数

平成3年

(男)

ICD9コード	部位	年齢階級別罹患数																	罹患数計		
		0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84		85-	
140-208, 2330	全部位	6	10	2	11	2	9	10	25	39	45	104	139	223	206	238	206	100	105	1480	
	2331							1	1	2	2	11	5	15	15	9	8	3	1	73	
	140-149	口腔、咽頭						1	1	2	2	11	5	15	15	9	8	3	1	73	
		150	食道							2	1	9	9	22	12	13	8	4	2	82	
		151	胃					2	4	7	10	19	15	34	22	35	30	18	8	204	
		153	結腸				2		2	3	4	14	12	19	19	23	21	6	12	137	
		154	直腸						2	4	6	5	18	14	13	12	9	4	4	91	
		155	肝臓					1	2	2	2	3	14	13	6	9	9	4	9	76	
		156	胆嚢、胆管						1	1	1	4	5	1	4	7	5	3	4	36	
		157	膵臓							1		3	2	4	4	6	5	2	7	34	
		161	喉頭							1	2	3	3	7	6	3	7			32	
		162	気管支、肺	1			1		4	3	2	11	30	52	65	70	59	33	24	355	
	172-173	皮膚									2	2	1	2	3	3	3	2		21	
	174-175, 2330	乳房																		2	
	179-182, 2331	子宮																		2	
	1830	卵巣																			
	185	前立腺										1	2	3	4	8	10	3	8	39	
	188	膀胱								2		1	1	3	4	8	4	2	6	31	
	189	腎、尿管等							1				2	7	8	3	1	1		23	
	191-192	脳、神経系	1	3		2			2		1		1	3	2	1	2	1	3	22	
		193	甲状腺								1	1	1	1			1			5	
	200-202	悪性リンパ腫		1	1	1	1		2	1	2	1	2	5	10	7	6	8	2	4	54
	203	多発性骨髄腫											3	5	1	1	3	2		1	16
	204-208	造血組織	2	4	1	4		2	3	2	6	3	6	4	6	8	5	3	1	6	66
		その他	2	2		4	1	3	3	3	7	6	4	6	3	14	11	8	4	81	
	沖縄県平成3年	人口(人)	47229	51982	53186	54521	38307	40179	45250	54788	46252	31324	35052	33243	24446	16003	12143	8906	5545	3828	602182
	世界人口(人)		12000	10000	9000	9000	8000	8000	6000	6000	6000	6000	5000	4000	4000	3000	2000	1000	500	500	100000
	昭和60年日本行*人口(千人)		8180	8338	8497	8655	8814	8972	9130	9289	9400	8651	7616	6581	5546	4511	3476	2441	1406	784	120287

(女)

ICD9コード	部位	年齢階級別罹患数																	罹患数計		
		0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84		85-	
140-208, 2330	全部位	7	9	4	10	7	20	36	66	97	87	97	122	148	148	149	144	113	152	1416	
	2331																				
	140-149	口腔、咽頭							2	2		3	3	2	2	1		5	2	22	
		150	食道											1	1	2	1	3		8	
		151	胃						2	6	8	6	2	4	5	13	10	9	11	94	
		153	結腸				1	1		3	3	7	12	8	10	15	11	9	9	26	115
		154	直腸						1			1	3	7	11	8	7	4	6	54	
		155	肝臓	1	1		1	1		1	1	2	2	5	7	6	9	8	5	50	
		156	胆嚢、胆管									4	4	10	10	14	16	13	15	86	
		157	膵臓								1	2	2	5	4	3	7	6	3	33	
		161	喉頭										1				1			2	
		162	気管支、肺	1					2	3	2	6	7	10	17	24	27	22	16	21	158
	172-173	皮膚	1					1		1	4			4	3	3	3	12	6	8	46
	174-175, 2330	乳房					1	2	3	8	26	22	17	16	17	8	9	11	2	4	146
	179-182, 2331	子宮				1		8	18	27	28	21	21	28	17	10	18	6	7	231	
	1830	卵巣		1	1	2	1	3	2	7	10	3	5	10	3	3	5	2	1	2	61
	185	前立腺																			
	188	膀胱												1	3	3	3	2	1	8	21
	189	腎、尿管等				1			1			3	2	3		3	2	1	3	19	
	191-192	脳、神経系	1						1	5		1	1	1	4		2	2		18	
		193	甲状腺				2		1	4	3	5	5	6	9	10	8	3	2	1	60
	200-202	悪性リンパ腫	1	1	1		1	1				1	2	3	6	7	5	4	5	2	40
	203	多発性骨髄腫									1			1	1	1	3	1	2	1	11
	204-208	造血組織	2	2	1	2		1	3	1		2	4	8	2	2	13	3	4	8	58
		その他		4	1	2	3	1		2	2	8	7	5	5	8	11	7	5	12	83
	沖縄県平成3年	人口(人)	44788	49485	50992	53497	40694	41894	45172	51827	42881	30857	35800	32924	28609	22949	18955	15182	11169	11301	628876
	世界人口(人)		12000	10000	9000	8000	8000	6000	6000	6000	6000	5000	4000	4000	3000	2000	1000	500	500	100000	
	昭和60年日本行*人口(千人)		8180	8338	8497	8655	8814	8972	9130	9289	9400	8651	7616	6581	5546	4511	3476	2441	1406	784	120287

表3. 沖縄県悪性新生物年齢階級別罹患率及び年齢調整罹患率 (人口10万対)

平成3年

(男)

部位	年 齢 階 級 別 罹 患 率																粗罹患率 年齢調整罹患率					
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-	全年齢	世界人口	日本人口	
全部位	12.7	19.2	3.8	20.2	5.2	22.4	22.1	45.6	84.3	143.7	296.7	418.1	912.2	1287.3	1960.0	2313.0	1803.4	2744.4	245.8	217.3	302.6	
口腔、咽頭							2.2	1.8	4.3	6.4	31.4	15.0	61.4	93.7	74.1	89.8	54.1	26.1	12.1	11.1	15.0	
食道									4.3	3.2	25.7	27.1	90.0	75.0	107.1	89.8	72.1	52.3	13.6	12.3	16.7	
胃							4.4	7.3	15.1	31.9	54.2	45.1	139.1	137.5	288.2	336.9	324.6	209.1	33.9	29.5	42.2	
結腸					5.0				3.7	6.5	12.8	39.9	36.1	77.7	118.7	189.4	235.8	108.2	313.6	22.8	20.1	28.2
直腸									3.7	8.6	19.2	14.3	54.1	57.3	81.2	98.8	101.1	72.1	104.5	15.1	13.4	18.3
肝臓					2.5	4.4			3.7	4.3	6.4	8.6	42.1	53.2	37.5	74.1	101.1	72.1	235.2	12.6	10.7	14.9
胆嚢、胆管									1.8	2.2	3.2	11.4	15.0	4.1	25.0	57.6	56.1	54.1	104.5	6.0	5.0	7.3
膵臓										2.2		8.6	6.0	16.4	25.0	49.4	56.1	36.1	183.0	5.6	4.8	6.9
喉頭									2.2	6.4	8.6	9.0	28.6	37.5	24.7	78.6			5.3	4.9	6.7	
気管支、肺	2.1				2.5			7.3	6.5	6.4	31.4	90.2	212.7	406.2	576.5	662.5	595.1	627.3	59.0	51.8	75.0	
皮膚										6.4	5.7	3.0	8.2	18.7	24.7	33.7	54.1	52.3	3.5	3.0	4.4	
乳房																	36.1		0.3	0.2	0.4	
子宮																						
卵巣																						
前立腺												2.9	6.0	12.3	25.0	65.9	112.3	54.1	209.1	6.5	5.4	8.2
膀胱									4.3			2.9	3.0	12.3	25.0	65.9	44.9	36.1	156.8	5.1	4.5	6.4
腎、尿管等												6.0	28.6	50.0	24.7	11.2	18.0		3.8	3.7	4.8	
脳、神経系	2.1	5.8		3.7			1.8					6.0	12.3	12.5	8.2	22.5	18.0	78.4	3.7	3.4	3.9	
甲状腺							3.7				3.2	2.9	3.0	4.1		11.2			0.8	0.7	1.0	
悪性リンパ腫	1.9	1.9	1.8	2.6		4.4	1.8	4.3	3.2	5.7	15.0	40.9	43.7	49.4	89.8	36.1	104.5	9.0	8.0	10.7		
多発性骨髄腫										8.6	15.0	4.1	6.2	24.7	22.5		26.1	2.7	2.2	3.1		
造血組織	4.2	7.7	1.9	7.3	5.0	6.6	3.7	13.0	9.6	17.1	12.0	24.5	50.0	41.2	33.7	18.0	156.8	11.0	10.3	12.2		
その他	4.2	3.8		7.3	2.6	7.5	5.5	6.5	22.3	17.1	12.0	24.5	18.7	115.3	123.5	144.3	104.5	13.5	12.1	16.2		

(女)

部位	年 齢 階 級 別 罹 患 率																粗罹患率 年齢調整罹患率				
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-	全年齢	世界人口	日本人口
全部位	15.6	18.2	7.8	18.7	17.2	47.7	79.7	127.3	226.2	281.9	270.9	370.6	517.3	644.9	790.2	948.5	1011.7	1345.0	225.2	159.7	211.0
口腔、咽頭								3.9	4.7		8.4	9.1	7.0	8.7	5.3		44.8	17.7	3.5	2.3	3.1
食道													3.5	4.4	10.6	6.6	26.9		1.3	0.7	1.1
胃							4.4	11.6	18.7	19.4	5.8	12.1	17.5	56.6	53.0	59.3	98.5	159.3	14.9	9.4	13.0
結腸					2.5	2.4		5.8	7.0	22.7	33.5	24.3	35.0	65.4	58.3	59.3	80.6	230.1	18.3	11.8	15.8
直腸							2.2			3.2	8.4	21.3	38.4	34.9	37.1	26.3	53.7	53.1	8.6	5.7	7.8
肝臓	2.2	2.0			2.5	2.4		1.9	2.3		5.6	6.1	17.5	30.5	31.8	59.3	71.6	44.2	8.0	5.1	6.9
胆嚢、胆管										13.0	12.1	35.0	43.6	74.3	105.4	116.4	132.7	13.7	7.8	11.4	
膵臓										3.2	5.6	6.1	17.5	17.4	15.9	46.1	53.7	26.5	5.2	3.1	4.6
喉頭												3.0			6.6				0.3	0.2	0.3
気管支、肺	2.2						4.4	5.8	4.7	19.4	19.6	30.4	59.4	104.6	143.2	144.9	143.3	185.8	25.1	16.0	22.2
皮膚	2.2					2.4		1.9	9.3			12.1	10.5	13.1	15.9	79.0	53.7	70.8	7.3	4.2	6.0
乳房					2.5	4.8	6.6	15.4	60.6	71.3	47.5	48.6	59.4	34.9	47.7	72.5	17.9	35.4	23.2	19.5	25.1
子宮				1.9		19.1	39.8	52.1	65.3	68.1	58.7	63.8	97.9	74.1	53.0	118.6	53.7	61.9	36.7	29.7	38.1
卵巣	2.0	2.0	3.7	2.5	7.2	4.4	13.5	23.3	9.7	14.0	30.4	10.5	13.1	26.5	13.2	9.0	17.7	9.7	8.1	9.9	
前立腺																					
膀胱												3.0	10.5	13.1	15.9	13.2	9.0	70.8	3.3	1.8	2.4
腎、尿管等				1.9				1.9			8.4	6.1	10.5		15.9	13.2	9.0	26.5	3.0	2.0	2.6
脳、神経系	2.2							1.9	11.7		2.8	3.0	3.5	17.4		13.2	17.9		2.9	2.2	2.8
甲状腺				3.7		2.4	8.9	5.8	11.7	16.2	16.8	27.3	35.0	34.9	15.9	13.2	9.0	8.8	9.5	8.0	10.0
悪性リンパ腫	2.2	2.0	2.0			2.4	2.2			3.2	5.6	9.1	21.0	30.5	26.5	26.3	44.8	17.7	6.4	4.7	5.9
多発性骨髄腫								2.3				3.0	3.5	4.4	15.9	6.6	17.9	8.8	1.7	1.0	1.5
造血組織	4.5	4.0	2.0	3.7	2.4	6.6	1.9		6.5	11.2	24.3	7.0	8.7	68.9	19.8	35.8	70.8	9.2	6.7	8.2	
その他	8.1	2.0	3.7	7.4	2.4		3.9	4.7	25.9	19.6	15.2	17.5	34.9	58.3	46.1	44.8	106.2	13.2	9.9	12.2	

表4. 沖縄県悪性新生物年齢階級別罹患数

平成4年

(男)

ICD9コード	部位	年齢階級別罹患数																	罹患数計		
		0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84		85-	
140-208, 2330	全部位	5	6	4	12	4	5	10	24	45	54	90	147	258	195	226	191	127	91	1494	
	2331							1	1	2	2	11	5	15	15	9	8	3	1	73	
	140-149 口腔、咽頭								1	2	3	8	11	18	9	10	3	2	5	72	
	150 食道	1								4	1	5	10	14	13	13	9	9	2	80	
	151 胃						1	1	3	8	7	21	24	39	27	37	23	23	15	229	
	153 結腸				2			1	2	4	5	10	18	29	20	18	12	15	8	144	
	154 直腸							1	2	1	7	8	6	11	4	9	10	3	2	64	
	155 肝臓				1	1				2	4	4	17	15	10	12	15	3	7	91	
	156 胆嚢、胆管								1	2			2	8	5	8	7	7	5	45	
	157 膵臓								1		1	1	5	7	7	4	2	3	4	35	
	161 喉頭									1		1	5	7	6	1	4	2	2	29	
	162 気管支、肺								2	3	5	11	25	57	58	73	58	34	19	345	
	172-173 皮膚						1		3		2	3	3		4	4	4	1	6	31	
	174-175, 2330 乳房									1				1						2	
	179-182, 2331 子宮																				
	1830 卵巣																				
	185 前立腺	1												2	5	5	5	12	9	2	41
	188 膀胱		1								1	2	1	1	2	1	6	4	3	4	26
	189 腎、尿管等								1	2	1	1	5		5	3	3	3	2	2	28
	191-192 脳、神経系	2				1	1		1		3	3		1	4	1	1	5			23
	193 甲状腺								1	1	3			1	1	1	1				10
	200-202 悪性リンパ腫	1	2		2	1		2	3				1	3	11	12	3	5	3	2	51
	203 多発性骨髄腫												1		1	4	3	5		1	15
	204-208 造血組織	1	2	1	5	1	2		2	4	8	5	6	11	1	5	5	1	3	63	
	その他		1	3	2			2	1	5	5	4	6	13	4	10	5	7	2	70	
沖縄県平成4年人口(人)		46481	51539	52253	55449	38057	39096	43671	56358	48418	30522	35407	34750	25764	16488	12464	9202	5788	3989	605696	
世界人口(人)		12000	10000	9000	9000	8000	8000	6000	6000	6000	6000	5000	4000	4000	3000	2000	1000	500	500	100000	
昭和60年日本平均人口(千人)		8180	8338	8497	8655	8814	8972	9130	9289	9400	8651	7616	6581	5546	4511	3476	2441	1406	784	120287	

(女)

ICD9コード	部位	年齢階級別罹患数																	罹患数計		
		0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84		85-	
140-208, 2330	全部位	7	2	4	5	9	21	29	79	100	72	114	115	134	136	154	161	122	159	1423	
	2331																				
	140-149 口腔、咽頭					1			1		1			2	2		2	2	3	16	
	150 食道	1								1		1	1	3		1		2	10		
	151 胃								5	4	1	5	4	9	8	20	14	13	17	100	
	153 結腸						1		4	6	4	6	13	15	20	17	18	14	15	133	
	154 直腸									1	3	8	4	8	1	8	8	6	7	54	
	155 肝臓									1		2	3	4	6	8	18	7	8	57	
	156 胆嚢、胆管								2	2	2	3	3	11	8	13	6	10	60		
	157 膵臓								2		2	4	6	4	3	14	6	7	48		
	161 喉頭														2	1			3		
	162 気管支、肺								1	2	2	4	10	12	18	19	20	17	30	135	
	172-173 皮膚					1				1		6	4	2	5	6	8	9	14	56	
	174-175, 2330 乳房						3	8	25	31	20	17	13	17	6	15	6	6	3	170	
	179-182, 2331 子宮					1	11	17	29	29	24	24	19	22	17	9	5	2	12	221	
	1830 卵巣		1		2	2	4	2	5	12	4	4	3	3	4	5	1	3	2	57	
	185 前立腺																				
	188 膀胱												1	2	1	1	3	5	3	19	
	189 腎、尿管等										1	1		3	2	1		1	1	13	
	191-192 脳、神経系	2	1		1							4		1		3	1	1	1	15	
	193 甲状腺							2	5	2	4	8		7	7	4	1	3	2	58	
	200-202 悪性リンパ腫				1	1						1	2	5	4	6	7	5	7	39	
	203 多発性骨髄腫										2	1	2	1	2	3	1	2		14	
	204-208 造血組織	3		3			1		3	2	1	11	4	5	9	5	5	4	3	59	
	その他	1		1	1	2	1		1	4	2	8	7	8	7	9	10	12	12	86	
沖縄県平成4年人口(人)		44033	49065	50071	54515	40807	41298	44315	53541	44686	30063	36359	33739	29576	23579	19358	15608	11524	11886	634023	
世界人口(人)		12000	10000	9000	9000	8000	8000	6000	6000	6000	6000	5000	4000	4000	3000	2000	1000	500	500	100000	
昭和60年日本平均人口(千人)		8180	8338	8497	8655	8814	8972	9130	9289	9400	8651	7616	6581	5546	4511	3476	2441	1406	784	120287	

表5. 沖縄県悪性新生物年齢階級別罹患率及び年齢調整罹患率（人口10万対）

平成4年

(男)

部位	年 齢 階 級 別 罹 患 率															粗罹患率 年齢調整罹患率					
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-	全年齢	世界人口	日本人口
全部位	10.8	11.6	7.7	21.6	10.5	12.8	22.9	42.6	92.9	176.9	254.2	423.0	1001.4	1182.7	1813.2	2075.6	2194.2	2281.3	246.7	211.6	295.2
口腔、咽頭								1.8	4.1	9.8	22.6	31.7	69.9	54.6	80.2	32.6	34.6	125.3	11.9	10.5	13.8
食道									8.3	3.3	14.1	28.8	54.3	78.8	104.3	97.8	155.5	50.1	13.2	11.2	16.0
胃						2.6	2.3	5.3	16.5	22.9	59.3	69.1	151.4	163.8	296.9	249.9	397.4	376.0	37.8	32.0	45.1
結腸			3.6				2.3	3.5	8.3	16.4	28.2	51.8	112.6	121.3	144.4	130.4	259.2	200.6	23.8	20.3	28.0
直腸							2.3	3.5	2.1	22.9	22.6	17.3	42.7	24.3	72.2	108.7	51.8	50.1	10.6	9.1	12.7
肝臓				1.8	2.6				4.1	13.1	11.3	48.9	58.2	60.7	96.3	163.0	51.8	175.5	15.0	12.8	17.8
胆嚢、胆管								1.8	4.1			5.8	31.1	30.3	64.2	76.1	120.9	125.3	7.4	6.0	9.0
膵臓								1.8		3.3	2.8	14.4	27.2	42.5	32.1	21.7	51.8	100.3	5.8	5.0	6.8
喉頭									2.1		2.8	14.4	27.2	36.4	8.0	43.5	34.6	50.1	4.8	4.0	5.6
気管支、肺								3.5	6.2	16.4	31.1	71.9	221.2	351.8	585.7	630.3	587.4	476.3	57.0	48.7	70.9
皮膚					2.6			5.3	6.6	8.5	8.6			24.3	32.1	43.5	17.3	150.4	5.1	4.3	6.0
乳房									2.1			2.9							0.3	0.2	0.3
子宮																					
卵巣																					
前立腺	2.2											5.8	19.4	30.3	40.1	130.4	155.5	50.1	6.8	5.3	8.4
膀胱		1.9							2.1	6.6	2.8	2.9	7.8	6.1	48.1	43.5	51.8	100.3	4.3	3.6	5.2
腎、尿管等							2.3	3.5	2.1	3.3	14.1		19.4	18.2	24.1	32.6	34.6	50.1	4.6	3.9	5.4
脳、神経系	4.3				2.6	2.6	2.3		6.2	9.8		2.9	15.5	6.1	8.0	54.3			3.8	3.7	4.5
甲状腺							2.3	1.8	6.2		2.8	2.9	3.9	6.1	8.0				1.7	1.4	1.8
悪性リンパ腫	2.2	3.9		3.6	2.6		4.6	5.3			2.8	8.6	42.7	72.8	24.1	54.3	51.8	50.1	8.4	7.7	9.7
多発性骨髄腫											2.8		3.9	24.8	24.1	54.3		25.1	2.5	2.2	3.2
造血組織	2.2	3.9	1.9	9.0	2.6	5.1		3.5	8.3	26.2	14.1	17.3	42.7	6.1	40.1	54.3	17.3	75.2	10.4	9.6	11.6
その他		1.9	5.7	3.6			4.6	1.8	10.3	16.4	11.3	17.3	50.5	24.3	80.2	54.3	120.9	50.1	11.6	10.0	13.8

(女)

部位	年 齢 階 級 別 罹 患 率															粗罹患率 年齢調整罹患率						
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-	全年齢	世界人口	日本人口	
全部位	15.9	4.1	8.0	9.2	22.1	50.8	65.4	147.6	223.8	239.5	313.5	340.9	453.1	576.8	795.5	1031.5	1058.7	1337.7	224.4	153.2	205.1	
口腔、咽頭					2.5				1.9		3.3		5.9	6.8		10.3	12.8	17.4	25.2	2.5	1.6	2.1
食道	2.3									3.3		3.0	3.4	12.7		6.4		16.8	1.6	1.3	1.4	
胃									9.3	9.0	3.3	13.8	11.9	30.4	33.9	103.3	89.7	112.8	143.0	15.8	8.9	12.9
結腸						2.4			7.5	13.4	13.3	16.5	38.5	50.7	84.8	87.8	115.3	121.5	126.2	21.0	13.3	18.6
直腸										2.2	10.0	22.0	11.9	27.0	4.2	41.3	51.3	52.1	58.9	8.5	5.4	7.6
肝臓									2.2		5.5	8.9	13.5	25.4	41.3	115.3	60.7	67.3	9.0	4.7	7.3	
胆嚢、胆管									4.5	6.7	5.5	8.9	10.1	46.7	41.3	83.3	52.1	84.1	9.5	5.4	7.9	
膵臓										4.5		5.5	11.9	20.3	17.0	15.5	89.7	52.1	58.9	7.6	4.1	6.2
喉頭														8.5	5.2				0.5	0.4	0.5	
気管支、肺								1.9	4.5	6.7	11.0	29.6	40.6	76.3	98.2	128.1	147.5	252.4	21.3	11.7	16.8	
皮膚					2.5				2.2		16.5	11.9	6.8	21.2	31.0	51.3	78.1	117.8	8.8	4.6	6.8	
乳房						7.3	18.1	46.7	69.4	66.5	46.8	38.5	57.5	25.4	77.5	38.4	52.1	25.2	26.8	21.9	28.2	
子宮					2.5	26.6	38.4	54.2	64.9	79.8	66.0	56.3	74.4	72.1	46.5	32.0	17.4	101.0	34.9	29.1	36.3	
卵巣		2.0		3.7	4.9	9.7	4.5	9.3	26.9	13.3	11.0	8.9	10.1	17.0	25.8	6.4	26.0	16.8	9.0	7.6	9.2	
前立腺																						
膀胱												2.8	5.9	3.4	4.2	15.5	32.0	26.0	25.2	3.0	1.5	2.4
腎、尿管等									2.2	3.3			8.9	6.8	4.2		19.2	8.7	8.4	2.1	1.4	1.9
脳、神経系	4.5	2.0		1.8							11.0		3.4		15.5	6.4	8.7	8.4	2.4	2.1	2.2	
甲状腺					2.5		4.5	9.3	4.5	13.3	22.0	35.6	23.7	29.7	20.7	6.4	26.0	16.8	9.1	7.1	9.2	
悪性リンパ腫				1.8	2.5						2.8	5.9	16.9	17.0	31.0	44.8	43.4	58.9	6.2	3.5	4.9	
多発性骨髄腫											6.7	2.8	5.9	3.4	8.5	15.5	6.4	17.4	2.2	1.6	2.2	
造血組織	6.8		6.0			2.4		5.6	4.5	3.3	30.3	11.9	16.9	38.2	25.8	32.0	34.7	25.2	9.3	7.3	8.8	
その他	2.3		2.0	1.8	4.9	2.4		1.9	9.0	6.7	22.0	20.7	27.0	29.7	46.5	64.1	104.1	101.0	13.6	8.8	11.7	

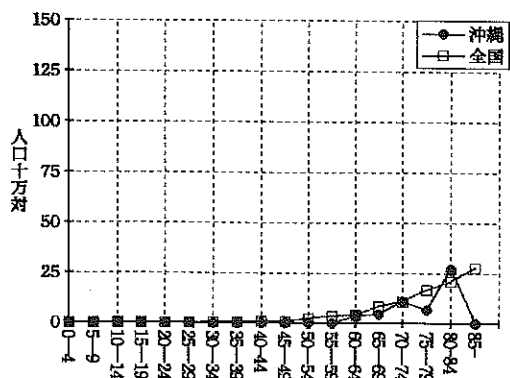
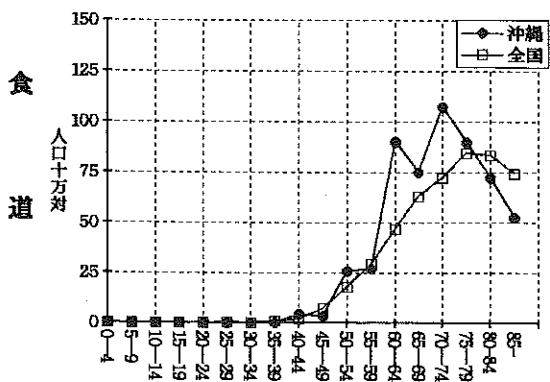
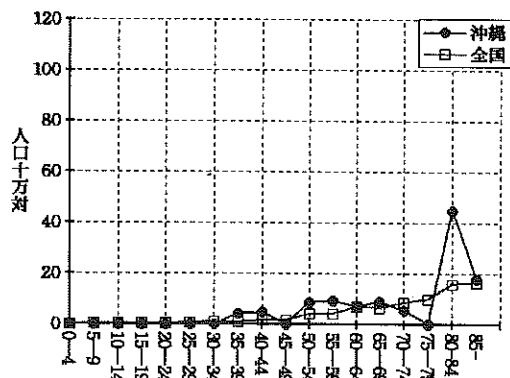
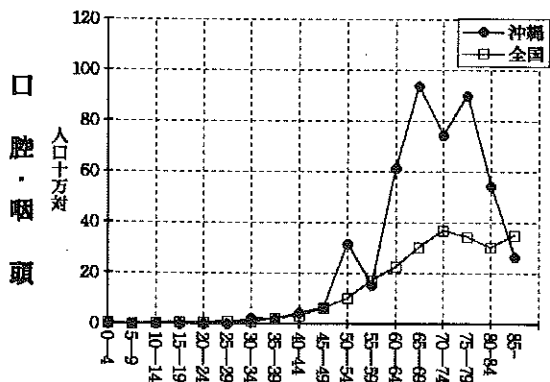
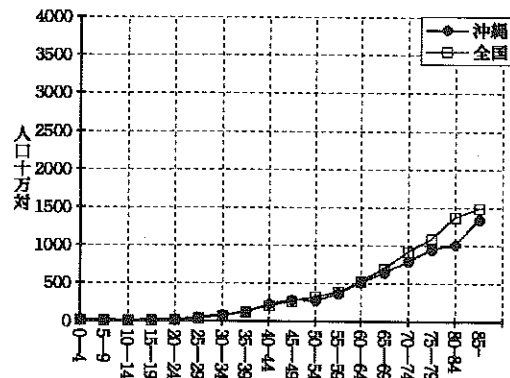
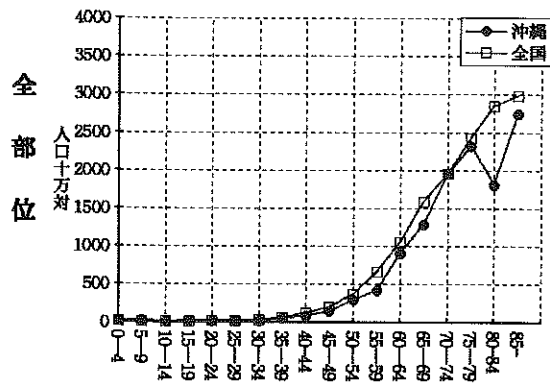


(6) 部位別年齢階級別罹患率 (平成3年、沖縄県-全国推計値)

全部位では、沖縄県は男女とも全国に比べて低く、全国と同様、40歳以降から増加している。口腔・咽頭は男で45歳以降で増加し始め、80-84歳までは沖縄県が高く推移している。食道は男で50歳以降で増加し、75-79歳までは沖縄県が高い。80歳以降では全国が高い。胃、結腸、直腸、肝臓、膵臓では40歳以降で全国が高い。気管支・肺は男では、55歳以降で沖縄県が高くなっている。皮膚では男は45-54歳、60-80歳で沖縄県が高い。乳房は沖縄県、全国とも25歳以降から増加しており、全国が高い。子宮では25歳以降から沖縄県、全国とも増加しており、沖縄県が高く推移している。前立腺では全国、沖縄とも60歳以降で増加し、全国が高い。膀胱では、男の50-69歳、75-80歳で全国が高い。甲状腺は沖縄県、全国とも25歳以降の女で増加が見られ、50-74歳で沖縄県が高い。悪性リンパ腫、造血組織は沖縄県が全国よりも高く推移している。

(男)

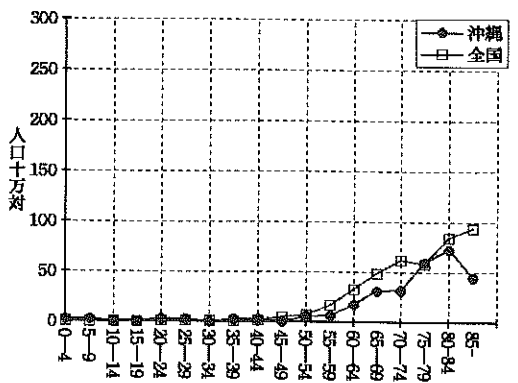
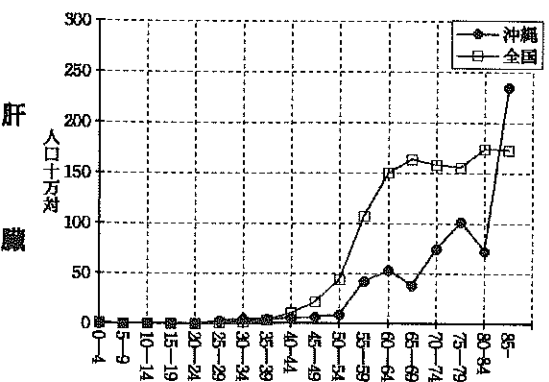
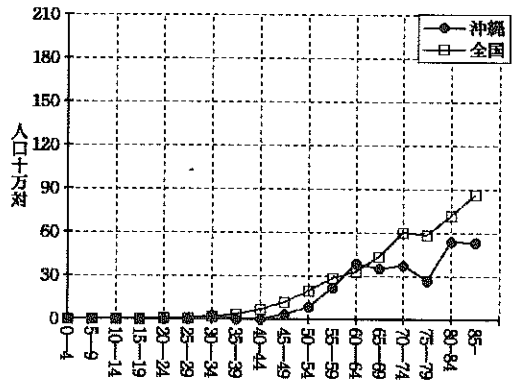
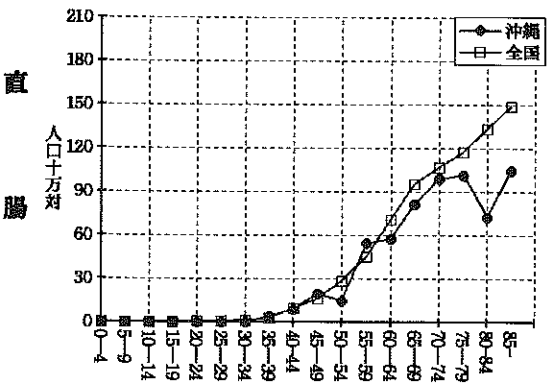
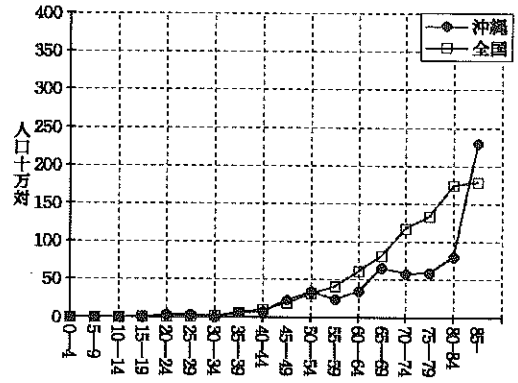
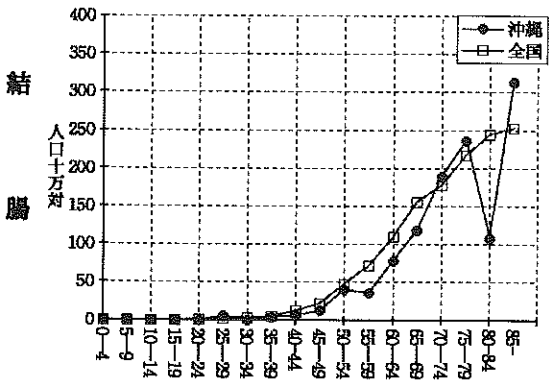
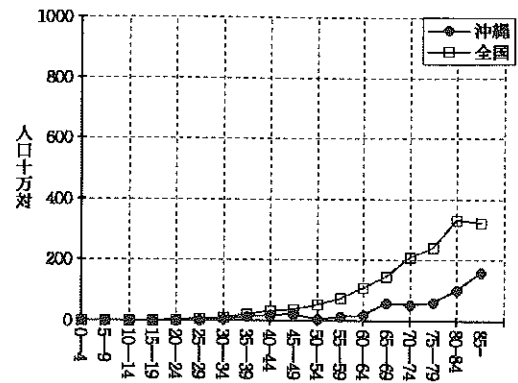
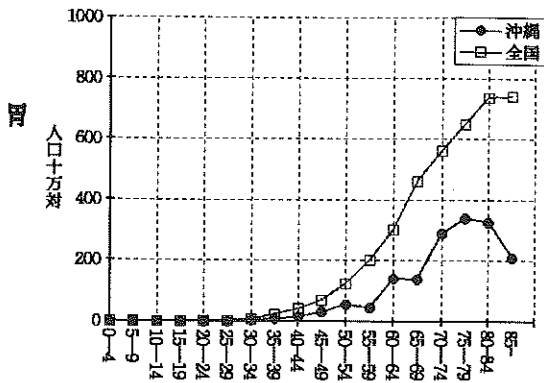
(女)



部位別年齢階級別罹患率

(男)

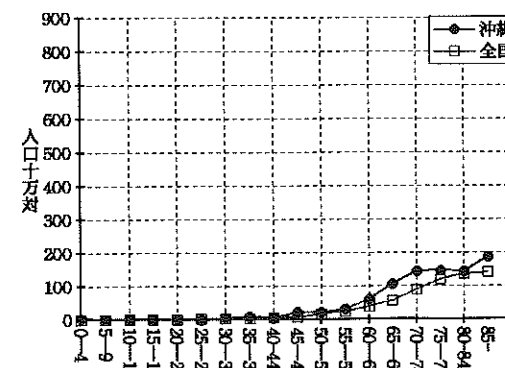
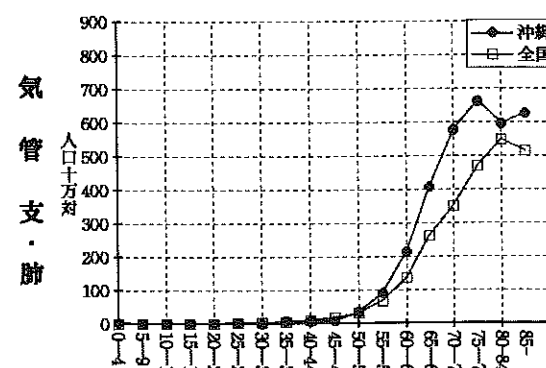
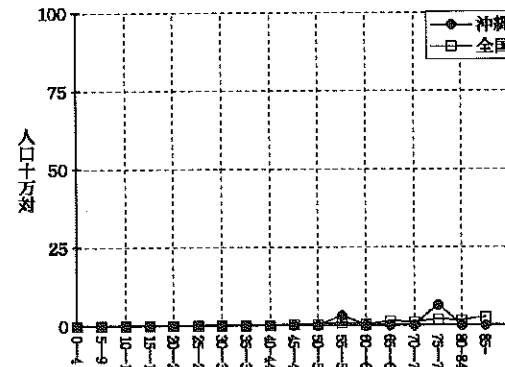
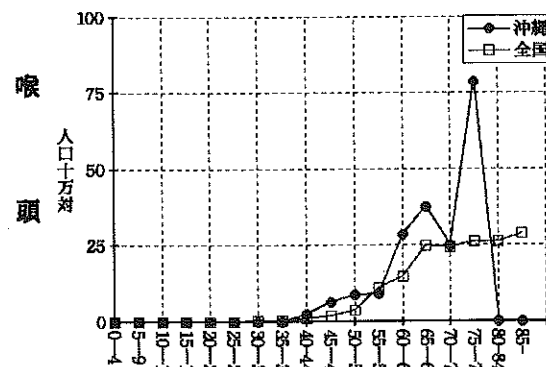
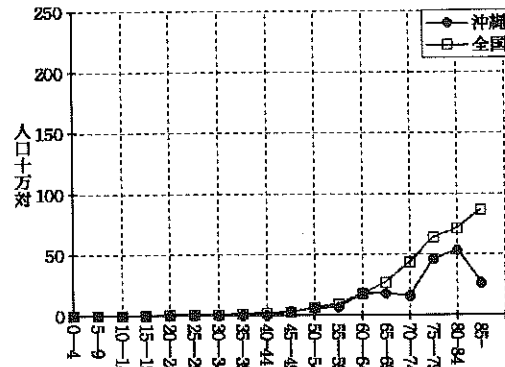
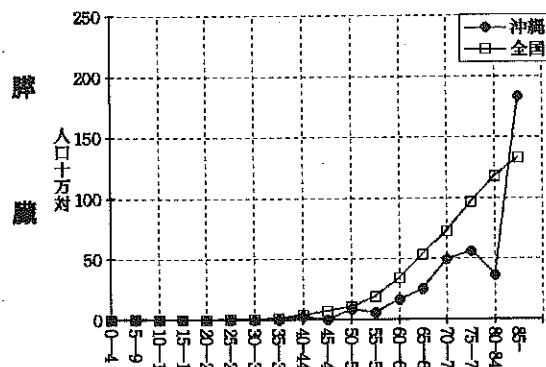
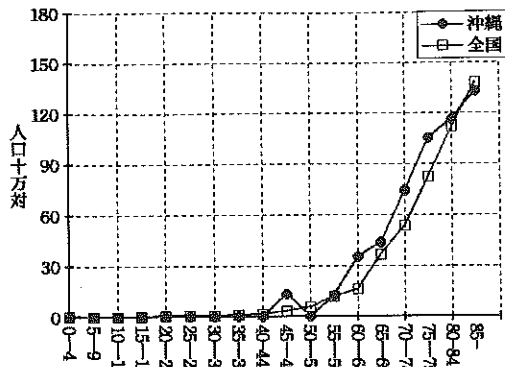
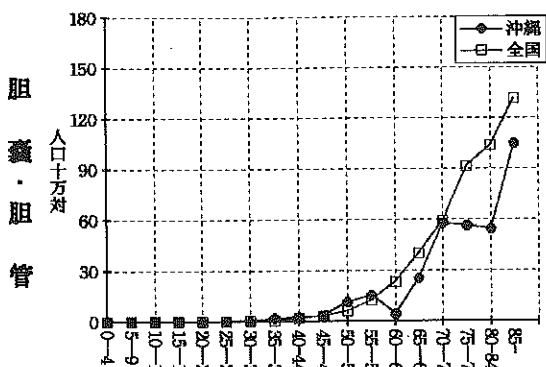
(女)



部位別年齢階級別罹患率

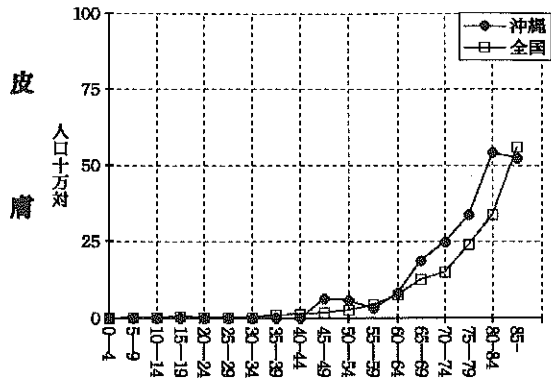
(男)

(女)

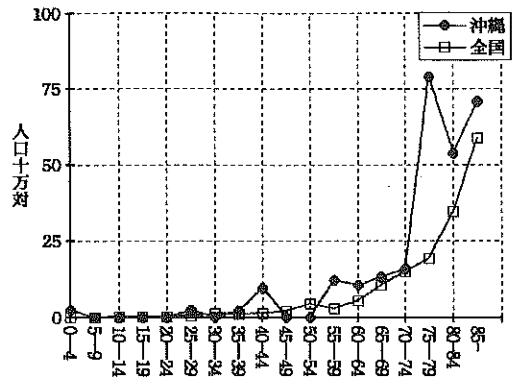


部位別年齢階級別罹患率

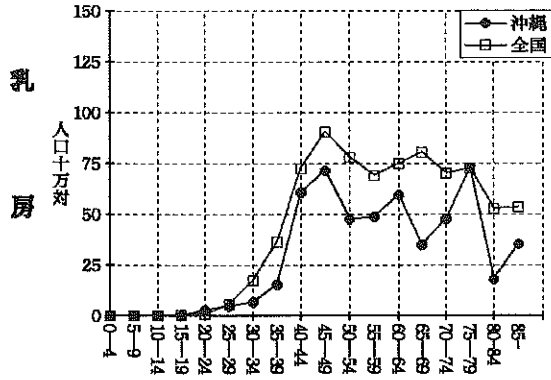
(男)



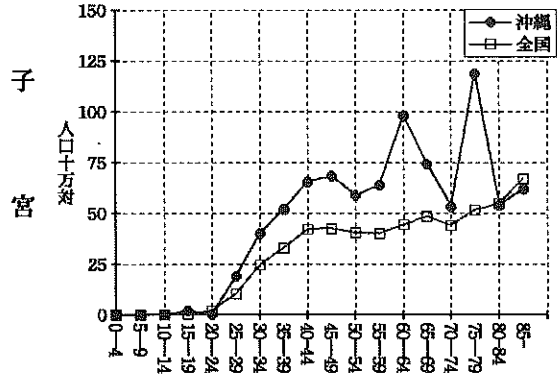
(女)



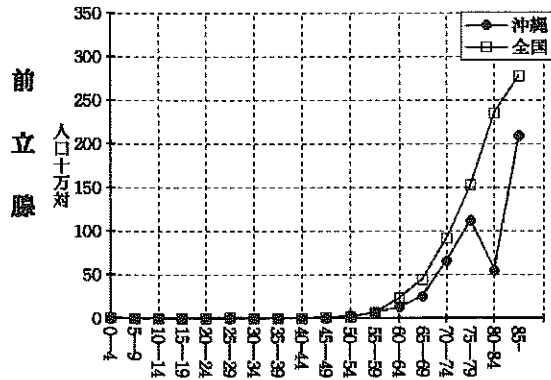
(女)



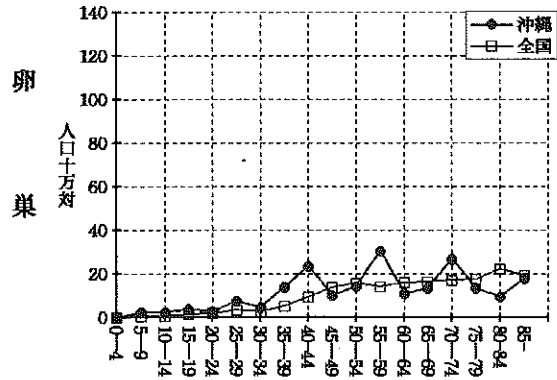
(女)



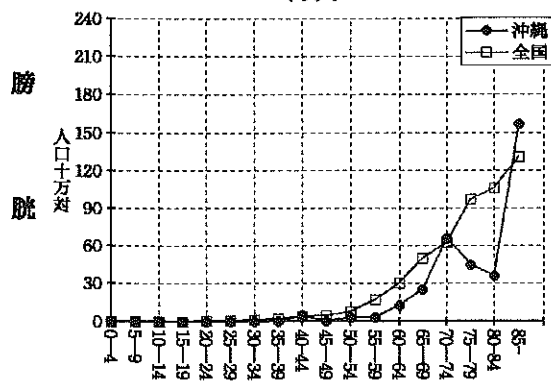
(男)



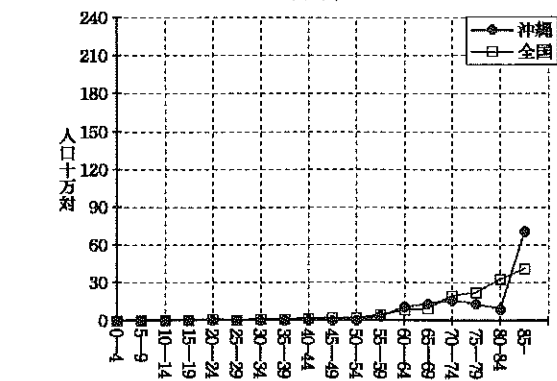
(女)



(男)

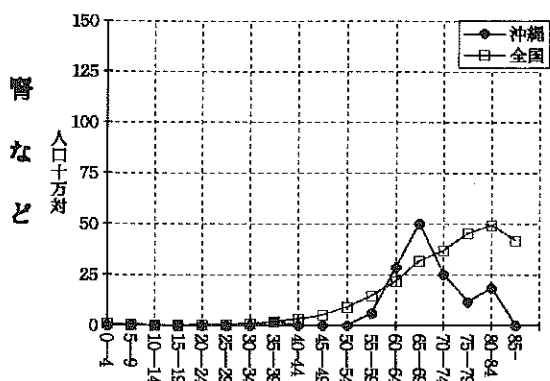


(女)

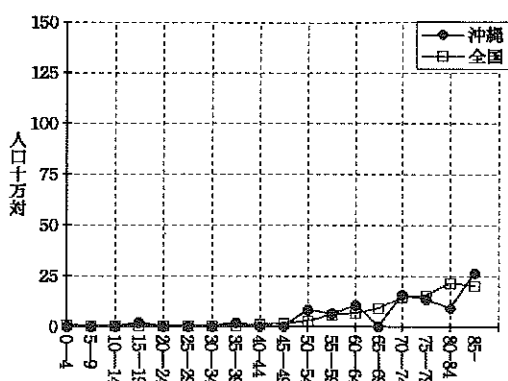


部位別年齢階級別罹患率

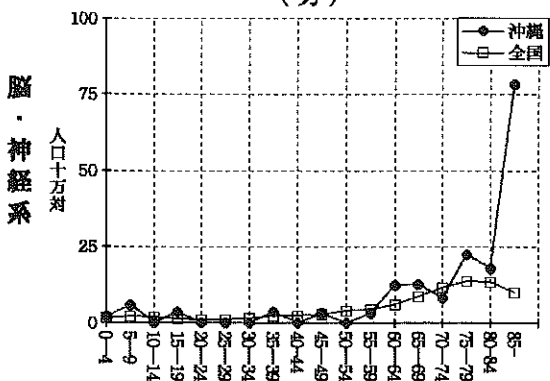
(男)



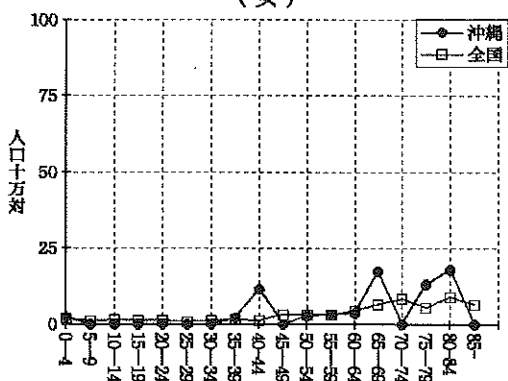
(女)



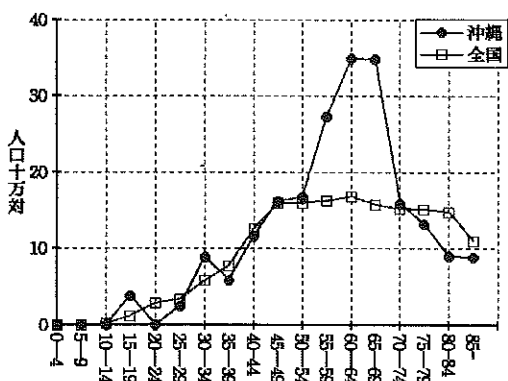
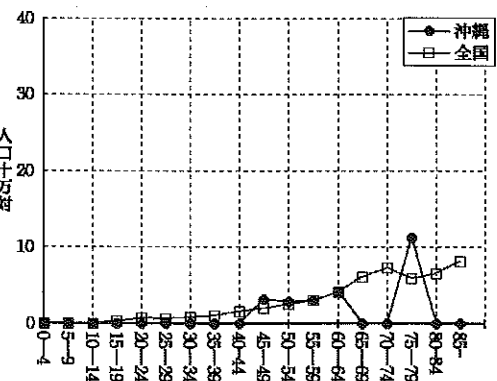
(男)



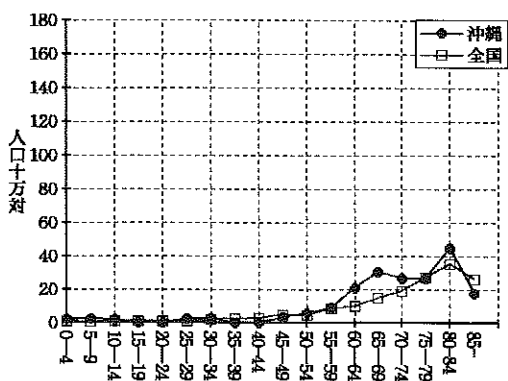
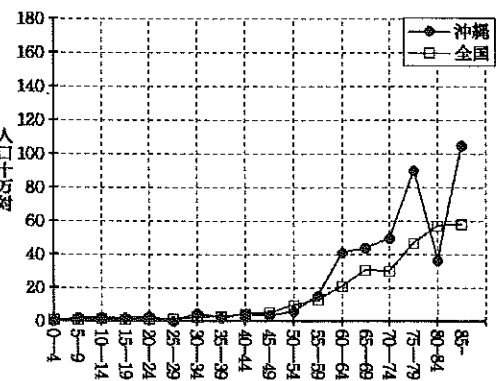
(女)



甲状腺

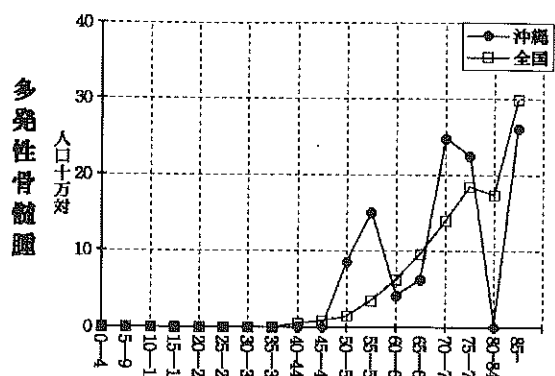


悪性リンパ腫

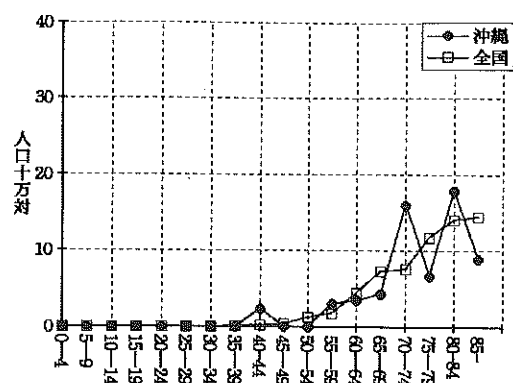


部位別年齢階級別罹患率

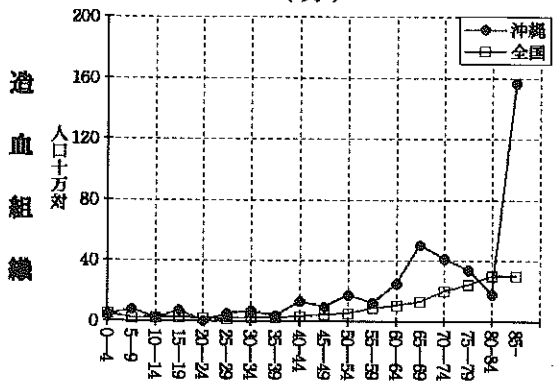
(男)



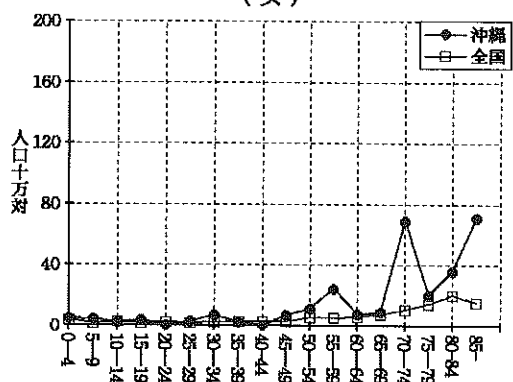
(女)



(男)



(女)



## (7) 診断方法、治療方法

## 1) 診断方法 (平成3年)

死亡票を除いた届出票 2,154件 (男1,059件、女1,095件) についての診断状況は、男では組織診断が 72.1%、次いでX線、CT、内視鏡、超音波、細胞診の順に割合が高かった。女では組織診断が72.9%、次いでCT、X線、細胞診、超音波の順に割合が高かった。

(男)

平成3年

ICD9コード	部位	罹患数	X線	内視鏡	組織診	細胞診	R・I	超音波	剖検	臨床経過	CT	その他
140-149	口腔	49	14.3	8.2	95.9	10.2	4.1	6.1	0.0	0.0	18.4	0.0
150	食道	62	41.9	56.5	75.8	9.7	6.5	30.6	0.0	0.0	40.3	6.5
151	胃	151	36.4	60.9	74.8	9.3	2.6	29.1	0.0	0.0	25.2	4.0
153	結腸	108	39.8	44.4	75.0	10.2	2.8	28.7	0.0	0.0	30.6	3.7
154	直腸	75	38.7	45.3	69.3	4.0	4.0	14.7	0.0	0.0	21.3	1.3
155	肝臓	44	34.1	20.5	36.4	18.2	4.5	59.1	4.5	4.5	63.6	27.3
156	胆嚢、胆管	17	47.1	23.5	52.9	11.8	5.9	35.3	0.0	5.9	29.4	17.6
157	脾臓	18	27.8	33.3	33.3	11.1	5.6	61.1	0.0	0.0	55.6	22.2
161	喉頭	30	13.3	10.0	100.0	3.3	0.0	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0
162	肺	247	70.4	51.8	76.5	63.6	49.4	20.6	0.0	0.4	66.4	2.0
172-173	皮膚	21	14.3	0.0	85.7	0.0	9.5	14.3	0.0	4.8	14.3	0.0
174-175,2330	乳房	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
179-182,2331	子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1830	卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
185	前立腺	30	33.3	13.3	66.7	6.7	20.0	23.3	0.0	0.0	20.0	10.0
188	膀胱	22	22.7	4.5	50.0	31.8	9.1	36.4	0.0	0.0	22.7	0.0
189	腎など	19	42.1	26.3	52.6	21.1	5.3	36.8	0.0	0.0	47.4	0.0
191-192	脳、神経系	12	8.3	8.3	58.3	8.3	8.3	33.3	0.0	0.0	66.7	25.0
193	甲状腺	3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
200-202	悪性リンパ腫	37	35.1	13.5	81.1	16.2	27.0	24.3	0.0	2.7	32.4	2.7
203	多発性骨髄腫	11	27.3	9.1	54.5	9.1	27.3	18.2	0.0	0.0	27.3	18.2
204-208	造血組織	48	16.7	2.1	70.8	10.4	8.3	12.5	2.1	0.0	16.7	14.6
	その他	53	30.2	7.5	66.0	15.1	20.8	22.6	0.0	1.9	41.5	9.4
140-208,2330	2331全部位	1059	41.0	36.4	72.1	23.0	17.3	24.9	0.3	0.7	38.6	5.7

(女)

平成3年

ICD9コード	部位	罹患数	X線	内視鏡	組織診	細胞診	R・I	超音波	剖検	臨床経過	CT	その他
140-149	口腔	18	5.6	0.0	88.9	5.6	5.6	11.1	0.0	5.6	16.7	0.0
150	食道	6	66.7	50.0	66.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0
151	胃	65	35.4	64.6	78.5	4.6	1.5	23.1	0.0	1.5	26.2	3.1
153	結腸	82	41.5	36.6	70.7	15.9	1.2	40.2	0.0	2.4	35.4	7.3
154	直腸	44	45.5	34.1	70.5	4.5	0.0	31.8	0.0	4.5	22.7	2.3
155	肝臓	28	17.9	28.6	39.3	7.1	3.6	78.6	10.7	0.0	60.7	21.4
156	胆嚢、胆管	48	33.3	22.9	31.3	20.8	10.4	58.3	2.1	0.0	66.7	25.0
157	膵臓	12	41.7	8.3	25.0	25.0	0.0	58.3	0.0	0.0	41.7	25.0
161	喉頭	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
162	肺	116	64.7	41.4	69.0	52.6	40.5	17.2	1.7	2.6	57.8	2.6
172-173	皮膚	45	22.2	0.0	84.4	8.9	13.3	6.7	0.0	2.2	15.6	2.2
174-175,2330	乳房	138	37.0	1.4	74.6	21.0	13.8	31.2	0.0	0.7	13.0	3.6
179-182,2331	子宮	212	11.3	23.6	91.0	67.9	0.9	13.2	0.0	0.5	29.7	0.9
1830	卵巣	51	17.6	5.9	60.8	21.6	2.0	27.5	0.0	0.0	23.5	0.0
185	前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
188	膀胱	12	33.3	33.3	66.7	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	16.7	0.0
189	腎など	13	23.1	0.0	69.2	15.4	0.0	46.2	0.0	0.0	61.5	7.7
191-192	脳、神経系	9	22.2	0.0	66.7	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	77.8	33.3
193	甲状腺	58	39.7	6.9	86.2	31.0	34.5	53.4	0.0	3.4	17.2	1.7
200-202	悪性リンパ腫	27	25.9	14.8	81.5	22.2	14.8	37.0	3.7	0.0	40.7	0.0
203	多発性骨髄腫	7	28.6	0.0	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
204-208	造血組織	40	20.0	2.5	60.0	15.0	5.0	17.5	0.0	5.0	12.5	10.0
	その他	62	32.3	8.1	64.5	19.4	16.1	21.0	3.2	1.6	35.5	3.2
140-208,2330 2331	全部位	1095	31.6	21.1	72.9	30.5	11.0	27.9	0.8	1.6	31.8	4.7



2)治療方法（平成3年）

死亡票を除いた届出票 2,154件（男1,059件、女1,095件）についての治療状況は、男では手術が55.0%、次いで化学療法、放射線療法の順であった。女では手術が63.2%で男性よりも高く、次いで化学療法、放射線療法の順であった。

（男）

平成3年

ICD9コード	部位	罹患数	手術	放射線	化学療法	ホルモン療法	免疫療法	対症療法	その他
140-149	口腔	49	75.5	46.9	22.4	0.0	0.0	4.1	2.0
150	食道	62	54.8	38.7	35.5	0.0	0.0	3.2	3.2
151	胃	151	72.2	0.7	28.5	0.0	3.3	6.0	2.0
153	結腸	108	75.9	0.9	25.0	0.0	1.9	2.8	1.9
154	直腸	75	77.3	1.3	32.0	0.0	0.0	2.7	0.0
155	肝臓	44	29.5	2.3	25.0	2.3	0.0	15.9	11.4
156	胆嚢、胆管	17	52.9	11.8	23.5	0.0	5.9	23.5	0.0
157	膵臓	18	66.7	0.0	22.2	5.6	5.6	11.1	0.0
161	喉頭	30	60.0	60.0	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7
162	肺	247	38.5	15.4	40.5	0.0	1.2	11.3	3.6
172-173	皮膚	21	85.7	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8
174-175,2330	乳房	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
179-182,2331	子宮	-	-	-	-	-	-	-	-
1830	卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-
185	前立腺	30	60.0	0.0	3.3	30.0	0.0	0.0	0.0
188	膀胱	22	59.1	4.5	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
189	腎など	19	68.4	5.3	26.3	0.0	5.3	0.0	0.0
191-192	脳、神経系	12	66.7	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
193	甲状腺	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
200-202	悪性リンパ腫	37	21.6	10.8	67.6	2.7	0.0	5.4	5.4
203	多発性骨髄腫	11	9.1	27.3	72.7	0.0	9.1	18.2	0.0
204-208	造血組織	48	4.2	8.3	70.8	4.2	0.0	2.1	10.4
	その他	53	56.6	18.9	18.9	0.0	1.9	1.9	9.4
140-208.2330	2331全部位	1059	55.0	12.7	32.2	1.4	1.4	6.1	3.5

(女)

平成3年

ICD9コード	部位	罹患数	手術	放射線	化学療法	ホルモン療法	免疫療法	対症療法	その他
140-149	口腔	18	83.3	27.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
150	食道	6	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
151	胃	65	66.2	0.0	26.2	0.0	4.6	13.8	3.1
153	結腸	82	73.2	2.4	35.4	0.0	2.4	3.7	1.2
154	直腸	44	68.2	2.3	34.1	0.0	4.5	4.5	4.5
155	肝臓	28	28.6	3.6	42.9	0.0	0.0	10.7	14.3
156	胆嚢、胆管	48	43.8	4.2	27.1	0.0	0.0	12.5	2.1
157	膵臓	12	33.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
161	喉頭	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
162	肺	116	38.8	11.2	28.4	0.9	0.9	20.7	6.0
172-173	皮膚	45	84.4	8.9	2.2	0.0	0.0	0.0	4.4
174-175,2330	乳房	138	83.3	10.9	37.0	13.8	0.0	0.0	0.0
179-182,2331	子宮	212	73.6	25.5	14.6	0.5	0.0	0.5	2.8
1830	卵巣	51	68.6	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
185	前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-
188	膀胱	12	66.7	0.0	41.7	0.0	0.0	8.3	0.0
189	腎など	13	69.2	0.0	15.4	15.4	7.7	15.4	0.0
191-192	脳、神経系	9	66.7	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2
193	甲状腺	58	91.4	5.2	12.1	12.1	1.7	0.0	0.0
200-202	悪性リンパ腫	27	33.3	11.1	66.7	0.0	0.0	3.7	3.7
203	多発性骨髄腫	7	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0
204-208	造血組織	40	0.0	2.5	70.0	5.0	2.5	2.5	2.5
	その他	62	56.5	14.5	33.9	3.2	0.0	6.5	0.0
140-208,2330	2331全部位	1095	63.2	10.8	28.6	3.2	1.1	5.2	2.7

3) 診断方法 (平成4年)

死亡票を除いた届出票 2,107件 (男1,014件、女1,093件) についての診断状況は、男では組織診断が 69.7、%、次いで内視鏡、CT、X線、超音波、細胞診の順に割合が高かった。女では組織診断が72.3%、次いでCT、X線、細胞診、超音波の順に割合が高かった。

(男)

平成4年

ICD9コード	部位	罹患数	X線	内視鏡	組織診	細胞診	R・I	超音波	剖検	臨床経過	CT	その他
140-149	口腔	56	7.1	0.0	92.9	5.4	3.6	5.4	0.0	3.6	21.4	8.9
150	食道	50	42.0	50.0	74.0	6.0	14.0	32.0	0.0	2.0	34.0	6.0
151	胃	165	30.3	60.0	72.7	7.9	3.0	21.8	0.0	0.6	19.4	10.3
153	結腸	108	28.7	47.2	71.3	5.6	0.0	24.1	0.9	0.9	19.4	9.3
154	直腸	55	29.1	50.9	61.8	0.0	1.8	18.2	0.0	0.0	14.5	9.1
155	肝臓	49	16.3	20.4	28.6	8.2	0.0	53.1	6.1	4.1	57.1	24.5
156	胆嚢、胆管	25	40.0	24.0	52.0	20.0	8.0	68.0	0.0	8.0	52.0	20.0
157	脾臓	21	14.3	9.5	42.9	23.8	9.5	42.9	0.0	0.0	52.4	28.6
161	喉頭	26	11.5	15.4	96.2	7.7	0.0	11.5	0.0	0.0	15.4	0.0
162	肺	223	68.2	53.4	79.8	59.6	46.2	22.0	0.4	0.4	64.6	1.3
172-173	皮膚	31	16.1	0.0	93.5	3.2	16.1	6.5	0.0	6.5	9.7	3.2
174-175, 2330	乳房	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
179-182, 2331	子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1830	卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
185	前立腺	29	10.3	3.4	65.5	3.4	13.8	31.0	0.0	3.4	3.4	0.0
188	膀胱	17	23.5	29.4	64.7	35.3	5.9	41.2	0.0	5.9	29.4	0.0
189	腎など	17	35.3	5.9	58.8	0.0	5.9	58.8	0.0	0.0	64.7	17.6
191-192	脳、神経系	5	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	80.0	20.0
193	甲状腺	8	50.0	25.0	62.5	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	50.0	0.0
200-202	悪性リンパ腫	38	13.2	2.6	68.4	5.3	10.5	47.4	0.0	0.0	31.6	10.5
203	多発性骨髄腫	7	42.9	0.0	57.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6
204-208	造血組織	35	14.3	2.9	31.4	22.9	5.7	20.0	0.0	0.0	17.1	22.9
	その他	47	27.7	8.5	66.0	10.6	14.9	10.6	0.0	0.0	38.3	4.3
140-208, 2330 2331	全部位	1014	34.2	35.4	69.7	19.6	14.9	25.8	0.5	1.6	34.9	8.6

(女)

平成4年

ICD9コード'	部位	罹患数	X線	内視鏡	組織診	細胞診	R・I	超音波	剖検	臨床経過	CT	その他
140-149	口腔	10	0.0	0.0	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
150	食道	10	30.0	40.0	80.0	20.0	10.0	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0
151	胃	69	21.7	60.9	65.2	1.4	0.0	18.8	0.0	1.4	21.7	5.8
153	結腸	105	31.4	38.1	69.5	5.7	5.7	26.7	0.0	2.9	25.7	7.6
154	直腸	44	40.9	50.0	75.0	0.0	0.0	22.7	0.0	2.3	25.0	2.3
155	肝臓	28	17.9	10.7	39.3	14.3	7.1	53.6	3.6	3.6	60.7	10.7
156	胆嚢、胆管	28	32.1	17.9	75.0	10.7	0.0	35.7	3.6	0.0	25.0	21.4
157	膵臓	25	28.0	16.0	24.0	16.0	8.0	56.0	0.0	4.0	68.0	28.0
161	喉頭	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
162	肺	90	73.3	47.8	75.6	57.8	40.0	22.2	0.0	1.1	73.3	1.1
172-173	皮膚	52	15.4	0.0	90.4	3.8	11.5	3.8	0.0	1.9	23.1	0.0
174-175,2330	乳房	161	46.0	0.6	69.6	31.1	14.9	50.9	0.0	1.2	6.8	6.2
179-182,2331	子宮	204	14.2	22.5	95.6	67.6	1.5	13.7	0.5	0.0	25.0	0.5
1830	卵巣	46	8.7	6.5	67.4	23.9	0.0	28.3	0.0	0.0	32.6	2.2
185	前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
188	膀胱	14	0.0	21.4	71.4	21.4	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0
189	腎など	11	27.3	9.1	63.6	9.1	36.4	45.5	0.0	0.0	63.6	0.0
191-192	脳、神経系	4	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0
193	甲状腺	56	25.0	1.8	76.8	25.0	17.9	41.1	0.0	0.0	23.2	0.0
200-202	悪性リンパ腫	26	11.5	7.7	46.2	0.0	23.1	19.2	0.0	7.7	26.9	7.7
203	多発性骨髄腫	10	60.0	0.0	80.0	0.0	30.0	30.0	0.0	20.0	20.0	0.0
204-208	造血組織	41	9.8	2.4	36.6	19.5	4.9	24.4	0.0	2.4	19.5	26.8
	その他	56	28.6	10.7	55.4	25.0	21.4	26.8	1.8	0.0	41.1	3.6
140-208,2330 2331	全部位	1093	29.0	20.9	72.3	28.7	10.8	28.0	0.4	1.5	29.6	5.2

4)治療方法（届出数に対する割合）

死亡票を除いた届出票 2,107件（男1,014件、女1,093件）についての治療状況は、男では手術が 51.4%、次いで化学療法、放射線療法の順に割合が高かった。女では手術が64.1%、次いで化学療法、放射線療法の順に割合が高かった。

（男）

平成4年

ICD9コード*	部位	罹患者数	手術	放射線	化学療法	ホルモン療法	免疫療法	対症療法	その他
140-149	口腔	56	57.1	39.3	26.8	0.0	0.0	3.6	3.6
150	食道	50	54.0	40.0	30.0	0.0	0.0	4.0	8.0
151	胃	165	64.8	0.0	35.8	0.0	2.4	4.8	3.0
153	結腸	108	72.2	0.0	31.5	0.0	1.9	0.9	3.7
154	直腸	55	69.1	9.1	25.5	0.0	1.8	3.6	1.8
155	肝臓	49	22.4	0.0	18.4	0.0	0.0	16.3	18.4
156	胆嚢、胆管	25	52.0	0.0	24.0	0.0	0.0	12.0	12.0
157	膵臓	21	57.1	0.0	38.1	0.0	0.0	14.3	14.3
161	喉頭	26	57.7	57.7	7.7	3.8	0.0	3.8	7.7
162	肺	223	35.0	22.9	40.4	0.0	0.9	11.2	6.3
172-173	皮膚	31	90.3	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	6.5
174-175,2330	乳房	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
179-182,2331	子宮	-	-	-	-	-	-	-	-
1830	卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-
185	前立腺	29	48.3	3.4	3.4	20.7	0.0	0.0	20.7
188	膀胱	17	64.7	0.0	41.2	0.0	0.0	11.8	5.9
189	腎など	17	76.5	0.0	11.8	5.9	23.5	5.9	5.9
191-192	脳、神経系	5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
193	甲状腺	8	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
200-202	悪性リンパ腫	38	23.7	23.7	44.7	0.0	0.0	5.3	2.6
203	多発性骨髄腫	7	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0
204-208	造血組織	35	2.9	8.6	57.1	2.9	0.0	2.9	5.7
	その他	47	46.8	21.3	27.7	0.0	0.0	8.5	6.4
140-208.2330	2331全部位	1014	51.4	13.7	31.6	1.1	1.3	6.4	6.4

(女)

平成4年

ICD9コード	部位	罹患数	手術	放射線	化学療法	ホルモン療法	免疫療法	対症療法	その他
140-149	口腔	10	70.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
150	食道	10	50.0	50.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0
151	胃	69	58.0	0.0	21.7	0.0	0.0	10.1	4.3
153	結腸	105	69.5	0.0	31.4	0.0	0.0	1.0	1.9
154	直腸	44	77.3	0.0	34.1	0.0	0.0	4.5	0.0
155	肝臓	28	7.1	0.0	25.0	0.0	0.0	10.7	28.6
156	胆嚢、胆管	28	64.3	3.6	28.6	0.0	0.0	7.1	3.6
157	膵臓	25	32.0	8.0	32.0	0.0	4.0	16.0	12.0
161	喉頭	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
162	肺	90	38.9	12.2	41.1	0.0	0.0	15.6	8.9
172-173	皮膚	52	80.8	5.8	5.8	0.0	1.9	1.9	5.8
174-175,2330	乳房	161	81.4	11.8	46.0	13.0	0.0	0.0	0.6
179-182,2331	子宮	204	86.3	22.1	11.8	0.5	0.0	1.0	0.5
1830	卵巣	46	65.2	0.0	32.6	4.3	0.0	0.0	2.2
185	前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-
188	膀胱	14	71.4	14.3	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1
189	腎など	11	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
191-192	脳、神経系	4	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
193	甲状腺	56	87.5	5.4	3.6	5.4	0.0	3.6	0.0
200-202	悪性リンパ腫	26	7.7	11.5	46.2	0.0	0.0	3.8	3.8
203	多発性骨髄腫	10	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0
204-208	造血組織	41	7.3	0.0	56.1	0.0	2.4	0.0	9.8
	その他	56	41.1	10.7	21.4	1.8	0.0	10.7	5.4
140-208.2330	2331全部位	1093	64.1	9.9	27.9	2.6	0.3	4.4	3.7

#### 4. 沖縄県悪性新生物登録資料の利用状況

平成8年中の沖縄県悪性新生物登録資料の利用については下記の申請・承認があった。

申請者氏名	申請者所属	研究内容	データ内容
古謝 静男	琉球大学医学部 附属病院	沖縄県頭頸部癌の罹患率を日本の他の地域と比較することにより沖縄県における頭頸部癌の特徴を明らかにする。	1988～1990年の舌癌、唾液腺癌、上咽頭、中咽頭、下咽頭、副鼻腔、喉頭癌それぞれの罹患率
知名 保	沖縄県立南部病院	南部病院外科における悪性新生物の臨床統計	糸満市在住の悪性新生物症例の年次別、性別年齢別、臓器別の統計データ
上原 隆	沖縄県衛生環境研究所	全国がん罹患数及び罹患率の推定（厚生省がん研究助成金による「地域がん登録」共同調査）	昭和63年～平成4年における沖縄県の年次別性別、年齢階級別、部位別罹患数

## II 参 考 资 料



## 1. 沖縄県悪性新生物登録事業要綱

### (1) 目的

近年悪性新生物による死亡は増加の一途をたどり、死因順位の高位を占める現状にかんがみ、本県におけるその実態を明らかにする意義はきわめて大きい。本事業は沖縄県下における悪性新生物の罹患の実態を把握し、悪性新生物対策の資料に資することを目的とする。

### (2) 概要

本事業は沖縄県がその実施主体となり、沖縄県に居住する者を対象とし、医療機関で悪性新生物と診断された者及び保健所に報告された死亡者を対象とする。

県内の医療機関における医師は対象疾病患者を診断したとき、あるいは悪性新生物により患者が死亡したとき、予め各医療機関へ配布しておいた届出票にその都度必要事項を記入し、中央登録室へ送付する。

中央登録室は収集した届出票を電子計算機にて処理し患者ごとに登録し保管する。本登録事業に係わる資料の集計解析の結果を年報等により公表し、さらに、必要に応じ各々医療機関に係わる情報を解析し、還元、提供することができる。

また、沖縄県は、これらの資料をもとに悪性新生物の予防対策や医療計画の策定等の基礎的資料に資する。

### (3) 組織

登録事業は、医療機関の全面的な協力を得て、老人保健法に基づく沖縄県成人病検診管理指導協議会の指導助言のもとに、沖縄県が実施するものである。

本事業を推進するための事務局を沖縄県生活福祉部長寿社会対策室に置く。

実施機関として中央登録室を置き、届出票の回収、解析、保管及び情報の提供並びに諸疫学調査を行う。

また、登録票記載事項等の照会、検討、その他登録業務の運営に関し協議するため悪性新生物登録審査会を置く。その委員は臨床、病理、疫学の各部門の専門家で構成する。

さらに各地域の保健所は各々所轄の医療機関への届出票の配布作業やその疑義事項の問い合わせ、必要に応じて各種疫学調査を協同で行う。

なお、本事業の組織図は、別添資料に記載する。

#### (4) 情報の管理

本事業を推進するにあたり、収集された個人情報、他に漏洩のないよう厳重に管理、保管するものとする。

附 則

この要綱は、昭和62年4月27日から実施する。

附 則

この要綱は、昭和63年9月1日から実施する。

## 2. 沖縄県悪性新生物登録事業実施要領

### (1) 登録の対象

沖縄県悪性新生物登録の対象は、沖縄県居住者で下記の疾患と診断された者、または、死亡した者である。

1) 悪性新生物 (ICD-9の140-209)

2) 上皮内癌 (ICD-9の230-234)

3) 性状不詳の新生物 (ICD-9の235-239)

この中には、良性と明記されていない脳腫瘍、内分泌腫瘍を含む。

### (2) 届出による登録

各医療機関の医師は上記悪性新生物と診断された患者について、別紙様式による悪性新生物登録票（以下届出票と略す）に所要事項を記入し、中央登録室へ送付する。

届出の時期は初発、再発とも①入院患者は退院時、②外来患者は治療方針が確定（診断確定）した時または治療終了時、③患者死亡時各時期の診断内容をその都度届出る。

既に他の医師からの届出の有無にかかわらず、患者であると診断したときも届出る。届出済みの患者があらたに別の悪性新生物に罹患したと診断したときも届出る。重複悪性新生物患者の場合は、原発部位ごとに別の届出票に記入し届出る。

既に届出済みの患者がその後に非悪性新生物と判明した場合、その旨を「届出取消し」として届出る。

届出の内容は別紙様式による。

### (3) 死亡票による登録

行政管理庁の認可を受け、県下各保健所の人口動態調査死亡票から次の事項について調査する。

調査項目は、氏名、性別、生年月日、住所、職業、死亡年月日、死亡場所、死因、その他等で、既登録患者ファイルと照合を行い、また、未登録者については補充登録を行う。

### (4) 届出の方法

各医療機関において当該疾病患者を担当した医師は、届出票に所要事項を記載し、患者にかかる秘密の保持に留意し、別添の専用の封筒に入れ、中央登録室宛に郵送する。

(5) 関係医療機関の協力

本登録事業は関係医療機関及びその関係医師等の全面的な協力を得て行うものとする。

(6) 中央登録室

中央登録室は沖縄県衛生環境研究所に置き、各医療機関より収集された届出票はそこで照合、集計を行う。また、集計、解析の結果を、年度終了後年報として公表する。さらに、必要に応じ医療機関に対し、各々に係わる情報を還元するものとする。

(7) 悪性新生物登録審査会

本会は中央登録室をバックアップするため届出票の記載内容の検討、分類法の指導あるいは、報告書の作成にあたり意見を述べる等本事業の完遂に協力する。

(8) 秘密の保持

本事業に従事した医師及び関係者は、患者についての業務上知り得た秘密については、これを厳守するものとする。

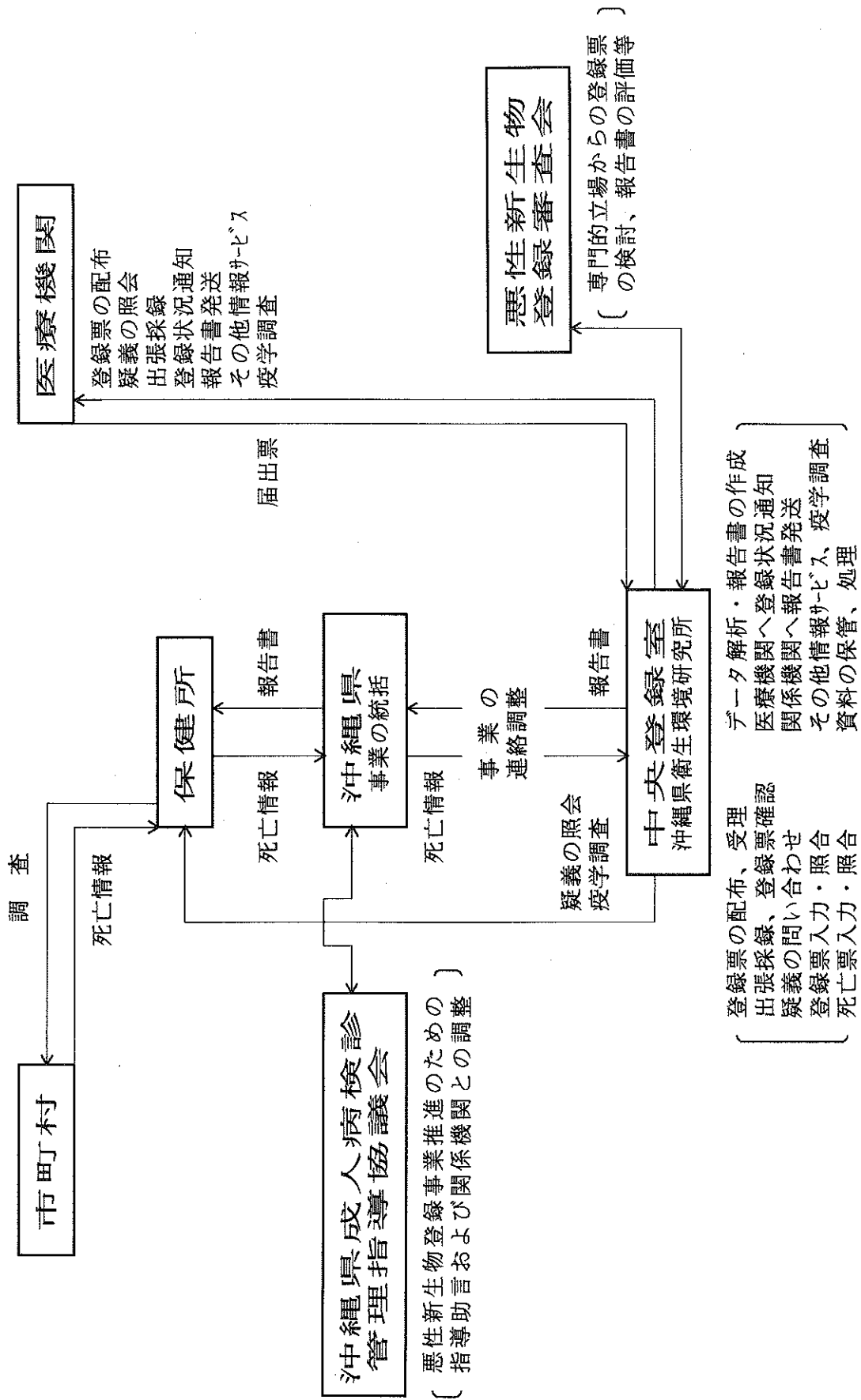
附 則

この要領は、昭和62年4月27日から実施する。

附 則

この要領は、昭和63年9月1日から実施する。

# 沖縄県悪性新生物登録事業システム図





# 悪性新生物登録票

沖縄県

診断票  
問合せ  
追跡票

カルテ 番号	
担当医師 氏名	

届出機関名・所在地

・名称

ふりがな  
(1) 患者氏名: \_\_\_\_\_ (2) 性別: 1. 男 2. 女

(3) 生年月日 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 年 月 日

(4) 現住所:

(5) 診断名:  
腫瘍占居部位  
1. 原発 2. 続発(原発巣) 3. 不明  
1. 確診 2. 疑診

(6) 進行度:  
1. 早期(上皮内含む) 2. 臓器限局 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明

(7) 悪性新生物の既往: 1. 有(治療機関) 2. 無 3. 不明

(8) 初診年月日: 昭・平 年 月 日 (9) 症状初発年月: 昭・平 年 月頃

(10) 診断年月日: 昭・平 年 月 日 (11) 入院の有無: 1. 有 2. 無

(12) 診断方法: 該当するものには○、中心となるものには◎を付けてください。  
1. X線 2. 内視鏡 3. 組織診(組織診断) 4. 細胞診 5. R.I  
6. 超音波 7. 剖検 8. 臨床経過のみによる診断 9. CT/MRI 10. その他( )

(13) 治療方法: ○印と◎印を(12)と同様に付けてください。治療の具体的内容がわかれば記入して下さい。  
a. 治療手段  
1. 手術(昭・平 年 月 日) 1. 治癒切除 2. 非治癒切除 3. その他の手術  
2. 放射線療法 3. 化学療法 4. ホルモン療法 5. 免疫療法  
6. 対症療法のみ 7. その他  
b. 具体的内容( )

(14) 現在の状態:  
1. 生存中(最終生存確認年月日: 昭・平 年 月 日)  
2. 死亡(死亡年月日: 昭・平 年 月 日) 死因 1. がん死 2. がん以外による死  
3. 不明 死因名( )

(15) 患者が貴院受診前に他機関に訪れている場合は、その診療機関名を記載ください。  
(16) 患者を他機関に紹介された場合は、その診療機関名を記載ください。

(17) 受診動機:  
1. 有訴受診 2. 集団検診 3. 個人健康診断(ドック含む) 4. 他医療機関より紹介 5. その他

この欄は記入しないでください。

※ 受付年月日: \_\_\_\_\_  
※ 受付番号: \_\_\_\_\_  
※ 登録番号: \_\_\_\_\_

901-12

(受取人)

大里村字大里二〇八五番地

沖繩県衛生環境研究所 行

(企画管理部疫学情報室)

料金受取人払

大里局承認

2

差出有効期間  
平成7年6月  
1日から  
平成9年5月  
31日まで

開封厳禁

届出機関 所在地・名称
貴病院・医院・診療所の所在地と名称を書いて下さい。レセプトなどに使用されるスタンプでも構いません。

(1) 患者氏名
氏名には必ず正しいふりがなを付けて下さい。

(3) 生年月日
明(明治)、大(大正)、昭(昭和)の該当する番号を○で囲み、年月日を記入して下さい(この項は登録照合の第1指標といたしますので、お書き間違いのないようにお願いいたします)。

(4) 現住所
県内居住者は市・郡名からお書き下さい。市・郡、町・村の文字は該当するものを○で囲んで下さい。

(6) 進行度
早期(上皮内含む)、臓器限局、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移、不明の該当する番号を○で囲んでください。

(8) 初診年月日
(5)項に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を最初に受診した年月日を記入して下さい。

(10) 診断・疑診年月日
貴医療機関が、患者を(5)項に記載の腫瘍と診断または疑診(記入の時点でなお疑診に留まっている場合)の年月日を記入して下さい。

(14) 現在の状態
貴医療機関が確認されている最新の患者の状態について、該当する番号を○で囲んで下さい。なお、生存中の場合には最終生存確認年月日を、死亡の場合には死亡年月日および死亡原因を記入して下さい。

1. 記入の対象は悪性新生物(ただし上皮内癌、性状不詳の新生物を含む<裏面 国際疾病分類参照>)と診断または疑診された患者です。
2. 診断または疑診の時点に限らず、確定時(病理組織診断時など)、他医紹介時、手術時、退院時、死亡時などにも、経過を追って御通知いただければ幸いです(再通知の場合は(1)~(4)の項と、追加・訂正・更新のあった項のみの記入で構いません)。
3. 腫瘍調査部から送付した問い合わせ票、追跡票は、赤枠の項(他に追加・訂正・更新の項があればその項)を記入して下さい。
4. 数字は算用数字を用いて下さい。
5. コード・シートには記入しないで下さい。
6. 記入についてのお問い合わせは、沖縄県衛生環境研究所 疫学情報室にお電話下さい。(TEL 09894-5-0781)

カルテ番号および担当医師の氏名
もしお差支えなければ、後日の問い合わせに御回答いただく便宜上カルテ番号および担当医師の氏名を記入して下さい。

(2) 性別
該当する番号を○で囲んで下さい。

(5) 診断名
診断名中には、分類のために腫瘍発生の臓器を示して下さい(ただし、リンパ組織および造血組織の悪性新生物は腫瘍細胞による分類です<裏面参照>)。なお、明確に悪性を示す言葉のない診断名(例-膀胱腫瘍)の場合、もし悪性であることが判明していれば悪性の言葉を付けて下さい(悪性の言葉がないと、性状不詳の新生物<裏面参照>に分類されます)。また、上皮内癌の症例には上皮内癌、再発の症例には再発と書き添えて下さい。

腫瘍占居部位: 診断名に示された臓器内の腫瘍の占居部位を書いて下さい(例-診断名:胃癌、腫瘍占居部位:噴門部)。
原発・続発・不明: 診断名に記載された腫瘍の該当する番号を○で囲んで下さい。続発性の場合(原発巣切除後の転移巣における再発を含む)には、原発巣を記入して下さい。
確認・疑診: 貴医療機関における判断により、該当する番号を○で囲んで下さい。

(9) 症状初発年月
(5)項に記載の腫瘍によると思われる患者の症状の初発年月を記入して下さい(無症状のまま診断または疑診された場合には、/<斜線>を書き入れて下さい。不明の場合には空欄として下さい)。集検で発見の場合は“集検”とし、その年月を記入して下さい。

(11) 入院の有無
貴医療機関への入院について、該当する番号を○で囲んで下さい。

(7) 悪性新生物の既往
(12) 診断方法
(13) 治療方法
(15) 前診療機関
(16) 紹介診療機関
裏面を参照して下さい。

Form titled '悪性新生物登録票' with fields for patient name, date of birth, residence, diagnosis, and treatment. Includes a '秘' (Secret) stamp and a table for medical history.



国際疾病分類 (ICD) 抜粋  
(悪性新生物・上皮内癌・性状不詳の悪性新生物)

記入要領早見表続き

(7) 悪性新生物の既往

患者の悪性新生物の既往 (再発例における初発ならびに重複発症例における既往) について、該当する番号を○で囲んで下さい。なお、有りの場合には既往の腫瘍を診察した機関名を記入して下さい。

(12) 診断方法

貴医療機関が実施された診断方法の番号を○で囲んで下さい。なお、もつとも診断または疑診の根拠となった診断方法に、1つだけ◎を付けて下さい。

1. X線: 各種X線検査による診断。
2. 内視鏡: ガストロカメラ, 眼底カメラ, コルポスコープ, その他エンドスコープ類による診断。
3. 組織診: 手術, 穿刺 (骨髄穿刺を含む) などによって得られた被検切片の病理組織検査による診断。なお, 組織診断名を記入して下さい。
4. 細胞診: パパニコロー法など剥離細胞の鏡検 (末梢血の塗抹標本検査を含む) による診断。
5. RI: ラジオアイントープを利用した検査による診断。
6. 超音波: 超音波を利用した検査による診断。
7. 剖検: 屍体の病理解剖による診断。なお, 組織診断名は番号3. (組織診) を○で囲み, 記入して下さい。
8. 臨床経過のみによる診断: 1~7, および9, 0の診断方法を行わず, 主訴, 既往歴, 視診, 打診, 触診, ならびに臨床経過のみによる診断。
9. CT: コンピュータ・トモグラフィによる診断。
10. その他: 1~9以外の診断方法による診断。なお, 実施された診断方法の呼称を記入して下さい。

(13) 治療方法

貴医療機関が実施された治療方法の番号を○で囲んで下さい。なお, もつとも中心となっている治療方法に, 1つだけ◎を付けて下さい。

1. 手術: 病巣を切除 (全剝を含む) するか, または手術的に病状を改善する治療。なお, 手術年月日 (手術が2回以上にわたる場合には主要な手術の年月日) を記入して下さい。また, 治癒切除, 非治癒切除, その他の手術 (病巣切除のない吻合術, 瘻造設術, 単開腹など) の該当する番号を○で囲んで下さい。
2. 放射線療法: 各種放射線の照射による治療。
3. 化学療法: 各種制癌剤による治療。
4. ホルモン療法: ホルモンの作用を応用した治療。
5. 免疫療法: 免疫反応を応用した治療。なお, その治療方法の呼称を記入して下さい。
6. 対症療法のみ: 1~5, および7の治療方法を行わず, 対症療法のみによる治療。
7. その他: 1~6以外の治療方法による治療。なお, 実施された治療方法の呼称を記入して下さい。

(15) 前診療機関

(5)項記載の腫瘍のために, 患者が貴医療機関を受診する以前に受診した診療機関があれば, その診療機関名を書いて下さい。

(16) 紹介診療機関

(5)項に記載の腫瘍のために, 患者が他の診療機関に紹介された場合には, その診療機関名を書いて下さい。

口唇, 口腔および咽頭の悪性新生物 (140 - 149)

- 140 口唇の悪性新生物
- 141 舌の悪性新生物
- 142 大唾液腺の悪性新生物
- 143 歯肉の悪性新生物
- 144 口腔床の悪性新生物
- 145 その他の部位および部位不明の口腔の悪性新生物
- 146 中咽頭の悪性新生物
- 147 鼻<上>咽頭の悪性新生物
- 148 下咽頭の悪性新生物
- 149 その他, および部位不明の口唇, 口腔および咽頭の悪性新生物

消化器および腹膜の悪性新生物 (150 - 159)

- 150 食道の悪性新生物
- 151 胃の悪性新生物
- 152 小腸の悪性新生物, 十二指腸を含む。
- 153 結腸の悪性新生物
- 154 直腸, 直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物
- 155 肝および肝内胆管の悪性新生物
- 156 胆のう<嚢>および肝外胆管の悪性新生物
- 157 脾の悪性新生物
- 158 後腹膜および腹膜の悪性新生物
- 159 その他および部位不明の消化器および腹膜の悪性新生物

呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物 (160 - 165)

- 160 鼻腔, 中耳および副鼻腔の悪性新生物
- 161 喉頭の悪性新生物
- 162 気管, 気管支および肺の悪性新生物

- 163 胸膜の悪性新生物
  - 164 胸腺, 心および縦隔の悪性新生物
  - 165 その他および部位不明の呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物
- 骨, 結合組織, 皮膚および乳房の悪性新生物 (170 - 175)
- 170 骨および関節軟骨の悪性新生物
  - 171 結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物
  - 172 皮膚の悪性黒色腫
  - 173 皮膚のその他の悪性新生物
  - 174 女性乳房の悪性新生物
  - 175 男性乳房の悪性新生物

泌尿生殖器の悪性新生物 (179 - 189)

- 179 子宮の悪性新生物, 部位不明
- 180 子宮頸の悪性新生物
- 181 胎盤の悪性新生物
- 182 子宮体の悪性新生物
- 183 卵巣およびその他の子宮付属器の悪性新生物
- 184 その他および部位不明の女性生殖器の悪性新生物
- 185 前立腺の悪性新生物
- 186 睪丸<精巣>の悪性新生物
- 187 陰茎およびその他の男性生殖器の悪性新生物
- 188 膀胱の悪性新生物
- 189 腎ならびにその他および部位不明の泌尿器の悪性新生物

その他および部位不明の悪性新生物 (190 - 199)

- 190 眼の悪性新生物
- 191 脳の悪性新生物
- 192 その他の部位および部位不明の神経系の悪性新生物
- 193 甲状腺の悪性新生物
- 194 その他の内分泌腺および関連組織

- の悪性新生物
- 195 その他の部位および不明な部位の悪性新生物
- 196 リンパ節の続発性および詳細不明の悪性新生物
- 197 呼吸系および消化系の続発性悪性新生物
- 198 その他の明示された部位の続発性悪性新生物
- 199 部位の明示されない悪性新生物

リンパ組織および造血組織の悪性新生物 (200 - 208)

- 200 リンパ肉腫および細網肉腫
- 201 ホジキン<Hodgkin>病
- 202 リンパ (球) 様および組織球組織のその他の悪性新生物
- 203 多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物
- 204 リンパ性白血病
- 205 骨髄性白血病
- 206 単球性白血病
- 207 その他の明示された白血病
- 208 細胞形態不明の白血病

上皮内癌 (230 - 234)

- 230 消化器の上皮内癌
- 231 呼吸系の上皮内癌
- 232 皮膚の上皮内癌
- 233 乳房および泌尿生殖器の上皮内癌
- 234 その他および部位不明の上皮内癌

性状不詳の新生物 (235 - 238)

- 235 消化系および呼吸系の性状不詳の新生物
- 236 泌尿生殖器の性状不詳の新生物
- 237 内分泌腺および神経系の性状不詳の新生物
- 238 その他の部位・組織および部位・組織不明の性状不詳の新生物

### 3. 沖縄県悪性新生物登録資料の利用に関する規程

#### 1 目的

沖縄県悪性新生物登録（以下「がん登録」という。）事業に関する秘密保持を遵守するため、がん登録資料の利用にあたって必要な事項を定める。

#### 2 登録資料の利用

- (1) 沖縄県がん登録事業報告書等により公表されている資料以外の資料を、保健、医療及び学術研究のために利用する場合には、その目的・資料の内容・資料の利用方法等を記載した申請書（様式1）及び、この資料により知り得た個人情報・医療施設に関する情報を他に漏らさない旨の誓約書を沖縄県衛生環境研究所長を経て沖縄県生活福祉部長（以下「生活福祉部長」という。）に提出しなければならない。
- (2) 生活福祉部長はがん登録資料の利用について、差し支えないと判断したときは、申請者のがん登録資料利用許可書（様式2）及び資料を交付する。
- (3) 申請者は、がん登録資料を受領したときは、ただちに資料受領書を沖縄県衛生環境研究所長に提出しなければならない。（様式3）
- (4) 申請者は、入手したがん登録資料の保管については、申請者の責任において十分な配慮をしなければならない。
- (5) 沖縄県衛生環境研究所長はがん登録資料の利用状況について、その年度の事業年報に掲載するものとする。

#### 3 その他

この規程に定めるもののほか、必要な事項は、生活福祉部長が沖縄県成人病検診管理指導協議会設置要綱第6条に定める成人病登録・評価等部会長と協議のうえ定める。

#### 附 則

この規程は、平成8年4月15日から適用する。

(様式1)

沖縄県悪性新生物登録資料の研究的利用について (申請)

沖縄県生活福祉部長 殿

申請年月日 年 月 日

申請者

施設名

所在地

所属長名

印

利用者

所属課(科)

職名

氏名

印

私儀、下記の研究をすすめるに際し、沖縄県悪性新生物の資料を利用いたしたく許可をお願いします。資料の利用については、別添「沖縄県悪性新生物登録資料の取り扱いについて」における各事項を遵守します。

- 1 研究課題
- 2 研究目的
- 3 資料名及び形態 (該当するものに○)

標題：

- 
- 1 統計数値
  - 2 個人情報
  - 4 資料の内容
  - 5 資料の利用方法

生長第 号  
平成 年 月 日

殿

沖縄県生活福祉部長

沖縄県悪性新生物登録資料の研究的利用について（許可）

平成 年 月 日付けをもって申請のあった標記について下記の条件を付して許可します。

ただし、この資料の利用及び研究結果のとりまとめにあたっては、別添「沖縄県悪性新生物登録資料の取り扱いについて」における各事項を遵守しなければならない。

記

利用条件

(様式3)

沖縄県悪性新生物登録情報サービス

## 受 領 書

さきに申請しました沖縄県悪性新生物登録事業にかかる下記資料を受領しました情報の保管及び利用については、「沖縄県悪性新生物登録資料の取り扱いについて」の各事項を遵守いたします。

平成 年 月 日

沖縄県衛生環境研究所長 殿

施 設 名

所 在 地

受領責任者

所属課(科)

職 名

氏 名

印

記

資料名及び形態

標 題：

---

1 統計数値

2 個人情報

(別添)

## 沖縄県悪性新生物登録資料の取り扱いについて

沖縄県悪性新生物登録（以下「がん登録」という。）資料は、「個々の患者並びに医療施設に関する秘密を守る」ことを前提にして、沖縄県が県内各医療施設から提出していただいた医療情報です。

したがって、「沖縄県がん登録事業報告書」等により公表された資料以外の資料を使用するにあたっては次の事項を守って下さい。

### 1 秘密の保護

- (1) がん登録資料から得た個人情報、第三者に漏らさない。また、知り得た患者に対し直接接触してはならない。
- (2) がん登録資料から知り得た医療施設に対し、直接接触してはならない。

### 2 利用資料の保管及び利用後の取り扱いについて

- (1) がん登録に関する公表された資料以外の資料を利用するときは、沖縄県衛生環境研究所長（以下「研究所長」という。）を経て沖縄県生活福祉部長（以下「生活福祉部長」という。）に利用申請書を提出し、許可を得なければならない。
- (2) 入手した資料は、利用申請目的以外には使用してはならない。
- (3) 申請者は、入手した資料の保管については、申請者の責任において十分な配慮をしなければならない。

### 3 研究結果の報告

- (1) 研究結果の公表にあたっては、その内容の写しを研究所長を経て、生活福祉部長に提出しなければならない。
- (2) 論文中に「沖縄県悪性新生物登録資料を利用した」ことを記載しなければならない。
- (3) 印刷論文の別冊を研究所長を経て生活福祉部長に提出するものとする。

### 4 申請内容の変更

申請の内容に変更が生じたときは、改めて申請する。

このことについての問い合わせ先は

沖縄県衛生環境研究所 疫学情報室  
〒901-12 沖縄県大里村大里2085番地  
(電話 098-945-0781)

# 誓 約 書

沖縄県悪性新生物登録資料の利用により知り得た個人情報および医療施設に関する情報は他に漏らさないことを誓います。

平成 年 月 日

沖縄県衛生環境研究所長 殿

申 請 者

施 設 名

所 在 地

所 属 長 名

印

利 用 者

所 属 課 (科)

職 名

氏 名

印

#### 4. 中央登録室の業務

中央登録室の業務は、登録票の受理、受付、仕分け、分類、検査、電算機入力、照合（一次から3次）処理や、データの解析、医療機関への情報の還元、疫学調査、報告書作成をする等、複雑多岐にわたり医学、統計学の専門的知識と登録業務についての経験の積み重ねが要求される。

本県の中央登録室のある沖縄県衛生環境研究所では、平成元年に登録票の登録システム及び照合処理業務、集計表出力業務を中心とする電算処理システム（悪性腫瘍登録システム）を開発し、事業の円滑な推進を図っている。

また、平成6年度には電算処理システムの容量拡大及び処理速度を高めるためにこれまで利用していた機種N5200/05mk IIをN5200MODEL98/105に改めた。

このシステムの特徴は、医療機関より届出された登録票及び保健所より入手する死亡情報等のデータを電算機に入力を行い、これらを原票履歴ファイル及び死亡情報ファイルとし、これらのデータの照合を行うことにより、重複を除いた総括ファイルを作成する。この総括ファイルを用いて罹患率等の算出・集計・出力を行う。システム概略図を次ページに示す。

照合作業は次に示すとおり1次から3次の照会を行う。

1次照合：当年分の登録票の中での重複の有無のチェックをする。

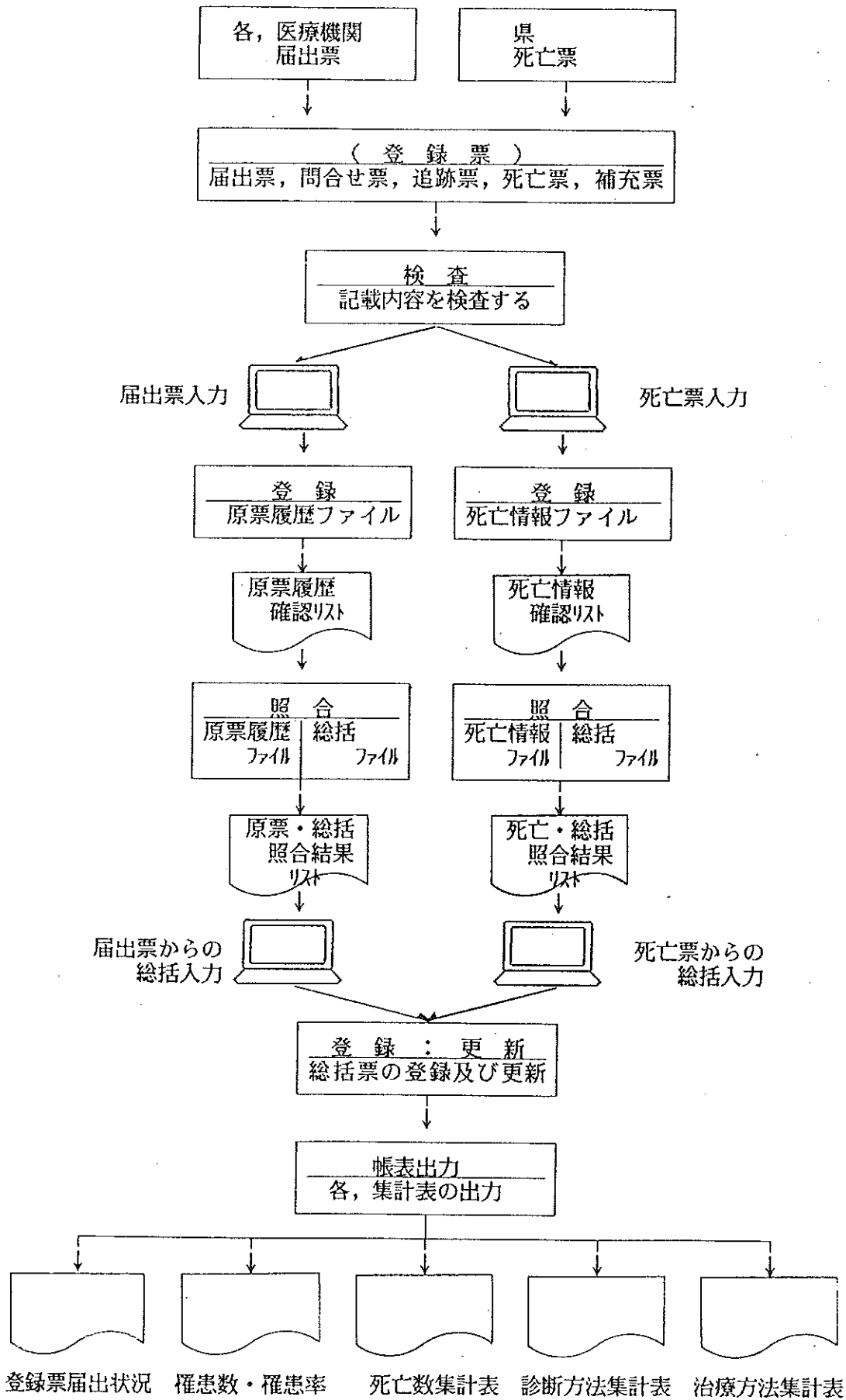
2次照合：既に登録されたがん登録総括ファイルと、新規届出ファイルとの照合をする。

3次照合：がん登総括ファイルと、新規死亡情報（がんの記載のあるもの）との照合をする。

※各照合における個人同定項目は、生年月日、氏名、性、住所等がある。



沖縄県腫瘍登録システム概略図



## 5. 健康診査管理指導等事業実施要綱の全部改正について

平成6年7月29日 老健第213号  
各都道府県知事宛 厚生省大臣  
官房老人福祉部長

標記実施要綱については、「健康診査管理指導等事業実施要綱の全部改正について」（平成4年4月13日付け健医老第87号）により通知したところであるが、今般、新たに、『脳卒中情報システム事業』の実施を図ることとしたことに伴い、その一部を下記のとおり改正し、平成6年4月1日から適用することとしたので通知する。

なお、改正趣旨を十分御理解の上、健康診査管理指導等事業の一層の推進に特段の御協力をお願いする。

別紙

### 健康診査管理指導等事業実施要綱

#### 第1 事業の目的

がん、心臓病、脳卒中等の成人病予防対策として保健事業が広く実施されているが、このうち健康診査については、精度管理の面から要精検率や疾病発見率等の把握が重要であるほか、健康診査に従事する者の資質の向上、細胞検査士の養成が必要である。また、地域保健サービスとしての保健事業の効率的な実施のための職域保健サービスとの連携の必要性や、在宅痴呆性老人の処遇等に関して、保健婦による相談、指導等に対する老人及びその家族のニーズが高まってきている。

このため、がん、脳卒中等の成人病の動向を把握し、また、市町村等で実施される健康診査の実施状況や検診実施機関の精度管理の状況を把握・評価して専門的な見地から適切な指導を行うとともに、これら健康診査に従事している者の資質の向上や細胞検査士の養成を行うほか、在宅痴呆性老人の処遇、寝たきり予防等に関する相談、指導に当たる市町村保健婦等の研修を行い、また、職域保健サービス提供主体との協議の場を設けて相互の連携の強化を図り、さらに、寝たきり老人ゼロを目指し積極的な普及啓発活動等を行い、もって保健事業がより効果的、効率的に実施されることを目的とする。

## 第2 事業の実施主体

都道府県とする。

## 第3 事業の内容

都道府県は、次の事業を実施するものとする。

- (1) 成人病検診管理指導協議会（以下「協議会」という。）の設置及び運営
- (2) 成人病検診従事者指導講習会（以下「講習会」という。）の開催
- (3) 成人病登録・評価等事業
- (4) 成人病検診従事者研修会（以下「研修会」という。）の開催
- (5) 市町村保健婦等研修会の開催
- (6) 職域保健連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）の設置及び運営
- (7) 寝たきり老人ゼロ作戦等普及啓発推進事業

## 第4 成人病検診管理指導協議会の設置及び運営

### 1 趣旨

都道府県は、がん、心臓病、脳卒中等の成人病の動向を把握し、また、市町村及び検診実施機関に対し、検診の実施方法や精度管理のあり方等について専門的な見地から適切な指導を行うために、協議会を設置・運営するものである。

### 2 組織

協議会は、循環器疾患等部会、胃がん部会、子宮がん部会、肺がん部会、乳がん部会、大腸がん部会及び成人病登録・評価部会の7部会で構成するものとする。

### 3 循環器疾患等部会

#### (1) 部会の構成

部会は、保健所、医師会、循環器疾患等の予防に知識と経験を有する者等基本健康診査に係わる専門家によって構成するものとする。

#### (2) 部会の運営

循環器疾患等部会は、次の事項について審議し、その結果を都道府県知事に報告するものとする。

ア 市町村において実施した基本健康診査の受診率、及び選択実施項目別の実施率、異常率等を検討するとともに、その効果や効率を評価し、今後における基本健康診査の実施方法等について検討する。

イ 特に、「要医療」と区分された症例については、検討会を設ける等の方法により検査結果、治療の状況等を検討し、基本健康診査の効果や効率を評価する。

ウ 検診実施機関における検診機器の保守点検、心電図及び眼底写真の撮影技術及び判定結果並びに血液検査の標準化等を評価し、今後における精度管理のあり方について検討する。

また、これらの業務を適切に行うため、必要に応じて検診実施機関の実施調査を行う。

エ その他基本健康診査の精度の維持・向上のために必要な事項を検討する。

#### 4 胃がん部会

##### (1) 部会の構成

部会は、保健所、医師会、日本消化器集団検診学会等に所属する学識経験者、診療放射線技師等胃がん検診に係わる専門家によって構成するものとする。

##### (2) 部会の運営

胃がん部会は、次の事項について審議し、その結果を都道府県知事に報告するものとする。

ア 市町村において実施した胃がん検診の受診率、要精検率、精検受診率胃がん発見率等を検討するとともに、その効果や効率を評価し、今後における検診の実施方法等について検討する。

イ 特に、精密検査の結果胃がんと診断された症例については、検討会を設ける等の方法によりその病期、治療の状況等を検討し、検診の効果や効率を評価する。

ウ 検診実施機関における精度管理の状況を把握するため、エックス線写真の良否、判定結果、読影の体制、読影医師及び診療放射線技師の人員、撮影装置の耐用年数等について評価し、今後における精度管理のあり方について検討する。

また、これらの業務を適切に行うため、必要に応じて検診実施機関の現地調査を行う。

エ その他胃がん検診の精度の維持・向上のために必要な事項を検討する。

#### 5 子宮がん部会

##### (1) 部会の構成

部会は、保健所、医師会、日本母性保護医協会、日本臨床細胞学会等に所属する学識経験者等子宮がん検診に係わる専門家によって構成するものとする。

## (2) 部会の運営

子宮がん部会は、次の事項について審議し、その結果を都道府県知事に報告するものとする。

ア 市町村において実施した子宮頸がん及び子宮体がん検診のそれぞれについての受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率等を検討するとともに、その効果や効率を評価し、今後における検診の実施方法等について検討する。

イ 特に、精密検査の結果がんと診断された症例については、検討会を設ける等の方法により子宮頸がん又は子宮体がんの病期、治療の状況等を検討し、検診の効果や効率を評価する。

ウ 検診実施機関（細胞診検査センターを含む。）における細胞診検査の精度の向上を図るため、検体の抜き取り調査等により判定結果を評価し、並びに細胞検査士、細胞診指導医等の人員及び検体の処理数、保存状況等について評価し、今後における精度管理のあり方について検討する。

また、これらの業務を適切に行うため、必要に応じて検診実施機関の現地調査を行う。

エ その他子宮がん検診の精度の維持・向上のために必要な事項を検討する。

## 6 肺がん部会

### (1) 部会の構成

部会は、保健所、医師会、日本肺癌学会、日本臨床細胞学会等に所属する学識経験者等肺がん検診に係わる専門家及び診療放射線技師等結核予防法に規定する定期の健康診断等に係わる専門家によって構成するものとする。

### (2) 部会の運営

肺がん部会は、次の事項について審議し、その結果を都道府県知事に報告するものとする。

ア 市町村において実施した肺がん検診の受診率、要精検率、精検受診率、エックス線検査受診者中の高危険群所属率、原発性肺がん患者発見率等を検討するとともに、その効果や効率を評価し、今後における検診の実施方法等について検討する。

イ 特に、精密検査の結果肺がんと診断された症例については、検討会を設ける等の方法によりその病期、治療の状況等を検討し、検診の効果や効率を評価する。

ウ 検診実施機関における精度管理の状況を把握するため、エックス線写真の良否、判定の結果、読影の体制等について評価し、今後における精度管理のあり方について検討する。

また、これらの業務を適切に行うため、名簿等の作成により読影医師の把握に務めるとともに、必要に応じて検診実施機関の实地調査を行う。

エ 検診実施機関（細胞診検査センターを含む。）における細胞診検査の精度の向上を図るため、検体の抜き取り調査等により判定結果を評価し、並びに細胞検査士、細胞診指導医等の人員及び検体の処理数、保存状況等について評価し、今後における精度管理のあり方について検討する。

また、これらの業務を適切に行うため、必要に応じて検診実施機関の实地調査を行う。

オ その他肺がん検診の精度の維持・向上のために必要な事項を検討する。

## 7 乳がん部会

### (1) 部会の構成

部会は、保健所、医師会、日本乳がん検診学会等に所属する学識経験者等乳がん検診に係わる専門家によって構成するものとする。

### (2) 部会の運営

乳がん部会は次の事項について審議し、その結果を都道府県知事に報告するものとする。

ア 市町村において実施した乳がん検診の受診率、要精検率、精検受診率、乳がん発見率等を検討するとともに、その効果や効率を評価し、今後における検診の実施方法等について検討する。

イ 特に、精密検査の結果乳がんと診断された症例については、検討会を設ける等の方法によりその病期、治療の状況等を検討し、検診の効果や効率を評価する。

ウ 検診実施機関における精度管理体制等を評価し、今後における精度管理について検討する。

また、これらの業務を適切に行うため、名簿等の作成により検診担当医師を把握するとともに、必要に応じて検診実施機関の实地調査を行う。

エ その他乳がん検診の精度の維持・向上のために必要な事項を検討する。

## 8 大腸がん部会

### (1) 部会の構成

部会は、保健所、医師会、日本消化器集団検診学会等に所属する学識経験者、臨床検査技師等大腸がん検診に係わる専門家によって構成するものとする。

### (2) 部会の運営

大腸がん部会は、次の事項について審議し、その結果を都道府県知事に報告するものとする。

ア 市町村が策定した検診計画について検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診実施機関、精密検査機関等と調整を行う。

イ 市町村において実施した大腸がん検診の受診率、要精検率、精検受診率、大腸がん発見率等を検討するとともに、その効果や効率を評価し、今後における検診の実施方法等について検討する。

ウ 特に、精密検査の結果、大腸がんと診断された症例については、検討会を設ける等の方法によりその病期、治療の状況等を検討し、検診の効果や効率を評価する。

エ 検診実施機関における精度管理の状況を把握するため、判定結果、検体の処理数・処理方法等について評価し、今後における精度管理のあり方について検討する。

また、これらの業務を適切に行うため、必要に応じ検診実施機関の実地調査を行う。

オ その他大腸がん検診の精度の維持・向上のために必要な事項を検討する。

## 9 成人病登録・評価等部会

### (1) 部会の構成

部会は、がん委員会及び脳卒中委員会からなるものとし、委員会は保健所、医師会、学識経験者、登録担当者等成人病登録評価事業及び脳卒中情報システム事業に係わる専門家によって構成するものとする。

### (2) 部会の運営

成人病登録・評価等部会は、次の事項について審議し、その結果を都道府県知事に報告するものとする。

ア 成人病予防対策を効果的、効率的に推進するため、がん、脳卒中等の成人病患者の登録を実施し、罹患率、受療状況、生存率等の集計、解析等成人病の動

向について検討する。

イ 成人病登録によって得られた情報、死亡統計からの情報、市町村において実施される健康診査に関する情報等を総合的に判断し、市町村で実施される健康診査等成人病予防対策について他の6部会との連携を保ちその協力を得て、評価を行う。

ウ 医療機関から保健所等に提供される脳卒中患者の診療情報等をもとに市町村がこれら在宅脳卒中患者に対する適切な保健福祉サービスの実施を図ることを目的とした脳卒中情報システム事業の実施状況について、情報提供件数、早期訪問の実施状況、適切な保健福祉サービスの選定・提供等の点から、評価を行う。

エ その他成人病の登録や脳卒中情報システム事業及び成人病予防対策の評価に必要な事項を検討する。

## 10 実施上の留意事項

- (1) 都道府県は事業の実施に当たっては市町村と連絡・調整を行うとともに、関係団体及び関係機関に対し、事業の趣旨を周知徹底して積極的な協力を求め、事業の円滑な遂行を図るものとする。
- (2) 協議会の業務は、市町村で実施される健康診査の評価に限らず、職域等で実施されている集団検診等も可能な限り対象として、その精度管理の実態について把握し、事業の総合的な推進を図るよう務めるものとする。

## 第5 成人病検診従事講習会

### 1 趣旨

基本健康診査、胃がん検診、子宮がん検診、肺がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診に従事する者の資質の向上を図ることを目的として、協議会の指導のもとに講習会を開催するものである。

### 2 講習会の種類及び内容

講習会の種類及び内容は、概ね次のとおりとする。

- (1) 基本健康診査従事者講習……総論、心電図のとり方及び読み方、眼底検査の意義及び実際、眼底写真の撮り方、臨床検査の実際及び検査結果の解釈等
- (2) 胃がん検診読影従事者講習……総論、胃がんの臨床、早期胃がんの診断、エックス線写真の読影方法、ダブルチェックの実習等



- (3) 胃がん検診エックス線撮影従事者講習……総論、良いエックス線写真の撮り方、現像技術、放射線被曝、エックス線撮影装置の維持管理、実技指導等
- (4) 子宮がん検診細胞診従事者講習……総論、検体の処理、染色技術、細胞診の実際、精度管理の実際、標本の整理等
- (5) 肺がん検診読影従事者講習……総論、肺がんの臨床、早期肺がんの診断、エックス線写真の読影方法、二重読影・比較読影の実習等
- (6) 肺がん検診細胞診従事者講習……総論、検体の処理、染色技術、細胞診の実際、精度管理の実際、標本の整理等
- (7) 乳がん検診従事者講習……総論、乳がん検診の方法、乳がん自己検診の指導方法等
- (8) 大腸がん検診従事者講習……総論、検体の処理、精度管理の実際等

### 3 参加資格

保健所、医療機関、検診実施機関等で現に成人病検診に従事している者であって、次に掲げる者及びその他の都道府県が必要と認める者とする。

- (1) 基本健康診査に従事している医師及び臨床検査技師等
- (2) 細胞検査士等
- (3) 胃がん検診又は肺がん検診読影に従事している医師
- (4) 胃がん検診に従事している診療放射線技師
- (5) 乳がん検診に従事している医師
- (6) 大腸がん検診に従事している臨床検査技師等

### 4 受講人員

各講習会の種類ごとに10名程度とする。

### 5 期間及び開催回数

1日とし、年12回程度開催するものとする。

### 6 開催場所

都道府県が指定する場所とする。

## 第6 成人病登録・評価等事業

### 1 趣旨

成人病予防対策及び寝たきり予防策を効果的に推進するため、成人病登録・評価等部会の指導のもとに、成人病登録・評価事業（がん、脳率中等の成人病患者を登

録し、罹患率、受療状況、生存率等の集計及び解析を行う。)及び脳卒中情報システム事業(医療機関から保健所等に提供される脳卒中患者の診療情報等をもとに、市町村がこれら在宅脳卒中患者に対する適切な保健福祉サービスの実施を図る。)を行うものである。

## 2 成人病登録・評価事業

### (1) 登録の方法

がん、脳卒中等の登録の方法については、地域の実情を考慮しつつ、関係諸機関の協力を得て決定するものとする。

なお、登録を実施するに当たっては①「地域がん登録の手引改訂第2版」(厚生省がん研究助成金・地域がん登録の体系化と登録資料の利用に関する研究班、昭和52年12月)②「地域がん登録標準方式」(同、昭和52年11月)及び③「脳卒中登録管理ガイドライン」(厚生省循環器病研究委託費による地域における脳卒中の登録と管理に関する研究班、昭和57年3月)を参考にするものとする。

### (2) 患者登録票の整備とその保管

収集した情報は個人ごとに整理するとともに患者登録票を作成し、その保管に当たっては個々の患者の秘密が保持されるよう厳重に注意するものとする。

### (3) 登録情報の集計、解析及びその結果報告

ア 収集、整理した登録情報に基づき、成人病のり患率、受療状況、生存率等を集計及び解析するものとする。

なお、この際、患者登録票と市町村において実施される健康診査を受診した者の全員又はその一部の者の受診結果とを照合することによって、健康診査の死亡率の減少に対する寄与度等を解析し、成人病予防対策の推進に資するものとする。

イ 解析した結果については年毎にまとめ、関係機関に報告するものとする。

### (4) 登録の精度の管理とその向上

登録に当たっては、その精度を常に管理し、その向上に努めるものとする。そのため、医療機関等に対し届出体制の整備を依頼するとともに、必要に応じて医療機関等に出張し、情報を採録するものとする。

### (5) その他の留意事項

この事業を推進するに当たっては、医師会、医療機関、大学、保健所、市町村関係機関の協力を求め、これら機関と密接な連携を保つものとする。

### 3 脳卒中情報システム事業

#### (1) 実施の方法

ア 保健所は、医療機関から提供された脳卒中患者（以下『対象者』という。）の診療情報等を整理するとともに、対象者の住居地の市町村が同じ情報を受けているか確認し、受けていない場合は、整理した情報を当該市町村に対し速やかに連絡するものとする。

イ 市町村は、医療機関もしくは保健所からの対象者の情報をもとに、保健・医療・福祉の各担当部門が連携を密にして、対象者に必要な保健福祉サービスを選定し、対象者及びその家族の意向を踏まえたうえで、適切なサービスを提供するものとする。

また、保健所が同じ情報を受けているか確認し、受けていない場合は、その情報を速やかに連絡するものとする。

ウ 保健所は、管内市町村における脳卒中情報システム事業の実施状況をとりまとめ、成人病登録・評価等部会脳卒中委員会に報告するものとする。

#### (2) 実施上の留意事項

ア 都道府県は、医療機関、市町村等関係機関と密接な連携を保ちつつ、本事業を実施するものとする。

特に、本事業が効果的に行われるよう市町村に対し適切な指導を行うとともに、医療機関等に対し本事業の趣旨を周知徹底し、積極的な協力が得られるよう努めるものとする。

イ 本事業の関係者は、対象者のプライバシーの保護に十分留意し、個人情報一部外者に漏洩することがないように、秘密厳守に徹するものとする。

### 第7 成人病検診従事者研修会の開催

#### 1 趣旨

細胞診は、今後子宮がん検診及び肺がん検診の受診率の向上に伴い検体が増加することが予想されるため、臨床検査技師等を対象とした研修を行い、細胞診従事者の確保を図るものである。

#### 2 研修の内容

研修の内容を定めるに当たっては、日本臨床細胞学会の協力を得て行うものとし、概ね次のとおりとする。

(1) 細胞診総論……細胞診技師としての心構え、細胞の見方、細胞診及び組織

診、細胞診手技、細胞の構造及び機能

- (2) 女性性器細胞診……正常細胞、非腫瘍性細胞及び腫瘍性細胞の細胞診
- (3) 喀痰細胞診……正常細胞、非腫瘍性細胞及び腫瘍性細胞の細胞診
- (4) 細胞診の実技の修得
- (5) その他必要な事項

### 3 対象者

臨床検査技師等であって、これから細胞診検査に従事しようとする者とする。

### 4 期間及び開催回数

3週間を1コースとし、年に2回程度実施するものとする。

### 5 受講人員

1回のコースにつき、20名程度とする。

### 6 開催場所

都道府県が指定する場所とする。

### 7 関係団体との連携

研修会の開催に当たっては、日本臨床細胞学会等関連する団体と十分な連携をとり、事業の円滑な実施を図るものとする。

## 第8 市町村保健婦等研修会の開催

### 1 趣旨

市町村における保健事業を適切に実施するための知識及び技術の修得を目的として、保健事業の実施に当たる市町村保健婦等に対する研修を実施するものである。

### 2 研修内容

研修の内容は、以下のうちから適宜選択して行うものとする。

- (1) 痴呆性老人の処遇等に関する相談・指導に必要な知識及び技術
- (2) 寝たきり予防のための介護方法、福祉機器の利用方法、住宅改造等に関する相談・指導に必要な知識及び技術
- (3) 機能訓練の実施に必要な知識及び技術
- (4) 失禁に関する相談・指導に必要な知識及び技術
- (5) 生活習慣改善指導のために必要な知識及び技術
- (6) 保健・医療・福祉の連携のために必要な知識及び技術
- (7) 保健事業の効果的な実施に係る企画立案のために必要な知識及び技術

(8) その他保健事業の実施に関連して必要な知識及び技術

3 対象者

市町村に在職して保健事業に従事する保健婦、看護婦等とする。

4 受講人員

1回のコースにつき、30名程度とする。

5 開催場所

都道府県が指定する場所とする。

第9 職域保健連絡協議会の設置及び運営

1 趣旨

市町村が行う保健事業を効果的、効率的に実施するため、職域保健サービス提供主体との連携強化を図る必要があり、このため都道府県は、連絡協議会を設置・運営するものである。

2 組織

連絡協議会は、保健所、市町村、都道府県医師会、学識経験者、商工会議所、都道府県健康保健組合連合会、環境衛生同業組合等によって構成するものとする。

3 運営

連絡協議会は次のことについて協議し、その結果を都道府県知事に報告するものとする。

- (1) 市町村の枠を超えた広域的な職域保健サービスに関する情報の収集、情報交換
- (2) 市町村における健診等の実施日、実施場所等の周知徹底を職域保健の対象者を通じて、その家族等に対して行う方策
- (3) 保健事業と職域保健サービスの実施状況及び分析評価に関する情報交換等
- (4) その他保健事業の推進に必要な事項

4 設置上の留意事項

都道府県は、連絡協議会の設置に当たっては関係部局と十分協議するものとする。

第10 寝たきり老人ゼロ作戦等普及啓発推進事業

1 趣旨

寝たきり老人ゼロを目指し、老人の寝たきり状態を予防するための保健事業をはじめとする各種施策をより効果的に展開するために、関係部局及び市町村並びに関

係団体等との連携を図りながら、地域の高齢者やその家族等に対して「寝たきりは予防できる」ことについて積極的な普及啓発活動等を行うことにより、寝たきり老人ゼロ作戦等の一層の推進を図るものである。

## 2 寝たきりゼロ推進本部の設置

都道府県は、保健・医療・福祉等の関係者から構成する「寝たきりゼロ推進本部」を設置し、本事業の効果的、効率的な推進を図るものとする。

また寝たきりゼロ推進本部は、本事業の推進を図るための会議（以下「推進会議」という。）を開催し、積極的な運営を行うものとする。

### (1) 構成員

衛生主管部（局）長、民生主管部（局）長、市町村長、保健所長、福祉事務所長、医師会・看護協会・教育委員会・地域住民組織・老人クラブ等のそれぞれの代表者、保健婦、報道関係者及びその他事業の推進に必要と認められる者をもって構成するものとする。

### (2) 推進会議の開催回数

推進会議は年6回程度開催するものとする。

## 3 事業内容

- (1) 都道府県内の実情を十分把握した上で、寝たきり老人ゼロに向けた今後の推進方策について企画、立案及び事業の実施効果について分析等を行う。
- (2) 市町村、保健所等に対し寝たきり老人ゼロの推進に必要な指導、助言を行い、効果的、効率的な事業実施に向けての支援を行う。
- (3) 住民に対し、講演会、広報誌、パンフレット、ポスター、ビデオその他の広報媒体等を通じ、寝たきり老人ゼロ推進対策の普及啓発活動を行うとともに、保健事業の重要性に対する住民の意識の高揚を図る。
- (4) 保健・福祉・医療関係部局との連携を図り、効果的な事業の推進を図る。
- (5) 地域の住民組織及び老人クラブ並びに保健・福祉・医療の関係団体等を通じ、施策の充実を図る。
- (6) (1)から(5)のほか、地域の実情に合わせて、寝たきり老人ゼロ作戦の推進のために必要な事業を実施する。

### 第11 経費の負担

都道府県がこの実施要綱に基づき実施する事業に要する経費については、厚生大臣が別に定めるところにより予算の範囲内で国庫補助を行うものとする。

## 6. わが国の地域がん登録

わが国の地域がん登録は、宮城県で昭和26年に実施されたのが始まりで、広島市、長崎市では、原子爆弾に被爆した場合の影響を調べるために昭和32年にがん登録を開始した。以来、愛知県、大阪府（昭和37年）、兵庫県、千葉県（昭和39年）、などで地域がん登録が始められた。その後、平成3年までは18県市が厚生省がん研究助成金による「地域がん登録の精度向上とその効果的利用に関する研究」班（大阪府立成人病センター 藤本伊三郎班長）に参加し、この研究班がわが国の地域がん登録のまとめ役となって活動していた。平成4年12月には、わが国の地域がん登録事業の向上に資することを目的に、地域がん登録全国協議会が設立され、同時に31団体参加のもと、第1回総会研究会が大阪市で開催された。以来、平成5年には仙台市で第2回、平成6年には広島市で第3回、平成7年には山形市で第4回、平成8年には長崎市で第6回総会研究会が開催された。平成7年6月1日現在、34府県市が地域がん登録全国協議会に登録されている。

## 7. わが国のがんの将来予測

わが国における全部位のがん死亡数は1990年には、男女合計で219,708人であったが、2000年には約297,000人、2015年には約436,000人に達すると推計されている。がん死亡数の推移を部位別に見ると、男女の胃がん、子宮がんで減少傾向がみられるがその他のがんはすべて増加傾向を示している。特に増加傾向が著明ながんは肺、男の肝臓、大腸（特に結腸）、胆道、膵臓、前立腺、卵巣、リンパ腫などである。乳、白血病、膀胱、男の食道がんなども増加傾向を示している。

その結果2000年には男で肺、胃、肝臓、大腸がんの順位となり、2015年には肺、肝臓、大腸、胃がんの順になると予測されている。

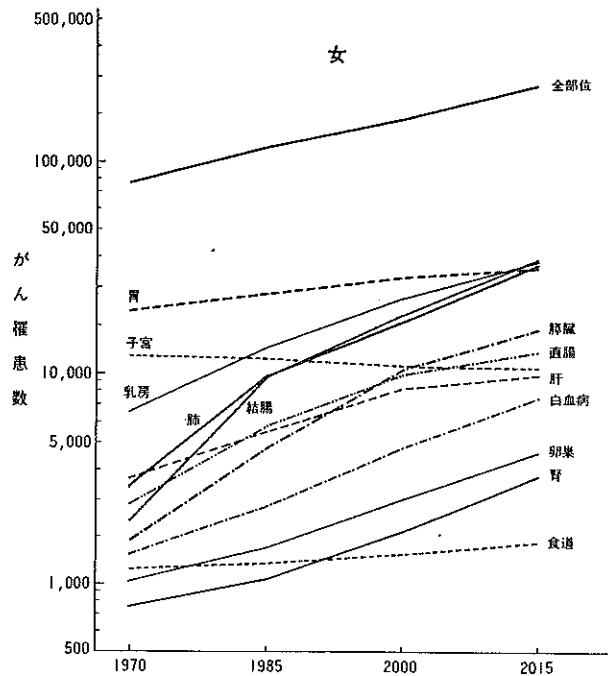
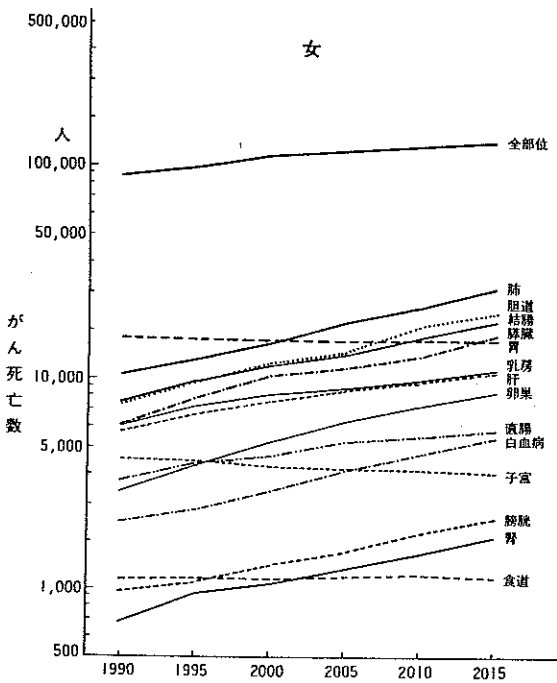
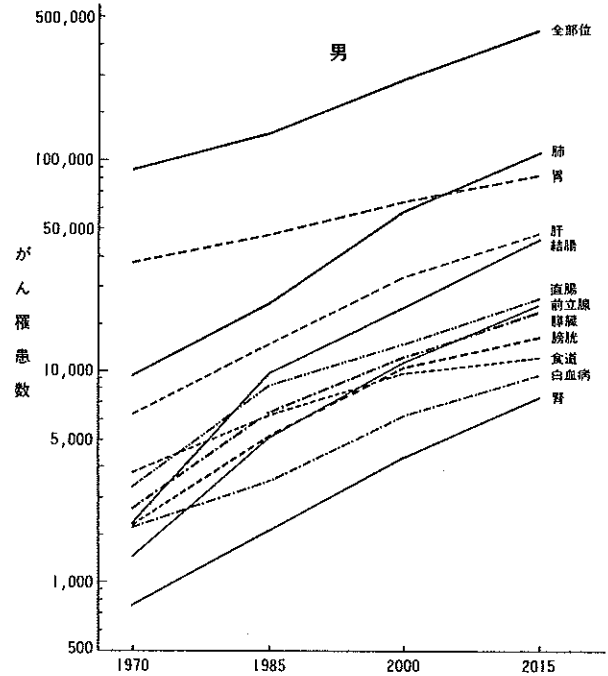
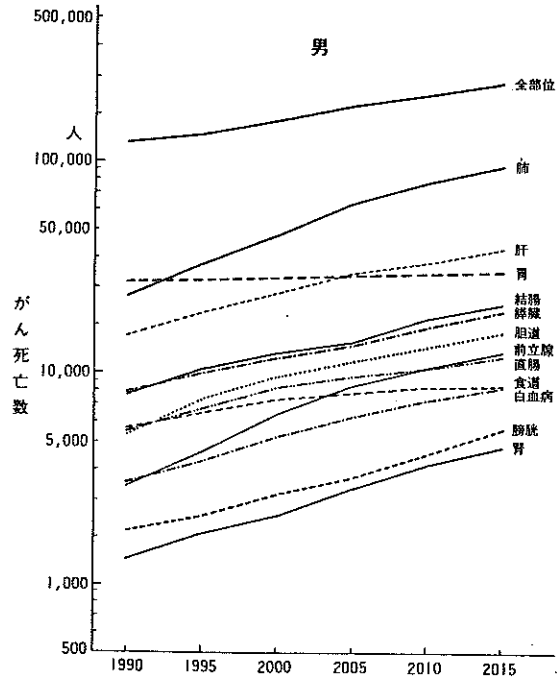
全部位のがんについて年齢調整罹患率の動向を見ると男は横ばい傾向、女は低下傾向を示している。つまり、がん死亡者の増加は、人口の高齢化の影響を強く受けている。西暦2015年には新たになんと診断される人の数（罹患数）は上皮内がんを含め、全部位で男約454,000人、女約283,000人と推定されている。

この数は、1985年値に比べ男で2.5倍、女で2.2倍に相当する。罹患数を年次別、年齢階級別にみると、高齢者ほど罹患数の増加が顕著である。

がん罹患数の将来動向を2015年まで部位別に見ると、男では全部位で増加し、女では、子宮（上皮内がん含む）がんが減少、胃がんは僅かに増加、肺、肝、胆嚢・胆管、膵臓等予後の良くないがんは増加が予想されている。

◆がん死亡数の将来予測

◆がん罹患数の将来予測



資料：がん・統計白書 - 1993

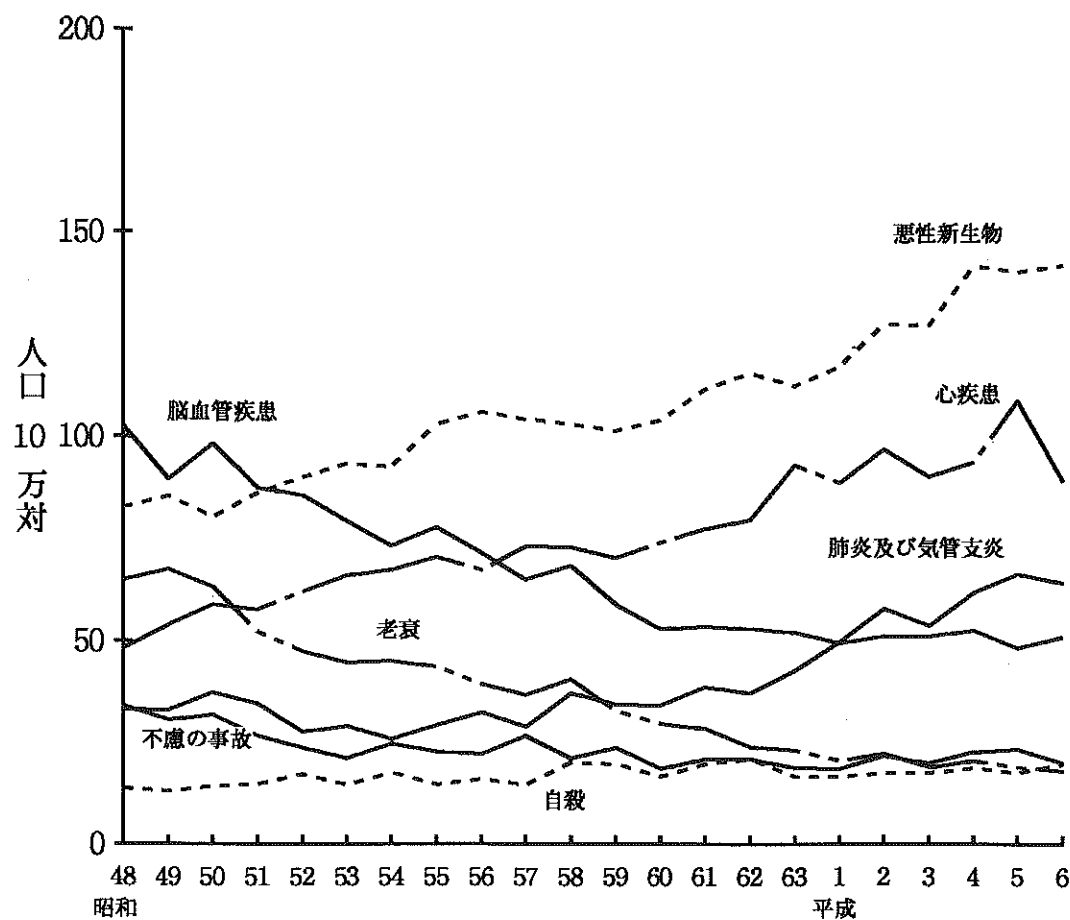


## 8. 沖縄県の主要死因死亡率の年次推移

沖縄県の死亡率の年次推移をみると、昭和52年に悪性新生物が脳血管疾患にかわって死亡の第1位となった。昭和57年には、心疾患が脳血管疾患にかわって第2位となり平成元年には肺炎及び気管支炎が第3位となった。平成6年には心疾患が減少しているが、死亡診断書記載方法変更の事前周知により減少していると思われる。4位の脳血管疾患は平成6年には若干増加傾向にある。

### ◆沖縄県主要死因死亡率年次推移

疾病名	昭和													平成								
	年	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6
悪性新生物	85.5	80.4	86.2	90.0	93.3	92.6	103.0	106.0	104.1	103.0	101.4	103.9	111.5	115.4	112.3	117.0	127.4	127.2	141.6	140.3	141.7	
脳血管疾患	89.6	98.3	87.5	85.6	79.3	73.3	77.8	71.4	64.9	68.3	58.9	53.0	53.5	52.9	51.9	49.5	51.1	51.1	52.6	48.3	51	
心疾患	54.0	58.9	57.6	61.9	66.0	67.4	70.5	67.4	73.1	72.8	70.2	74.1	77.3	79.5	92.9	88.7	96.9	90.2	93.8	108.8	89.2	
老衰	67.5	63.1	52.1	47.4	44.7	45.1	43.6	39.4	36.7	40.5	32.9	29.7	28.6	24.0	23.2	20.7	22.4	19.0	20.7	19.1	18.0	
肺炎及び気管支炎	33.1	37.3	34.6	27.8	29.1	25.9	29.2	32.5	29.0	37.1	34.5	34.2	38.7	37.2	42.6	49.8	57.9	53.8	61.8	66.3	64.2	
不慮の事故	30.6	31.8	26.7	23.7	21.2	24.7	22.8	22.2	26.7	21.2	23.9	18.6	21.0	21.1	18.9	18.6	21.9	20.1	22.8	23.3	20.3	
自殺	13.2	14.3	14.9	17.2	14.8	17.6	14.8	16.1	14.7	20.3	19.8	16.8	19.9	21.0	16.6	16.8	17.6	17.7	18.9	17.7	19.9	



資料：沖縄県における成人病の疫学調査、衛生統計年報（人口動態編）

## 9. 主要部位別悪性新生物死亡率推移

部位別に悪性新生物死亡率の推移をみると、気管支・肺が男では昭和53年から、女では昭和60年から胃がんにかわり死亡の第1位となった。

胃がんは、男では横這い、女ではやや減少している。大腸がんは平成4年まで男女とも増加傾向である。白血病は男女とも漸増傾向にあり、肝がんもわずかに増加してきている。子宮がんは平成元年まで減少、その後平成4年まで増加し、平成5年には減少しているが、平成6年には再び増加している。乳がんによる死亡率は平成4年まで増加傾向にあったが、平成5、6年には減少傾向にある。

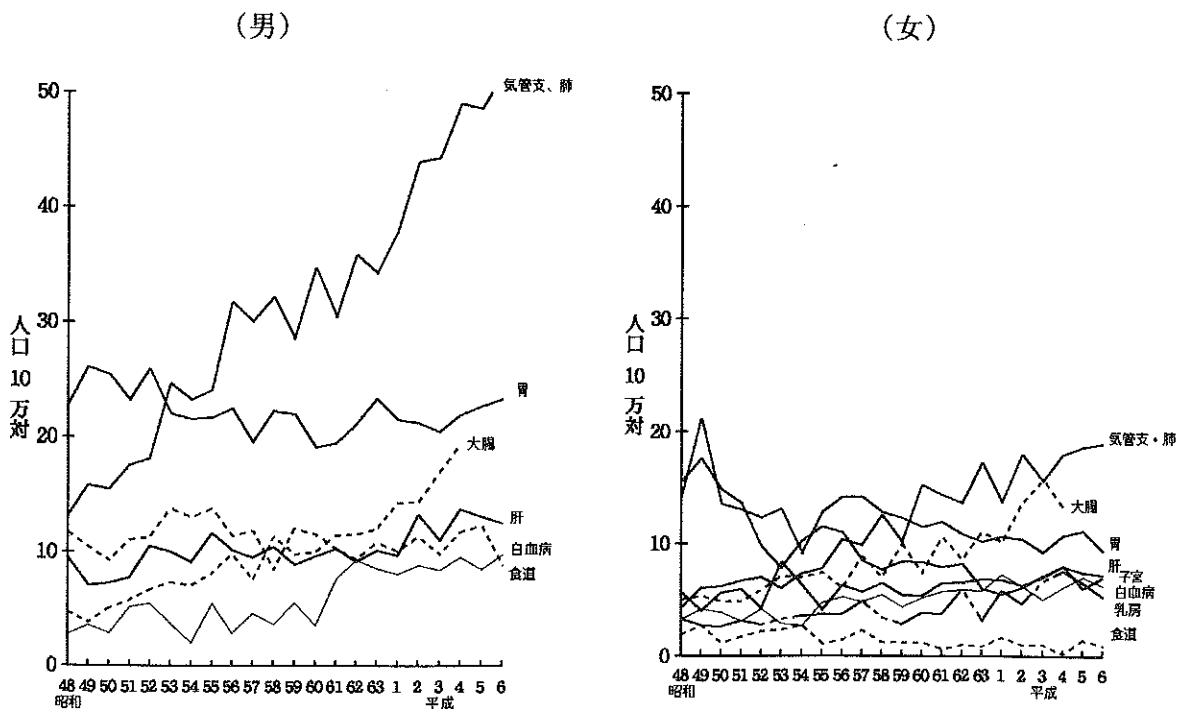
### ◆部位別悪性新生物死亡率推移（昭和48年～平成6年）

疾病名	昭和																		平成					
	年	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	
食道	11.70	10.42	9.20	11.02	11.26	13.76	13.03	13.79	11.43	11.81	8.48	12.03	11.53	10.26	9.35	10.82	10.08	11.36	9.80	11.72	12.30	8.9		
胃	22.79	26.06	25.45	23.19	25.96	22.05	21.60	21.70	22.50	19.51	22.26	21.97	19.10	19.50	21.08	23.32	21.51	21.21	20.43	21.96	22.70	23.3		
肝	9.45	7.02	7.24	7.73	10.50	9.99	9.12	11.59	10.16	9.49	10.42	8.89	9.64	10.26	9.18	10.14	9.75	13.20	10.96	13.70	13.10	12.5		
気管支・肺	13.14	15.84	15.47	17.59	18.13	24.69	23.27	24.09	31.75	30.07	32.15	28.59	34.76	30.45	35.88	34.31	37.97	43.93	44.34	49.04	48.60	51.7		
白血病	2.87	3.61	2.94	5.22	5.54	3.77	2.05	5.52	2.90	4.65	3.71	5.58	3.61	7.70	9.35	8.62	8.07	8.85	8.47	9.58	8.50	9.8		
大腸	4.72	3.81	5.09	5.80	6.68	7.35	7.08	8.09	9.80	7.52	11.30	9.76	9.98	11.46	11.56	12.00	14.28	14.37	16.94	19.32	*	*		

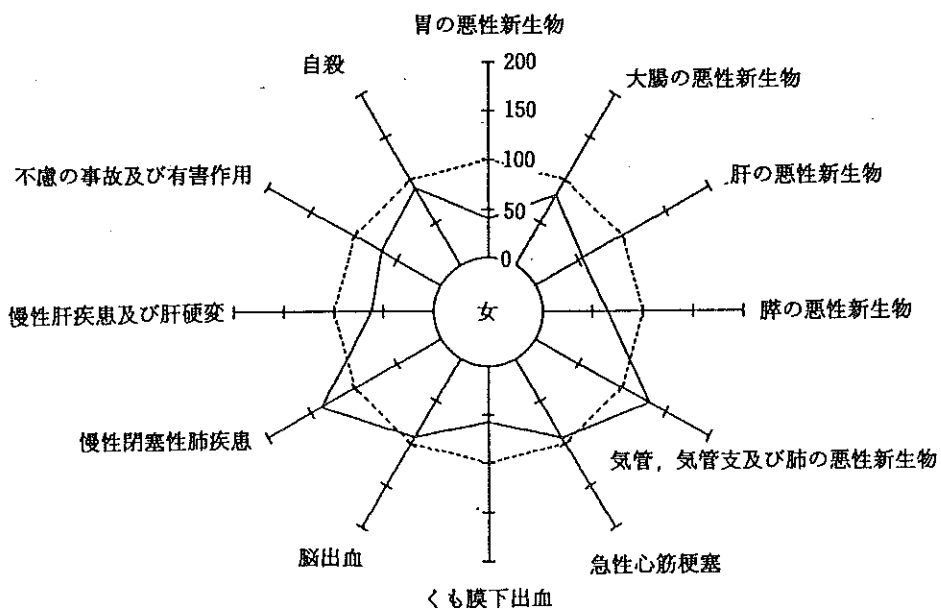
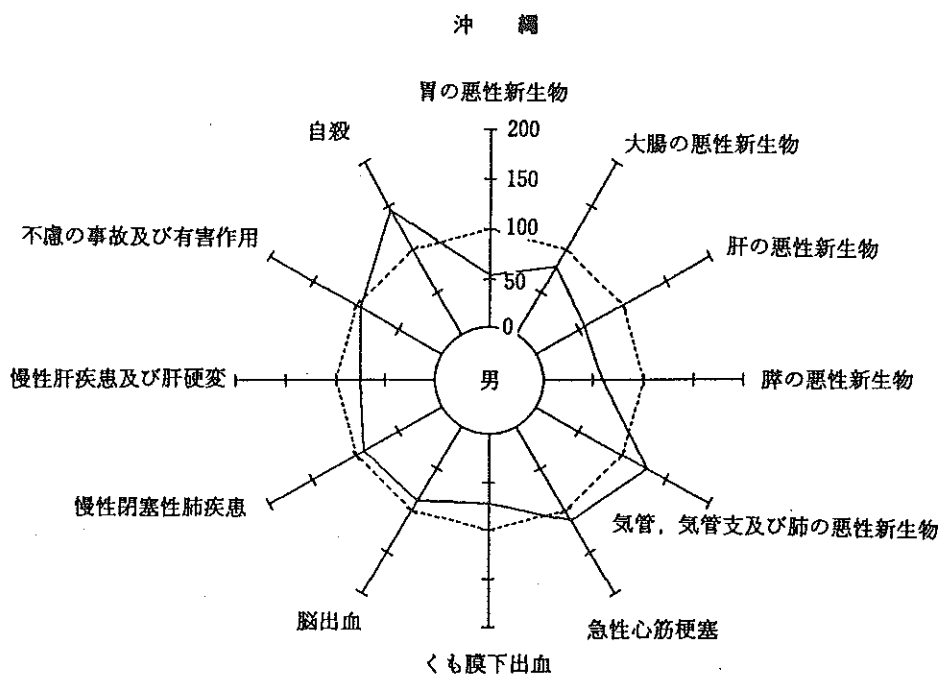
疾病名	昭和																		平成					
	年	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	
食道	1.94	2.67	1.13	1.67	2.20	2.36	2.69	1.07	1.40	2.25	1.20	1.18	1.17	0.66	0.99	0.82	1.62	0.96	0.95	0.16	1.40	0.9		
胃	14.13	21.17	13.54	13.01	12.31	13.08	9.16	12.79	14.21	14.21	12.84	12.35	11.54	11.94	10.85	10.27	10.67	10.42	9.22	10.73	11.20	9.4		
肝	5.61	4.01	5.64	5.95	4.23	8.36	6.29	4.09	6.32	5.72	6.51	5.41	5.35	6.47	6.58	6.85	6.79	6.25	7.00	8.04	7.40	7.2		
気管支・肺	4.26	6.10	6.20	6.69	6.98	5.99	7.37	7.82	10.35	9.88	12.50	10.15	15.22	14.42	13.65	17.28	13.74	17.96	15.58	17.98	18.60	18.9		
乳房	3.29	2.67	2.63	3.16	2.76	3.27	3.59	3.73	3.68	4.85	3.42	2.88	3.85	3.81	5.92	3.10	5.82	4.65	6.68	7.57	6.50	5.3		
子宮	15.49	17.55	14.85	13.57	9.74	7.81	10.24	11.55	11.05	8.49	7.71	8.46	8.36	7.96	8.22	6.03	5.50	6.09	7.16	8.04	6.00	7.0		
白血病	3.29	4.20	3.95	3.16	4.23	2.91	2.69	4.80	5.26	4.85	5.48	4.40	5.18	5.80	5.92	5.87	7.27	6.25	5.09	6.15	7.10	6.3		
大腸	5.03	5.34	4.89	4.83	5.88	7.08	7.01	7.46	5.97	8.84	7.02	9.98	7.36	10.61	8.55	11.08	10.18	13.63	15.74	13.25	*	*		

\*：資料無し



資料：沖縄県における成人病の疫学調査、衛生統計年報（人口動態編）

10. 主な死因別年齢調整死亡率の割合（全国－沖縄、平成2年、全国=100）



資料：厚生省「人口動態統計特殊報告」

(年齢調整死亡率についての解説)

年齢調整死亡率について

1 Description of the Age-adjusted Death Rates Method and Japanese Standard Population

死亡の状況はその集団の人口の年齢構成に影響される。そこで、人口構成の異なる集団での死亡率を比較するために、一定の基準人口にあてはめて調整した死亡率を用いるのが、年齢調整死亡率（従来の訂正死亡率）という指標である。

厚生省大臣官房統計情報部では、従来の訂正死亡率について見直した結果、平成3年4月から名称を年齢調整死亡率（Age-adjusted death rate）に変更し、基準人口を昭和60年モデル人口に改訂した。

名称については、従来から、「訂正死亡率」という用語には粗死亡率の誤りを訂正するというような誤解を与えている、age-adjusted death rate という英名と対応していない、「年齢調整死亡率」や「標準化死亡率」など他の呼称が使用されている場合も多く用語の混乱がある等の指摘があった。そこで、基準人口の改訂とともに、名称を「年齢調整死亡率」と変更した。

また、従来使用してきた基準人口は、全国の年次比較には昭和10（'35）年人口、都道府県間の比較には昭和35（'60）年人口で、いずれも高齢者の占める割合が極めて低く、最近の人口構成とは乖離していた。そこで、昭和60年国勢調査人口を基にベビーブーム等の極端な増減を補正した上で1000人単位として、新しい基準人口「昭和60年モデル人口」が作成された。

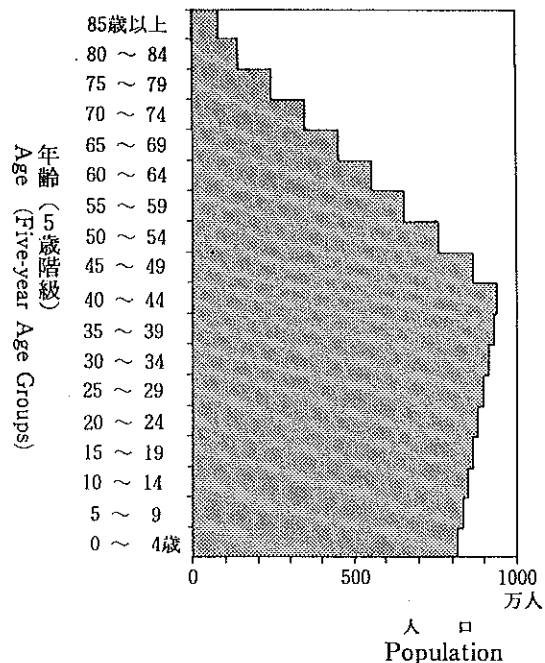
計算方法 (Calculation Method)

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\left[ \begin{array}{l} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{(階級)の死亡率} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{基準人口のその年齢} \\ \text{(階級)の人口} \end{array} \right] \text{の各年齢(階級)の総和}}{\text{基準人口の総和}} \times 100,000$$

(人口10万対)

基準人口—昭和60年モデル人口—  
Japanese Standard Population based on 1985 National Census

年 齢 Age	基 準 人 口 Standard Population
0～4歳	8,180,000
5～9	8,338,000
10～14	8,497,000
15～19	8,655,000
20～24	8,814,000
25～29	8,972,000
30～34	9,130,000
35～39	9,289,000
40～44	9,400,000
45～49	8,651,000
50～54	7,616,000
55～59	6,581,000
60～64	5,546,000
65～69	4,511,000
70～74	3,476,000
75～79	2,441,000
80～84	1,406,000
85歳以上	784,000
85 and Over	
合 計 Total	120,287,000



注：昭和60年国勢調査人口をベビーブーム等の極端な増減を補正し、四捨五入によって1000人単位とした。

Note: The Japanese Standard population is calculated based on 1985 national census to aimed adjustment for extreme increases / decreases due to the babyboom and so on and rounded up to the unit of 1,000 persons.

資料：厚生省「人口動態統計特殊報告」

1 1. 都道府県別成人病の死亡数及び死亡率（人口10万対）

（平成6年）

都道府県	総死亡			全がん			食道がん			胃がん		
	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位
全国	875,933	706.0		243,670	196.4		8,143	6.6		47,791	38.5	
北海道	38,939	687.2	36	11,686	206.2	27	447	7.9	9	2,063	36.4	39
青森	11,950	813.5	19	3,250	221.2	15	115	7.8	10	642	43.7	16
岩手	11,406	806.6	20	2,854	201.8	31	91	6.4	23	572	40.5	24
宮城	15,218	663.1	40	4,292	187.0	38	178	7.8	11	848	36.9	36
秋田	10,980	905.2	3	3,032	250.0	2	145	12.0	1	719	59.3	1
山形	11,215	896.5	6	3,013	240.8	5	117	9.4	3	686	54.8	2
福島	16,798	791.6	25	4,468	210.6	23	181	8.5	5	898	42.3	18
茨城	20,073	687.0	37	5,274	180.5	42	202	6.9	20	1,189	40.7	22
栃木	14,336	730.7	32	3,793	193.3	36	139	7.1	17	877	44.7	14
群馬	14,695	741.8	29	3,638	183.6	41	139	7.0	18	830	41.9	20
埼玉	34,653	520.4	47	10,008	150.3	46	387	5.8	30	2,203	33.1	45
千葉	32,687	571.1	44	9,362	163.6	44	322	5.6	33	1,934	33.8	44
東京	75,299	651.3	42	22,460	194.3	34	985	8.5	6	4,277	37.0	35
神奈川	44,387	546.5	45	13,066	160.9	45	538	6.6	21	2,570	31.6	46
新潟	20,647	833.5	15	5,770	232.9	10	250	10.1	2	1,313	53.0	3
富山	9,108	813.9	18	2,470	220.7	16	66	5.9	29	582	52.0	4
石川	8,822	754.7	28	2,415	206.6	26	61	5.2	39	517	44.2	15
福井	6,521	793.3	23	1,682	204.6	30	43	5.2	38	331	40.3	25
山梨	6,877	794.1	22	1,829	211.2	21	62	7.2	16	348	40.2	27
長野	18,199	839.4	12	4,497	207.4	25	129	6.0	27	980	45.2	12
岐阜	15,253	734.0	31	3,986	191.8	37	86	4.1	45	856	41.2	21
静岡	25,503	689.5	35	6,808	184.0	40	202	5.5	35	1,342	36.3	40
愛知	41,111	609.1	43	11,291	167.3	43	278	4.1	46	2,300	34.1	42
三重	14,401	793.0	24	3,528	194.3	35	59	3.2	47	706	38.9	30
滋賀	8,612	683.5	38	2,320	184.1	39	53	4.2	44	476	37.8	32
京都	18,821	735.2	30	5,243	204.8	29	143	5.6	34	1,025	40.0	28
大阪	55,741	652.9	41	16,855	197.4	32	535	6.3	26	3,134	36.7	37
兵庫	39,484	726.5	33	11,195	206.0	28	348	6.4	24	2,030	37.4	34
奈良	9,637	681.1	39	2,772	195.9	33	81	5.7	32	569	40.2	26
和歌山	9,653	895.5	8	2,556	237.1	9	78	7.2	15	546	50.6	5
鳥取	5,518	900.2	5	1,486	242.4	4	43	7.0	19	300	48.9	6
島根	7,337	954.1	2	1,933	251.4	1	57	7.4	12	376	48.9	7
岡山	16,091	833.7	14	4,134	214.2	19	103	5.3	36	754	39.1	29
広島	21,577	755.5	27	5,993	209.8	24	152	5.3	37	1,042	36.5	38
山口	13,589	879.0	9	3,701	239.4	6	123	8.0	8	718	46.4	10
徳島	7,492	904.8	4	1,867	225.5	12	37	4.5	43	348	42.0	19
香川	8,659	845.6	11	2,211	215.9	18	59	5.8	31	489	47.8	8
愛媛	12,975	861.6	10	3,376	224.2	14	72	4.8	42	707	46.9	9
高知	7,793	958.5	1	1,941	238.7	8	60	7.4	14	372	45.8	11
福岡	34,902	717.0	34	10,399	213.6	20	310	6.4	25	1,825	37.5	33
佐賀	7,308	832.3	16	2,155	245.4	3	52	5.9	28	395	45.0	13
長崎	12,672	820.7	17	3,693	239.2	7	76	4.9	40	625	40.5	23
熊本	14,713	796.6	21	4,041	218.8	17	119	6.4	22	641	34.7	41
大分	10,266	835.3	13	2,769	225.3	13	91	7.4	13	524	42.6	17
宮崎	9,135	780.1	26	2,466	210.6	22	94	8.0	7	450	38.4	31
鹿児島	15,986	896.1	7	4,116	230.7	11	159	8.9	4	607	34.0	43
沖縄	6,830	544.7	46	1,777	141.7	47	61	4.9	41	203	16.2	47

（資料）厚生省「人口動態統計」

(平成6年)

都道府県	大腸がん			肝がん			膵がん			気管、気管支及び肺		
	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位
全国	28,918	23.3		28,677	23.1		14,990	12.1		43,476	35.0	
北海道	1,429	25.2	15	1,079	19.0	31	845	14.9	10	2,226	39.3	19
青森	420	28.6	8	276	18.8	32	231	15.7	7	622	42.3	9
岩手	395	27.9	10	229	16.2	42	180	12.7	28	515	36.4	31
宮城	550	24.0	25	341	14.9	45	296	12.9	27	847	36.9	29
秋田	368	30.3	2	209	17.2	40	234	19.3	1	458	37.8	25
山形	366	29.3	6	219	17.5	38	205	16.4	4	551	44.0	4
福島	519	24.5	22	396	18.7	34	310	14.6	13	789	37.2	28
茨城	634	21.7	37	509	17.4	39	343	11.7	36	877	30.0	44
栃木	410	20.9	43	410	20.9	27	234	11.9	34	641	32.7	38
群馬	415	20.9	42	383	19.3	29	219	11.1	41	625	31.5	40
埼玉	1,217	18.3	46	1,056	15.9	43	568	8.5	46	1,744	26.2	47
千葉	1,209	21.1	41	986	17.2	41	528	9.2	45	1,535	26.8	46
東京都	2,822	24.4	23	2,489	21.5	26	1,304	11.3	39	3,806	32.9	36
神奈川県	1,638	20.2	45	1,457	17.9	37	753	9.3	44	2,199	27.1	45
新潟	747	30.2	4	383	15.5	44	383	15.5	8	1,043	42.1	10
富山	284	25.4	14	207	18.5	35	149	13.3	23	420	37.5	27
石川	261	22.3	32	225	19.2	30	173	14.8	11	445	38.1	24
福井	181	22.0	34	160	19.5	28	133	16.2	6	288	35.0	34
山梨	203	23.4	26	266	30.7	10	124	14.3	15	284	32.8	37
長野	628	29.0	7	392	18.1	36	300	13.8	20	668	30.8	41
岐阜	519	25.0	17	461	22.2	24	270	13.0	26	668	32.1	39
静岡県	822	22.2	33	829	22.4	22	454	12.3	32	1,134	30.7	42
愛知県	1,433	21.2	40	1,264	18.7	33	670	9.9	43	2,037	30.2	43
三重	419	23.1	30	396	21.8	25	240	13.2	24	683	37.6	26
滋賀	271	21.5	38	178	14.1	46	154	12.2	33	461	36.6	30
京都	599	23.4	28	571	22.3	23	323	12.6	29	1,015	39.6	15
大阪	1,759	20.6	44	2,834	33.2	4	920	10.8	42	3,034	35.5	33
兵庫県	1,260	23.2	29	1,695	31.2	8	610	11.2	40	2,167	39.9	14
奈良	304	21.5	39	390	27.6	17	176	12.4	31	503	35.5	32
和歌山	266	24.7	20	348	32.3	5	151	14.0	17	483	44.8	3
鳥取	164	26.8	11	194	31.6	6	100	16.3	5	242	39.5	17
島根	233	30.3	3	208	27.0	19	144	18.7	2	328	42.7	8
岡山	476	24.7	21	541	28.0	15	282	14.6	12	801	41.5	11
広島	707	24.8	19	965	33.8	3	330	11.6	38	1,128	39.5	16
山口	387	25.0	16	482	31.2	9	233	15.1	9	720	46.6	1
徳島	205	24.8	18	237	28.6	13	96	11.6	37	379	45.8	2
香川	223	21.8	35	247	24.1	20	138	13.5	22	394	38.5	20
愛媛	353	23.4	27	476	31.6	7	189	12.5	30	578	38.4	23
高知	243	29.9	5	225	27.7	16	140	17.2	3	347	42.7	7
福岡	1,180	24.2	24	1,863	38.3	1	576	11.8	35	1,872	38.5	21
佐賀	267	30.4	1	328	37.4	2	121	13.8	21	384	43.7	5
長崎	436	28.2	9	455	29.5	11	216	14.0	18	674	43.7	6
熊本	422	22.8	31	542	29.3	12	256	13.9	19	743	40.2	13
大分	319	26.0	12	349	28.4	14	175	14.2	16	484	39.4	18
宮崎	255	21.8	36	278	23.7	21	154	13.2	25	450	38.4	22
鹿児島	454	25.4	13	488	27.4	18	257	14.4	14	727	40.8	12
沖縄	229	18.3	47	123	9.8	47	85	6.8	47	439	35.0	35

(平成6年)

都道府県	乳がん(女)			子宮がん(女)			白血病			その他のがん		
	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位
全国	7,131	11.3		4,575	7.2		5,910	4.8		72,888	58.7	
北海道	357	12.1	7	187	6.4	38	273	4.8	22	3,665	64.7	20
青森	105	13.6	2	42	5.4	45	67	4.6	26	999	68.0	14
岩手	74	10.1	32	47	6.4	37	78	5.5	15	923	65.3	19
宮城	121	10.3	28	47	4.0	47	102	4.4	30	1,296	56.5	36
秋田	63	9.9	36	43	6.8	29	82	6.8	8	952	78.5	2
山形	65	10.0	33	40	6.2	41	51	4.1	34	945	75.5	5
福島	112	10.3	29	78	7.2	23	95	4.5	28	1,419	66.9	17
茨城	145	9.9	35	101	6.9	28	102	3.5	44	1,590	54.4	40
栃木	103	10.4	27	64	6.5	35	77	3.9	41	1,102	56.2	37
群馬	100	10.0	34	61	6.1	43	65	3.3	46	1,069	54.0	41
埼玉	353	10.8	24	193	5.9	44	216	3.2	47	2,856	42.9	47
千葉	344	12.1	6	177	6.3	40	229	4.0	38	2,873	50.2	44
東京	819	14.2	1	524	9.1	7	478	4.1	32	6,835	59.1	30
神奈川	489	12.3	4	254	6.4	36	333	4.1	33	3,887	47.9	46
新潟	139	10.9	19	80	6.3	39	112	4.5	27	1,773	71.6	9
富山	66	11.4	14	43	7.4	20	45	4.0	35	789	70.5	10
石川	53	8.8	43	53	8.8	9	65	5.6	14	730	62.4	27
福井	49	11.6	11	26	6.2	42	43	5.2	17	541	65.8	18
山梨	51	11.6	13	29	6.6	34	34	3.9	40	559	64.5	21
長野	129	11.6	12	88	7.9	14	87	4.0	37	1,506	69.5	12
岐阜	117	10.9	18	94	8.8	8	74	3.6	43	1,186	57.1	35
静岡	226	12.1	8	131	7.0	27	165	4.5	29	2,042	55.2	38
愛知	340	10.1	31	222	6.6	32	253	3.7	42	3,467	51.4	43
三重	105	11.2	15	70	7.5	19	73	4.0	36	1,056	58.1	33
滋賀	56	8.8	44	43	6.7	30	63	5.0	21	734	58.3	32
京都	146	11.1	17	93	7.1	25	123	4.8	23	1,605	62.7	26
大阪	509	11.7	10	310	7.1	24	395	4.6	25	4,595	53.8	42
兵庫	330	11.8	9	218	7.8	16	241	4.4	31	3,146	57.9	34
奈良	79	10.8	23	53	7.2	21	49	3.5	45	770	54.4	39
和歌山	53	9.4	40	59	10.4	1	62	5.8	12	676	62.7	25
鳥取	26	8.1	46	33	10.3	2	32	5.2	18	465	75.9	4
島根	38	9.5	39	32	8.0	13	58	7.5	6	612	79.6	1
岡山	108	10.8	22	66	6.6	33	76	3.9	39	1,234	63.9	23
広島	159	10.8	20	110	7.5	18	137	4.8	24	1,709	59.8	29
山口	110	13.5	3	62	7.6	17	96	6.2	11	1,037	67.1	16
徳島	47	10.8	21	36	8.3	10	43	5.2	19	566	68.4	13
香川	51	9.6	37	27	5.1	46	65	6.3	10	646	63.1	24
愛媛	98	12.3	5	73	9.2	6	82	5.4	16	966	64.1	22
高知	41	9.5	38	31	7.2	22	46	5.7	13	592	72.8	7
福岡	285	11.2	16	208	8.2	11	247	5.1	20	2,859	58.7	31
佐賀	41	8.9	42	44	9.5	5	71	8.1	4	629	71.6	8
長崎	84	10.3	30	55	6.7	31	168	10.9	3	1,186	76.8	3
熊本	103	10.6	26	77	7.9	15	138	7.5	7	1,297	70.2	11
大分	69	10.6	25	53	8.2	12	82	6.7	9	833	67.8	15
宮崎	53	8.6	45	59	9.5	4	129	11.0	2	702	59.9	28
鹿児島	86	9.1	41	93	9.8	3	206	11.5	1	1,308	73.3	6
沖縄	34	5.3	47	45	7.0	26	100	8.0	5	615	49.0	45

(平成6年)

都道府県	心疾患			虚血性心疾患			脳卒中			高血圧性疾患		
	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位
全国	159,579	128.6		57,881	46.7		120,239	96.9		7,938	6.4	
北海道	7,348	129.7	35	2,643	46.6	28	4,652	82.1	41	205	3.6	45
青森	2,221	151.2	16	732	49.8	19	1,750	119.1	14	67	4.6	41
岩手	2,059	145.6	22	674	47.7	26	1,735	122.7	12	67	4.7	40
宮城	2,617	114.0	43	1,023	44.6	36	2,523	109.9	25	101	4.4	42
秋田	1,898	156.5	10	545	44.9	31	1,997	164.6	1	81	6.7	25
山形	2,130	170.3	4	656	52.4	9	1,776	142.0	4	101	8.1	10
福島	3,188	150.2	18	949	44.7	33	2,809	132.4	9	142	6.7	23
茨城	3,581	122.6	38	1,306	44.7	33	3,097	106.0	30	223	7.6	15
栃木	2,541	129.5	36	1,001	51.0	12	2,427	123.7	10	134	6.8	20
群馬	2,734	138.0	28	825	41.6	42	2,229	112.5	23	159	8.0	11
埼玉	6,589	98.9	45	2,282	34.3	46	4,772	71.7	45	261	3.9	43
千葉	6,180	108.0	44	2,081	36.4	44	4,636	81.0	43	381	6.7	26
東京	13,394	115.9	41	6,883	59.5	3	10,165	87.9	38	692	6.0	32
神奈川	7,819	96.3	46	3,627	44.7	33	6,013	74.0	44	293	3.6	46
新潟	3,420	138.1	27	1,211	48.9	21	3,456	139.5	5	238	9.6	4
富山	1,684	150.5	17	502	44.9	32	1,278	114.2	20	55	4.9	39
石川	1,678	143.5	23	588	50.3	17	1,121	95.9	34	68	5.8	34
福井	1,232	149.9	19	442	53.8	8	908	110.5	24	54	6.6	28
山梨	1,278	147.6	21	383	44.2	37	935	108.0	28	32	3.7	44
長野	3,337	153.9	13	1,051	48.5	24	3,269	150.8	2	187	8.6	7
岐阜	2,923	140.7	25	870	41.9	41	2,260	108.8	27	139	6.7	24
静岡	4,834	130.7	34	1,575	42.6	39	3,694	99.9	31	233	6.3	30
愛知	8,226	121.9	39	2,328	34.5	45	5,531	81.9	42	338	5.0	38
三重	2,765	152.3	14	931	51.3	11	2,221	122.3	13	161	8.9	6
滋賀	1,652	131.1	33	533	42.3	40	1,194	94.8	35	93	7.4	18
京都	3,432	134.1	31	1,244	48.6	23	2,363	92.3	36	148	5.8	35
大阪	9,888	115.8	42	4,296	50.3	18	5,874	68.8	46	674	7.9	14
兵庫	7,354	135.3	30	2,518	46.3	30	4,661	85.8	39	369	6.8	22
奈良	1,819	128.6	37	627	37.2	43	1,264	89.3	37	83	5.9	33
和歌山	1,881	174.5	2	613	56.9	4	1,324	122.8	11	102	9.5	5
鳥取	971	158.4	7	334	54.5	7	908	148.1	3	39	6.4	29
島根	1,288	167.5	5	422	54.9	6	1,071	139.3	6	61	7.9	13
岡山	2,974	154.1	12	921	47.7	26	2,216	114.8	19	97	5.0	37
広島	3,761	131.7	32	1,227	43.0	38	2,821	98.8	32	194	6.8	21
山口	2,404	155.5	11	779	50.4	16	1,784	115.4	18	123	8.0	12
徳島	1,440	173.9	3	535	64.6	1	964	116.4	16	55	6.6	27
香川	1,617	157.9	8	518	50.6	15	1,183	115.5	17	59	5.8	36
愛媛	2,496	165.7	6	767	50.9	14	1,766	117.3	15	104	6.9	19
高知	1,431	176.0	1	453	55.7	5	1,118	137.5	8	50	6.2	31
福岡	5,732	117.7	40	2,267	46.6	29	4,092	84.1	40	369	7.6	16
佐賀	1,202	136.9	29	456	51.9	10	988	112.5	22	132	15.0	1
長崎	2,279	147.6	20	787	51.0	13	1,684	109.1	26	190	12.3	2
熊本	2,587	140.1	26	914	49.5	20	1,810	98.0	33	159	8.6	8
大分	1,937	157.6	9	740	60.2	2	1,401	114.0	21	142	11.6	3
宮崎	1,648	140.7	24	570	48.7	22	1,255	107.2	29	98	8.4	9
鹿児島	2,710	151.9	15	854	47.9	25	2,455	137.6	7	135	7.6	17
沖縄	1,119	89.2	47	374	29.8	47	639	51.0	47	42	3.3	47



12. 都道府県別成人病の年齢調整死亡率(人口10万対)

(平成2年)

都道府県	全死因				全がん				食道がん				胃がん			
	男		女		男		女		男		女		男		女	
	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位
全国	747.9		423.0		215.6		107.7		9.8		1.5		49.5		21.6	
北海道	756.6	20	427.1	15	226.1	11	113.3	6	13.1	5	1.6	14	48.6	25	19.3	40
青森	843.2	1	428.1	14	234.8	7	105.1	24	11.9	10	1.2	28	50.6	16	22.5	15
岩手	773.5	10	413.6	29	202.1	36	103.1	30	12.0	9	1.0	34	42.3	41	19.8	39
宮城	739.5	26	411.8	32	219.9	12	108.1	14	16.2	1	1.9	7	49.9	20	20.8	28
秋田	777.2	9	429.1	10	236.1	6	110.1	11	15.3	2	1.8	8	61.8	2	26.6	4
山形	736.6	29	416.6	26	219.0	15	104.3	28	12.8	6	2.0	3	59.2	6	28.1	3
福島	760.2	19	420.0	24	219.1	14	105.3	23	11.5	12	1.4	21	57.4	7	21.6	23
茨城	763.1	17	450.8	3	202.7	34	106.0	21	10.7	16	1.5	17	56.8	8	24.2	7
栃木	789.2	5	466.9	2	207.8	26	106.6	17	10.1	18	1.3	24	59.3	5	29.5	1
群馬	726.7	35	426.1	17	177.4	47	95.0	44	10.5	17	1.0	34	42.8	39	20.2	34
埼玉	741.0	25	440.3	6	210.5	24	107.7	15	11.5	12	1.5	17	54.0	11	22.9	11
千葉	721.1	37	418.0	25	205.4	31	105.5	22	10.8	14	1.8	8	50.8	15	22.9	11
東京	738.1	27	422.9	20	219.5	13	115.3	5	12.4	8	2.1	2	50.2	18	22.3	16
神奈川	710.0	42	414.6	28	212.0	21	110.3	10	11.6	11	1.8	8	49.1	24	20.2	34
新潟	710.3	41	400.7	42	215.2	18	106.1	20	12.7	7	1.6	14	63.5	1	25.3	5
富山	737.9	28	401.1	41	218.9	16	111.6	8	10.0	20	1.1	32	55.5	9	28.4	2
石川	716.3	40	413.1	30	206.7	28	107.3	16	5.7	42	2.4	1	49.3	22	20.6	32
福井	691.4	46	409.2	35	193.6	42	106.6	17	5.9	40	1.2	28	40.8	45	23.4	9
山梨	742.3	24	406.7	38	197.2	39	99.3	37	7.6	32	1.1	32	46.8	30	16.6	43
長野	669.5	47	386.5	45	178.8	46	93.5	46	7.1	33	1.6	14	44.2	35	19.2	42
岐阜	701.9	44	439.1	7	196.8	40	104.7	26	6.6	37	1.4	21	52.6	13	22.6	14
静岡	705.6	43	406.8	37	193.1	43	98.9	38	6.8	35	0.9	37	42.3	41	19.3	40
愛知	735.9	31	441.3	5	206.3	30	109.0	13	6.8	35	1.3	24	51.2	14	21.7	22
三重	761.1	18	424.7	18	191.1	45	98.2	40	5.6	43	1.4	21	49.2	23	22.1	18
滋賀	717.6	39	428.4	13	199.1	37	109.7	12	5.6	43	1.7	12	50.6	16	23.0	10
京都	726.9	34	426.6	16	217.1	17	111.0	9	5.6	43	1.3	24	50.2	18	22.3	16
大阪	825.2	2	468.0	1	258.0	1	122.8	1	10.1	18	2.0	3	55.4	10	23.8	8
兵庫	768.6	14	439.1	7	231.2	8	111.7	7	9.3	23	1.8	8	48.1	28	21.8	21
奈良	748.7	22	428.6	12	231.2	8	106.2	19	8.3	28	2.0	3	59.8	4	24.3	6
和歌山	797.8	3	437.3	9	238.7	5	104.5	27	9.4	21	2.0	3	60.3	3	20.7	30
鳥取	769.6	12	406.7	38	230.4	10	100.4	33	7.0	34	0.7	42	53.7	12	20.6	32
島根	725.5	36	378.5	46	208.3	25	93.7	45	7.8	31	0.7	42	45.8	32	20.0	38
岡山	736.4	30	392.5	43	198.6	38	97.8	42	5.9	40	1.0	34	43.1	38	20.1	37
広島	735.7	32	411.8	32	213.3	20	105.0	25	8.5	27	1.3	24	42.8	39	20.8	28
山口	767.6	16	408.9	36	213.8	19	100.2	34	9.4	21	1.7	12	48.4	27	22.8	13
徳島	782.9	7	443.1	4	211.8	23	104.2	29	4.3	47	0.8	39	44.7	34	21.1	25
香川	727.6	33	411.5	34	203.0	33	99.4	36	6.0	39	0.8	39	44.0	36	21.4	24
愛媛	746.4	23	415.5	27	203.4	32	100.9	32	4.5	46	0.8	39	48.6	25	22.0	20
高知	769.6	12	412.1	31	191.9	44	96.6	43	8.8	26	0.4	45	47.0	29	21.1	25
福岡	787.5	6	421.5	23	241.1	3	117.5	3	9.0	25	1.5	17	45.3	33	20.9	27
佐賀	772.6	11	422.0	21	240.3	4	115.8	4	6.3	38	0.4	45	49.8	21	20.7	30
長崎	789.8	4	424.0	19	245.6	2	118.2	2	8.2	29	1.5	17	43.9	37	22.1	18
熊本	717.8	38	389.7	44	211.9	22	101.2	31	9.3	23	0.9	37	41.3	43	16.4	44
大分	756.5	21	422.0	21	206.7	28	100.0	35	8.1	30	1.2	28	46.1	31	20.2	34
宮崎	779.9	8	403.7	40	207.7	27	98.9	38	10.8	14	0.3	47	41.3	43	16.1	45
鹿児島	768.0	15	428.7	11	202.5	35	98.1	41	13.2	4	1.2	28	36.9	46	13.6	46
沖縄	691.5	45	349.2	47	195.4	41	86.5	47	14.5	3	0.6	44	26.8	47	8.9	47

(資料) 厚生省「人口動態統計特殊報告」

(平成2年)

都道府県	大腸がん				肝がん				膵がん				肺がん			
	男		女		男		女		男		女		男		女	
	年齢調整 死亡率	順位	年齢調整 死亡率	順位	年齢調整 死亡率	順位	年齢調整 死亡率	順位	年齢調整 死亡率	順位	年齢調整 死亡率	順位	年齢調整 死亡率	順位	年齢調整 死亡率	順位
全国	21.9		13.8		29.5		8.4		12.1		7.1		45.0		11.6	
北海道	23.6	8	15.7	4	22.5	33	6.9	33	15.7	4	9.5	1	48.6	12	13.7	4
青森	23.6	8	13.7	23	23.5	32	7.0	32	18.6	1	8.2	3	50.6	7	9.6	36
岩手	24.3	4	16.3	1	16.3	45	6.3	39	11.0	38	7.7	7	43.9	26	10.5	27
宮城	21.7	20	14.5	13	18.5	40	6.4	38	16.0	3	6.5	33	44.2	24	10.8	23
秋田	25.2	2	14.6	11	15.0	46	6.2	41	13.1	12	7.0	21	51.7	6	12.0	13
山形	24.7	3	13.8	21	18.6	39	5.7	43	13.8	9	6.4	36	46.3	17	10.8	23
福島	24.0	6	14.6	11	19.2	38	5.4	45	13.9	8	9.1	2	44.1	25	9.2	41
茨城	19.2	35	13.4	24	20.4	36	6.7	35	11.1	37	7.1	19	39.1	42	8.6	45
栃木	18.0	42	12.9	29	23.8	30	5.9	42	11.8	24	6.7	27	42.7	30	8.4	46
群馬	19.4	34	11.9	40	18.3	41	7.2	27	10.8	41	6.8	24	33.3	46	8.7	44
埼玉	23.2	11	14.5	13	25.3	27	7.8	20	11.3	32	8.2	3	41.1	36	10.5	27
千葉	21.1	25	14.3	15	25.6	25	7.1	29	10.9	40	6.5	33	39.8	40	10.3	31
東京	25.9	1	14.7	10	28.1	19	8.6	13	11.3	32	7.6	10	44.9	21	13.2	7
神奈川	23.3	10	15.4	5	27.9	21	8.3	17	11.6	27	6.2	38	42.9	28	11.6	17
新潟	19.6	33	16.2	2	13.3	47	4.8	46	12.3	18	6.5	33	47.9	13	11.1	20
富山	22.5	16	15.3	6	22.5	33	6.8	34	12.9	14	7.1	19	44.4	23	9.6	36
石川	24.3	4	14.8	8	21.3	35	5.7	43	12.1	20	6.8	24	42.0	34	9.3	39
福井	19.1	36	12.2	37	24.0	29	10.1	9	10.5	42	6.8	24	47.8	15	11.0	22
山梨	18.8	39	13.8	21	36.0	11	10.4	5	11.3	32	5.5	46	34.0	45	10.5	27
長野	23.0	13	12.4	35	16.9	43	6.3	39	11.3	32	7.7	7	33.1	47	8.3	47
岐阜	21.4	22	15.2	7	23.8	30	7.8	20	12.1	20	6.6	29	39.4	41	10.3	31
静岡	20.7	27	13.0	27	28.1	19	7.1	29	11.5	28	6.6	29	38.8	43	8.9	43
愛知	21.2	23	14.3	15	25.4	26	7.2	27	11.5	28	6.6	29	44.7	22	13.2	7
三重	19.9	31	13.1	26	19.9	37	6.5	36	12.5	16	7.7	7	42.3	32	10.5	27
滋賀	18.5	40	12.5	31	17.9	42	7.1	29	12.6	15	7.9	5	47.9	13	12.8	9
京都	22.9	14	13.2	25	27.1	23	7.6	24	14.0	7	7.9	5	48.7	11	14.3	3
大阪	23.2	11	13.9	20	52.3	1	13.4	3	12.2	19	7.2	16	54.4	2	14.8	2
兵庫	22.1	18	14.1	19	39.8	5	11.4	4	11.4	31	7.0	21	52.9	4	12.7	10
奈良	21.7	20	14.3	15	34.1	12	7.7	23	13.7	10	6.0	40	49.7	9	12.3	12
和歌山	17.6	46	11.7	41	37.4	9	10.4	5	14.6	6	7.2	16	52.2	5	11.7	16
鳥取	24.0	6	12.0	38	33.5	13	8.2	18	16.5	2	6.3	37	41.9	35	11.9	15
島根	19.0	37	14.8	8	27.1	23	6.5	36	13.0	13	7.6	10	46.2	18	9.1	42
岡山	17.9	43	12.5	31	31.7	16	8.2	18	11.5	28	7.0	21	42.2	33	9.8	34
広島	21.1	25	12.5	31	42.8	4	10.3	8	10.2	45	7.6	10	42.5	31	11.2	18
山口	20.6	30	11.5	43	38.1	6	9.1	11	8.7	46	6.7	27	45.3	20	11.2	18
徳島	18.4	41	12.3	36	38.0	7	9.1	11	12.1	20	5.9	42	47.2	16	12.0	13
香川	20.7	27	12.0	38	27.8	22	7.8	20	11.0	38	5.8	43	45.7	19	9.3	39
愛媛	18.9	38	10.6	45	33.2	14	7.4	26	11.7	26	6.2	38	43.7	27	10.8	23
高知	17.4	47	10.5	46	24.4	28	8.5	15	10.5	42	6.0	40	37.8	44	9.8	34
福岡	22.7	15	14.3	15	51.9	2	13.7	2	12.0	23	7.4	15	49.8	8	13.7	4
佐賀	22.0	19	15.9	3	45.1	3	15.7	1	13.7	10	7.6	10	49.2	10	9.4	38
長崎	22.3	17	12.6	30	38.0	7	10.4	5	14.7	5	7.5	14	53.3	3	13.5	6
熊本	19.8	32	13.0	27	36.7	10	8.6	13	11.2	36	7.2	16	40.6	38	12.5	11
大分	21.2	23	12.5	31	32.2	15	8.4	16	11.8	24	5.6	45	40.0	39	11.1	20
宮崎	20.7	27	10.5	46	31.1	17	7.6	24	12.4	17	5.8	43	40.8	37	10.3	31
鹿児島	17.7	44	11.6	42	28.3	18	9.3	10	10.5	42	6.6	29	42.9	28	10.7	26
沖縄	17.7	44	11.4	44	16.6	44	4.6	47	7.2	47	4.6	47	57.8	1	15.2	1

(平成2年)

都道府県	乳がん		子宮がん		卵巣がん		前立腺		膀胱がん				白血病			
	女		女		女		男		男		女		男		女	
	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位
全国	8.2		5.8		4.4		6.0		3.6		1.0		5.3		3.4	
北海道	9.4	3	4.9	38	5.1	4	6.6	9	4.1	11	1.1	16	5.5	16	3.0	25
青森	7.2	25	6.2	14	4.2	27	9.3	1	4.5	4	0.7	41	5.2	22	3.5	15
岩手	8.3	12	4.3	40	4.8	7	5.5	28	4.1	11	1.2	9	7.7	7	3.5	15
宮城	8.3	12	5.3	30	5.9	1	7.0	5	4.2	8	1.4	4	5.3	20	3.8	10
秋田	6.9	29	5.3	30	4.2	27	6.8	6	3.7	18	1.9	1	5.1	26	2.5	44
山形	5.6	44	3.3	47	3.6	37	6.5	12	3.0	35	0.8	33	5.4	17	2.9	32
福島	6.5	34	5.1	32	4.2	27	5.1	37	2.6	43	1.3	6	5.2	22	3.3	19
茨城	8.5	10	6.4	10	4.5	15	6.2	18	3.5	21	0.8	33	5.4	17	2.7	39
栃木	7.5	24	6.2	14	4.6	9	5.1	37	3.0	35	1.0	22	4.9	30	3.1	24
群馬	7.7	18	5.4	27	4.6	9	7.9	2	3.2	31	0.6	44	4.6	38	2.7	39
埼玉	7.9	16	5.6	26	4.6	9	5.6	26	3.5	21	0.7	41	5.2	22	2.8	36
千葉	8.4	11	6.6	8	4.6	9	6.5	12	3.3	29	1.1	16	4.4	41	2.9	32
東京都	11.2	1	5.8	23	5.5	2	6.4	17	3.5	21	1.2	9	4.8	34	3.2	22
神奈川県	10.6	2	5.9	21	4.6	9	6.5	12	3.4	25	1.2	9	4.9	30	3.3	19
新潟	7.7	18	3.4	46	3.6	37	6.6	9	3.2	31	0.7	41	4.5	40	3.8	10
富山	6.8	31	4.0	44	4.4	20	4.6	44	3.9	14	1.2	9	4.1	43	4.7	6
石川	8.0	15	6.1	16	3.6	37	5.3	32	2.6	43	1.5	2	6.9	9	2.5	44
福井	6.7	32	4.1	42	3.6	37	4.1	45	3.2	31	0.6	44	4.6	38	2.6	42
山梨	6.3	38	4.0	44	4.9	6	5.3	32	3.4	25	1.1	16	4.4	41	2.8	36
長野	7.1	27	4.1	42	4.3	25	5.9	23	3.5	21	0.9	28	5.3	20	3.0	25
岐阜	7.0	28	6.0	19	5.0	5	4.7	41	4.2	8	1.3	6	2.6	47	3.0	25
静岡県	7.6	22	6.6	8	4.0	32	6.7	8	3.0	35	0.8	33	5.1	26	3.5	15
愛知県	8.6	8	6.1	16	4.5	15	6.2	18	3.8	17	1.2	9	3.4	46	2.6	42
三重	6.5	34	5.4	27	3.5	42	5.6	26	2.7	41	1.1	16	4.0	44	2.8	36
滋賀	7.9	16	4.2	41	4.4	20	6.2	18	2.2	45	0.4	46	4.7	36	4.3	8
京都	8.6	8	5.0	35	4.2	27	4.9	40	4.1	11	0.9	28	4.7	36	3.6	13
大阪	9.4	3	7.3	4	4.8	7	5.7	24	4.4	6	1.1	16	5.4	17	3.3	19
兵庫	7.2	25	7.6	3	4.4	20	5.3	32	3.3	29	0.8	33	4.9	30	3.0	25
奈良	7.7	18	5.4	27	3.4	43	5.3	32	3.7	18	0.3	47	5.2	22	4.6	7
和歌山	6.4	36	5.1	32	3.9	34	5.0	39	3.4	25	0.9	28	4.9	30	3.2	22
鳥取	4.7	47	5.7	25	5.3	3	7.6	3	5.0	3	0.8	33	8.1	6	1.6	47
島根	5.9	42	5.0	35	4.3	25	4.0	46	4.5	4	0.8	33	6.7	10	1.8	46
岡山	6.7	32	4.6	39	4.5	15	5.4	31	4.2	8	1.0	22	4.8	34	2.9	32
広島	7.6	22	6.0	19	4.4	20	5.7	24	5.2	2	1.0	22	5.1	26	3.0	25
山口	6.0	40	5.9	21	2.5	47	4.7	41	3.7	18	1.3	6	5.0	29	3.0	25
徳島	6.0	40	7.9	1	4.6	9	5.5	28	3.4	25	1.4	4	3.7	45	2.7	39
香川	5.8	43	5.1	32	3.6	37	6.0	22	2.7	41	1.0	22	6.3	12	3.5	15
愛媛	6.9	29	6.4	10	4.5	15	4.7	41	2.2	45	0.8	33	5.6	15	3.0	25
高知	7.7	18	7.2	5	3.2	44	5.3	32	1.9	47	1.0	22	6.6	11	2.9	32
福岡	8.7	7	6.4	10	4.1	31	5.5	28	3.9	14	0.9	28	5.9	14	3.8	10
佐賀	9.0	5	7.0	6	3.7	36	7.6	3	4.3	7	1.2	9	8.7	4	4.2	9
長崎	9.0	5	6.3	13	3.8	35	6.1	21	5.3	1	1.2	9	10.1	3	4.9	4
熊本	8.2	14	5.0	35	2.8	46	6.5	12	3.9	14	1.0	22	8.4	5	4.8	5
大分	6.3	38	6.7	7	4.0	32	6.8	6	2.8	39	1.1	16	6.0	13	3.6	13
宮崎	6.4	36	7.9	1	3.0	45	6.5	12	2.8	39	0.8	33	7.5	8	6.7	2
鹿児島	5.4	45	6.1	16	4.4	20	6.6	9	2.9	38	1.5	2	10.3	2	7.4	1
沖縄	4.9	46	5.8	23	4.5	15	2.9	47	3.1	34	0.9	28	10.6	1	6.3	3

(平成2年)

都道府県	心疾患				虚血性心疾患				脳卒中				高血圧性疾患			
	男		女		男		女		男		女		男		女	
	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位	年齢調整死亡率	順位
全国	139.1		88.5		46.3		25.6		97.9		68.6		5.9		5.8	
北海道	149.3	7	97.3	5	48.5	8	32.0	4	82.7	45	60.4	42	4.2	36	4.5	36
青森	169.5	1	89.4	15	46.4	11	21.6	30	117.2	5	70.6	19	3.3	44	3.3	44
岩手	148.2	8	90.3	14	43.0	19	22.9	27	111.1	11	72.6	14	6.7	12	3.9	41
宮城	135.7	29	77.9	41	44.9	15	23.0	26	117.7	4	82.9	3	5.3	27	5.1	24
秋田	138.9	22	89.4	15	37.8	36	23.3	23	121.7	2	85.4	2	5.1	30	4.8	30
山形	135.1	32	80.9	36	35.8	42	19.2	42	115.0	8	82.4	4	5.5	22	5.9	18
福島	142.7	15	87.7	21	39.2	32	22.9	27	116.9	7	80.8	6	5.5	22	4.1	39
茨城	135.4	30	89.4	15	41.9	24	25.1	12	121.0	3	80.2	7	8.2	5	7.7	3
栃木	143.5	13	91.8	12	43.4	18	25.9	10	125.9	1	94.8	1	5.5	22	7.5	5
群馬	139.2	21	93.3	10	44.3	16	24.4	16	113.2	9	75.7	10	4.2	36	4.0	40
埼玉	153.7	5	98.7	4	46.8	9	26.0	9	99.1	22	72.5	15	6.3	14	7.2	9
千葉	144.2	12	93.1	11	45.6	13	24.5	15	98.3	23	69.8	22	9.2	3	7.5	5
東京	137.2	27	85.0	27	68.7	1	35.8	1	96.2	28	71.1	18	5.9	17	5.8	19
神奈川	128.9	38	87.1	23	58.6	2	31.2	6	92.5	34	65.7	28	5.3	27	5.1	24
新潟	114.4	46	71.2	46	36.9	39	20.9	32	106.3	12	75.5	11	7.9	6	6.1	16
富山	121.7	42	73.1	45	34.7	44	16.4	47	100.4	20	63.6	34	3.9	42	2.8	46
石川	134.5	33	84.2	32	35.8	42	20.6	35	92.4	35	64.6	31	3.8	43	4.4	37
福井	120.9	43	80.8	37	31.5	46	19.4	41	88.3	40	68.3	27	5.3	27	5.6	21
山梨	139.7	19	79.7	39	38.3	35	18.7	45	100.9	17	69.6	23	4.2	36	3.0	45
長野	120.1	44	74.4	43	34.5	45	19.0	43	117.2	5	82.4	4	4.3	35	4.8	30
岐阜	127.0	40	88.0	20	38.5	34	24.0	21	100.9	17	79.6	8	5.6	21	4.9	27
静岡	131.6	35	84.9	28	39.1	33	24.4	16	98.1	24	70.1	21	6.7	12	5.8	19
愛知	158.1	2	102.7	2	43.5	17	23.1	24	97.8	25	74.3	12	5.5	22	6.6	12
三重	152.5	6	91.0	13	45.1	14	23.7	22	105.0	14	76.2	9	6.8	11	6.8	10
滋賀	145.6	11	86.2	24	39.5	29	20.8	33	92.0	36	70.5	20	5.7	19	6.8	10
京都	125.3	41	86.1	25	41.3	28	24.4	16	87.3	43	61.5	40	4.0	40	4.7	34
大阪	153.8	4	107.7	1	57.4	3	33.5	2	80.3	46	55.4	45	7.3	9	6.6	12
兵庫	141.5	18	94.0	8	43.0	19	23.1	24	87.7	42	62.8	36	5.7	19	6.2	14
奈良	142.4	16	100.4	3	39.5	29	21.6	30	91.9	37	65.2	30	6.2	15	7.6	4
和歌山	156.8	3	96.3	6	51.3	5	20.7	34	100.9	17	72.1	16	4.0	40	4.9	27
鳥取	137.3	26	80.3	38	36.9	39	19.0	43	111.9	10	73.1	13	7.4	8	4.6	35
島根	117.3	45	74.1	44	28.2	47	20.5	37	97.2	27	62.6	37	4.1	39	4.9	27
岡山	132.2	34	76.1	42	37.5	37	17.3	46	97.6	26	61.4	41	4.4	34	3.8	42
広島	128.2	39	83.7	34	39.3	31	24.4	16	88.8	39	63.3	35	4.7	33	5.4	22
山口	137.8	25	84.7	29	42.8	22	24.2	20	95.2	30	57.4	44	5.4	26	5.0	26
徳島	145.9	10	95.2	7	41.8	26	31.7	5	93.5	31	69.6	23	4.9	31	4.8	30
香川	138.8	23	87.6	22	42.0	23	22.6	29	87.9	41	54.6	46	3.2	45	3.6	43
愛媛	146.0	9	88.8	18	36.9	39	20.2	38	91.6	38	64.5	32	4.8	32	4.4	37
高知	143.5	13	84.3	31	41.7	27	20.2	38	99.6	21	69.4	25	2.5	47	2.5	47
福岡	139.7	19	86.0	26	46.4	11	27.2	7	93.3	32	62.1	38	7.2	10	7.5	5
佐賀	130.0	36	79.1	40	46.8	9	25.6	11	92.7	33	64.5	32	10.8	2	10.4	1
長崎	135.4	30	82.0	35	51.5	4	27.2	7	96.0	29	61.7	39	11.2	1	9.8	2
熊本	129.1	37	84.2	32	41.9	24	24.7	13	86.2	44	58.4	43	6.1	16	6.0	17
大分	136.7	28	93.7	9	51.3	5	32.5	3	101.4	16	69.1	26	9.1	4	7.5	5
宮崎	142.4	16	84.5	30	50.6	7	24.6	14	105.2	13	65.5	29	7.9	6	5.4	22
鹿児島	138.8	23	88.8	18	37.1	38	20.6	35	104.2	15	71.4	17	5.8	18	6.2	14
沖縄	113.1	47	67.2	47	42.9	21	19.7	40	59.1	47	38.2	47	3.2	45	4.8	30





---

## 沖縄県がん登録事業報告書

発行年月 平成9年1月

発 行 沖縄県生活福祉部長寿社会対策室  
〒900 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号  
電 話 (098) 866-2214

編 集 沖縄県衛生環境研究所  
〒901-12 沖縄県大里村字大里2085番地  
電 話 (098) 945-0781

印 刷 大里印刷有限会社  
〒901-12 沖縄県大里村字古堅962-2番地  
電 話 (098) 945-0557(代)

---